

本庄市総合振興計画後期基本計画 策定に向けたアンケート調査報告書

本庄市

目 次

1	調査の概要	1
2	市民調査の結果	3
3	高校生調査の結果	38
4	市外在住者調査の結果	61

1 調査の概要

(1)調査の目的

本庄市総合振興計画の後期基本計画(令和5～9年度)の策定にあたり、市民や本市の高校に通う高校生の意識・意向等を把握するとともに、市外の方の意識や本市へのイメージ等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とするものです。

(2)調査の設計

調査の目的に鑑み、調査対象者の区分を3つに分けて設定し、それぞれに異なる調査票を用いて、異なる方法により調査を実施しました。概要は下表のとおりです。

	市民調査	高校生調査	市外在住者調査
主な調査のねらい	市民の市に対する意識や、定住意向等の把握	市内の高校に通う高校生の市に対する意識・理解等の把握	市外在住者からみた本市のイメージや、移住先としての評価等を把握
調査対象	市内在住の18歳以上の市内在住者の中から無作為に抽出した3,000人	市内の高校に通う高校生のうち、各校を通じて回答協力が得られた857人	移住意向があるアンケートモニター※442人(さいたま市居住者221人、東京23区居住者221人)
調査方法	全対象者に調査票を郵送配布した上で、回答は①郵送、②Web回答の2種の方法で回収	各校を通じて調査票を配布・回収	アンケートモニターに対するインターネット調査
調査期間	令和3年10月6日～10月25日	令和3年11月8日～11月19日	令和3年11月24日～11月26日
有効回答数(有効回答率)	1,520(50.7%) ※内訳は以下 郵送回答:1,253 (直接持参含む) Web回答:267	857(100.0%)	442(100.0%)

※民間リサーチ会社のアンケートモニターを利用

(3)本報告書をみる上での留意点

〈グラフ・表の「n」の値について〉

グラフ・表における「n」(number of cases)は、集計対象者総数を表しています。回答者を限定する設問については、限定条件に該当する回答者を対象に集計しているため、この n の値が他の設問と異なっています。

〈回答割合について(単数回答の設問)〉

回答結果として示す割合は、各設問の集計対象者総数に占める、それぞれの回答数の割合です。この数値は、小数点以下第2位で四捨五入したものであるため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)の設問であっても合計が100.0%にならない場合があります。

〈回答割合について(複数回答の設問)〉

複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選べる方式)の設問の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると100.0%を超える場合があります。

〈調査票(設問・選択肢)とグラフ・表との表現の相違について〉

実際に回答者が回答した調査票の設問・選択肢の文章は長いものもあるため、グラフ・表中ではこれを省略・変更している箇所があります。また、調査票上で示した選択肢の番号等は、グラフ・表中では省略・変更している箇所があります。

〈「不明・無回答」について〉

グラフ・表中の「不明・無回答」は、集計の上で判別がつかなかった回答及び無回答を表しています。

〈前回調査との比較について〉

今回の調査(市民調査)は、現行計画策定時に行った調査と同様の内容を含んでおり、本報告書では一部の設問において結果の比較を行います。

〈クロス集計について〉

結果を対象者の属性別(性別・年齢別など)に把握することが重要な設問では、他の設問への回答状況と結果をかけ合わせて示す「クロス集計」の表を掲載しています。

%	問1 あなたは、～～ですか。(1つに○)				
	合計	A	B	C	D
全体	1520	69.8	3.9	3.4	5.5
性 男性	635	69.8	3.9	4.3	5.5
別 女性	816	70.8	3.8	2.7	5.5
無回答	33	45.5	3.0	6.1	3.0

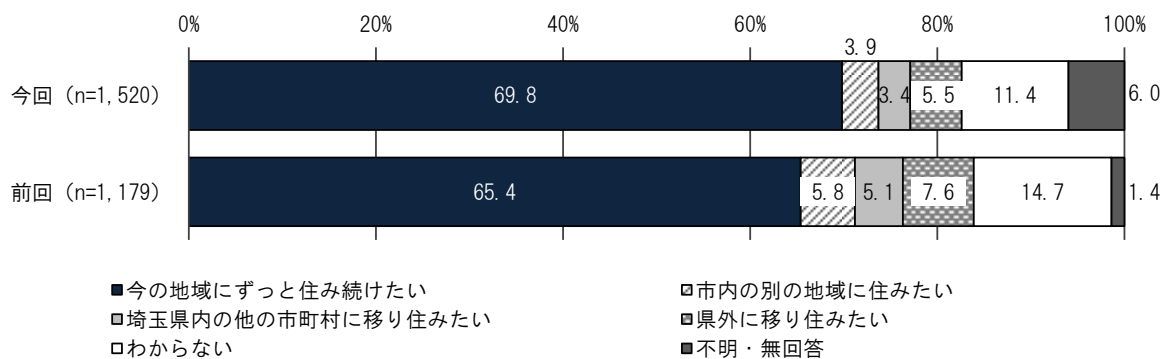
右上表の例は、問1への回答状況を性別(表左側)でみたクロス集計表です。この表でいえば、集計対象となっている「男性」の「合計」が635人(黄色枠内)で、そのうち問1に「A」と回答した割合が69.8%(「男性」の行と「A」の列がクロスする赤枠内の値)であることを示しています。

2 市民調査の結果

問1 あなたは、今後も本庄市に住み続けたいですか。(1つに〇)

本市での居住継続意向についてみると、「今の地域にずっと住み続けたい」が69.8%と最も多く、次いで「わからない」が11.4%、「県外に移り住みたい」が5.5%となっています。

前回と比較すると、「今の地域にずっと住み続けたい」がわずかに上昇しています。



居住継続意向を年齢別にみると、より高い年齢層で「今の地域にずっと住みたい」の割合が高くなっている一方、低い年齢層では「わからない」の割合が高くなっています。

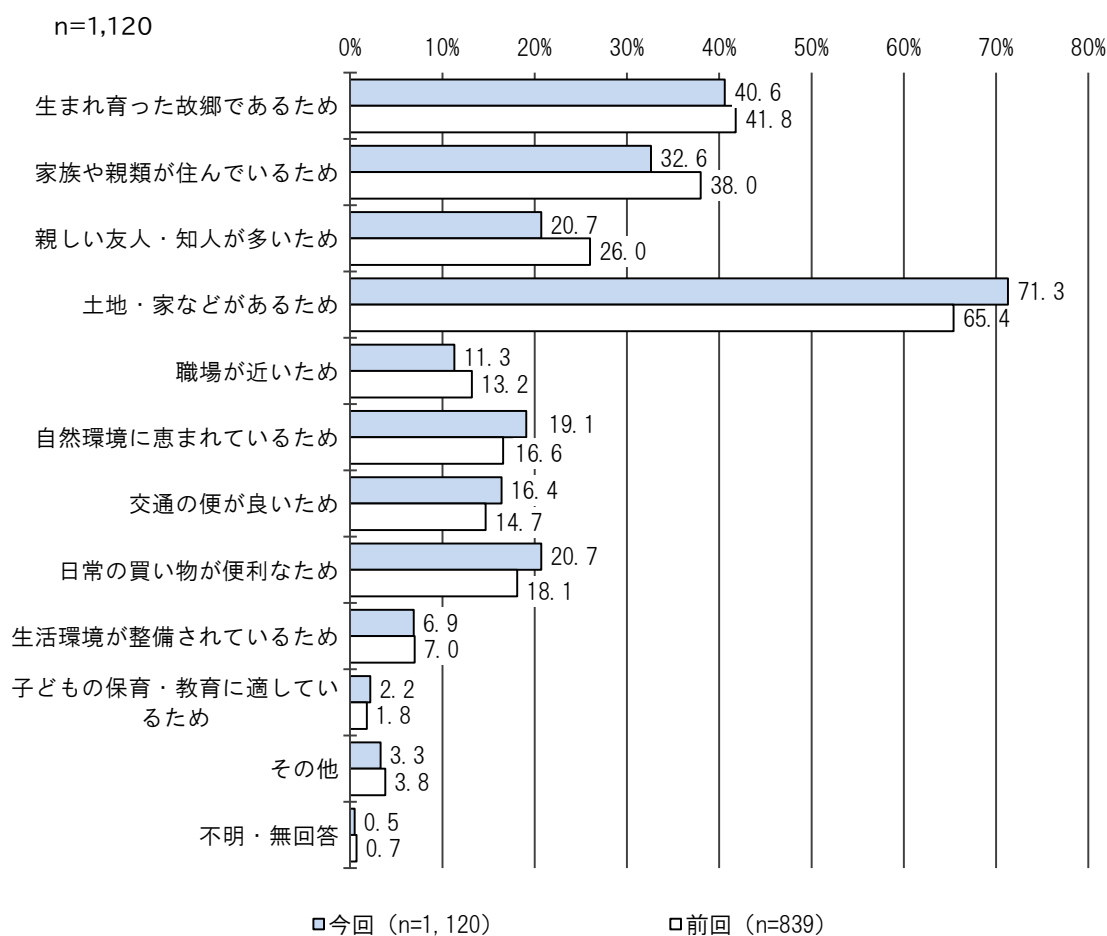
また、小学校区でみた居住地区について「わからない」とした層では、「今の地域にずっと住みたい」の割合が36.8%と低くなっています。

%		問1 あなたは、今後も本庄市に住みたいですか。(1つに○)						
		合計	続 け つ の 地 域 に 住 み ま す	域 市 に 内 住 の み 別 た い 地	り の 埼 住 市 玉 み 町 県 た 村 内 い に の 移 他	み 県 た 外 に 移 り 住	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	全体	1520	69.8	3.9	3.4	5.5	11.4	6.0
	男性	635	69.8	3.9	4.3	5.5	10.7	5.8
	女性	816	70.8	3.8	2.7	5.5	11.4	5.8
	無回答	33	45.5	3.0	6.1	3.0	30.3	12.1
	全体	1520	69.8	3.9	3.4	5.5	11.4	6.0
年齢別	18歳・19歳	20	40.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0
	20歳～29歳	98	38.8	8.2	10.2	13.3	26.5	3.1
	30歳～39歳	161	59.0	5.6	5.0	9.3	16.1	5.0
	40歳～49歳	209	63.2	5.3	5.3	5.7	12.9	7.7
	50歳～59歳	265	66.0	2.6	4.9	5.7	15.1	5.7
	60歳～69歳	304	75.0	3.3	1.3	5.9	10.9	3.6
	70歳～79歳	322	82.0	3.4	0.9	1.6	3.7	8.4
	80歳以上	107	89.7	0.9	0.9	0.9	0.9	6.5
居住地区別	全体	1520	69.8	3.9	3.4	5.5	11.4	6.0
	本庄東小学校区	219	63.5	2.7	4.6	6.8	13.2	9.1
	本庄西小学校区	119	73.1	5.0	5.0	7.6	7.6	1.7
	藤田小学校区	46	71.7	4.3	2.2	0.0	15.2	6.5
	仁手小学校区	17	64.7	11.8	0.0	17.6	0.0	5.9
	旭小学校区	114	77.2	4.4	3.5	0.9	7.0	7.0
	北泉小学校区	155	76.1	2.6	2.6	3.9	8.4	6.5
	本庄南小学校区	159	69.8	4.4	1.9	4.4	13.2	6.3
	中央小学校区	176	73.9	3.4	1.7	7.4	10.8	2.8
	児玉小学校区	159	67.9	1.3	5.0	5.7	13.8	6.3
	金屋小学校区	91	73.6	5.5	2.2	3.3	7.7	7.7
	秋平小学校区	52	80.8	5.8	1.9	1.9	7.7	1.9
	共和小学校区	74	78.4	2.7	5.4	1.4	4.1	8.1
	わからない	76	36.8	5.3	6.6	13.2	35.5	2.6

問 1-1 (問1で1または2とお答えの方) 住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまでに○)

本市での居住継続意向がある理由についてみると、71.3%と最多の「土地・家などがあるため」を筆頭に、「生まれ育った故郷であるため」「家族や親類が住んでいるため」など、市の特性自体には関与しない項目が上位となっています。なお、「その他」の半数以上が「災害の少なさ」(22件、2.0%)に集中しています。

前回と比較すると、「家族や親類が住んでいるため」「親しい友人・知人が多いため」で5ポイント以上の低下がみられる一方、「土地・家などがあるため」のほか、「自然環境に恵まれているため」や「日常の買い物が便利のため」で数ポイント上昇がみられます。

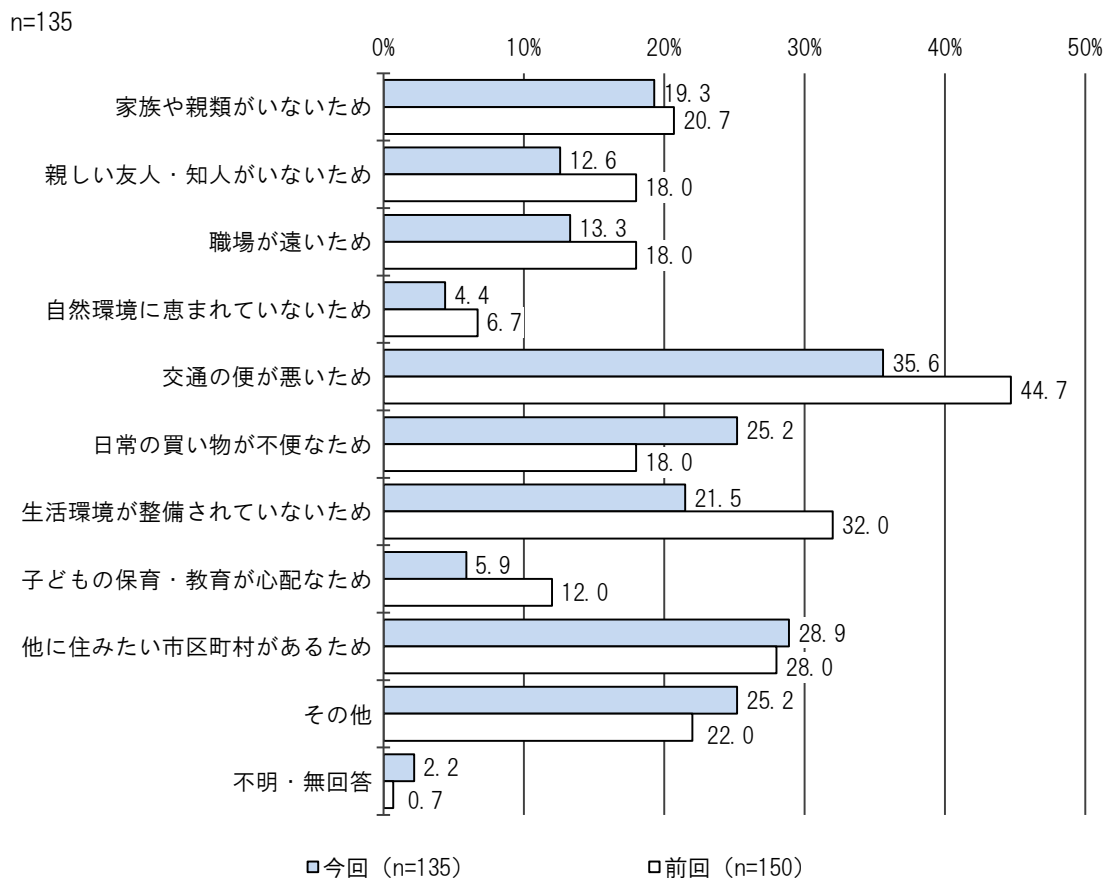


問 1-2 (問1で3または4とお答えの方) 住み続けたくない主な理由は何ですか。
(3つまでに○)

本市での居住継続意向がない理由についてみると、「交通の便が悪いため」が 35.6%と最も多いほか、2~3割程度となっているものが多く、特定の理由への集中は必ずしもみられない状況です。

前回と比較すると、「交通の便が悪いため」「生活環境が整備されていないため」は 10 ポイント程度低下しています。

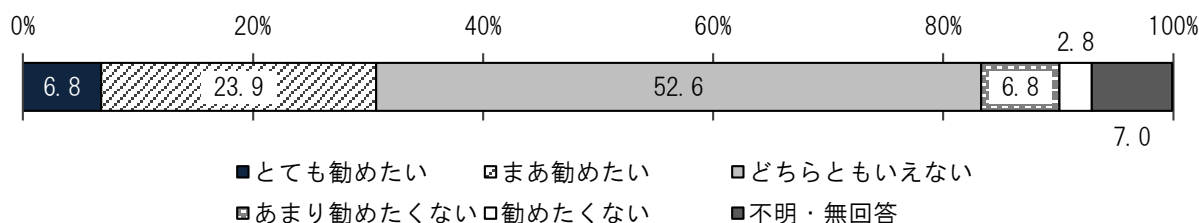
なお、「その他」の内容としては、医療体制の整備状況への不満(6件、4.4%)などが挙げられていますが、回答が分散しており、特定の回答への集中は必ずしもみられません。



問2 市外の方に対し、本庄市への移住を勧めたい気持ちがどの程度ありますか。
(1つに○)

市外の方に本市への移住を進めたい気持ちの度合いについて、「どちらともいえない」が 52.6%と半数を超えており、「とても勧めたい」「まあ勧めたい」の合計は約3割にとどまっています。

n=1,520

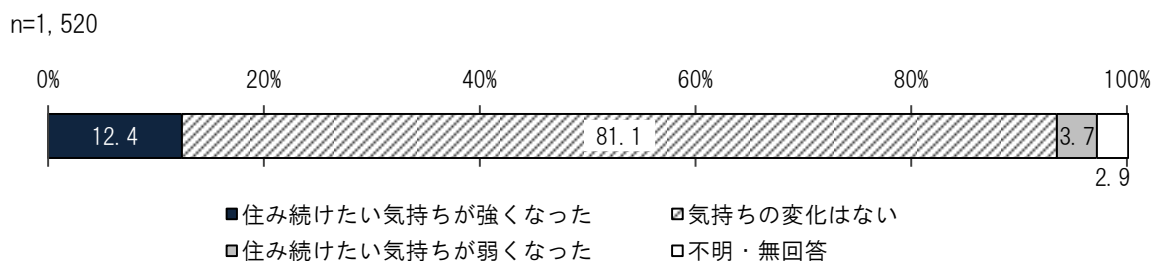


居住地区別にみると、「とても勧めたい」と「まあ勧めたい」を合わせた割合が中央小学校区では4割を超えている一方、児玉小学校区・秋平小学校区では2割前後にとどまっています。

		問2 市外の方に対し、本庄市への移住を勧めたい気持ちのどの程度ありますか。(1つに○)						
%		合計	とても勧めたい	まあ勧めたい	どちらともいえない	あまり勧めたくない	勧めたくない	不明・無回答
性別	全体	1520	6.8	23.9	52.6	6.8	2.8	7.0
	男性	635	7.4	21.6	53.9	7.7	3.3	6.1
	女性	816	6.5	25.7	51.7	6.4	2.5	7.2
	無回答	33	0.0	21.2	60.6	6.1	0.0	12.1
	全体	1520	6.8	23.9	52.6	6.8	2.8	7.0
年齢別	18歳・19歳	20	15.0	15.0	45.0	10.0	10.0	5.0
	20歳～29歳	98	9.2	27.6	50.0	8.2	2.0	3.1
	30歳～39歳	161	5.0	25.5	50.3	11.2	5.0	3.1
	40歳～49歳	209	4.3	24.4	55.0	8.1	2.9	5.3
	50歳～59歳	265	6.8	26.0	55.8	4.9	1.9	4.5
	60歳～69歳	304	6.3	23.4	53.6	6.9	3.3	6.6
	70歳～79歳	322	8.1	20.5	52.8	6.2	1.6	10.9
	80歳以上	107	8.4	24.3	46.7	3.7	2.8	14.0
居住地区別	全体	1520	6.8	23.9	52.6	6.8	2.8	7.0
	本庄東小学校区	219	7.8	25.1	55.3	5.0	1.8	5.0
	本庄西小学校区	119	6.7	24.4	49.6	6.7	0.8	11.8
	藤田小学校区	46	8.7	21.7	39.1	15.2	4.3	10.9
	仁手小学校区	17	0.0	35.3	23.5	29.4	0.0	11.8
	旭小学校区	114	8.8	21.1	56.1	5.3	0.9	7.9
	北泉小学校区	155	7.1	29.0	49.0	5.8	3.9	5.2
	本庄南小学校区	159	6.9	21.4	50.9	5.7	3.1	11.9
	中央小学校区	176	8.5	31.8	44.3	5.1	4.0	6.3
	児玉小学校区	159	3.1	19.5	60.4	9.4	4.4	3.1
	金屋小学校区	91	8.8	19.8	56.0	7.7	3.3	4.4
	秋平小学校区	52	1.9	17.3	61.5	5.8	3.8	9.6
	共和小学校区	74	6.8	20.3	56.8	9.5	0.0	6.8
	わからない	76	3.9	25.0	60.5	6.6	0.0	3.9

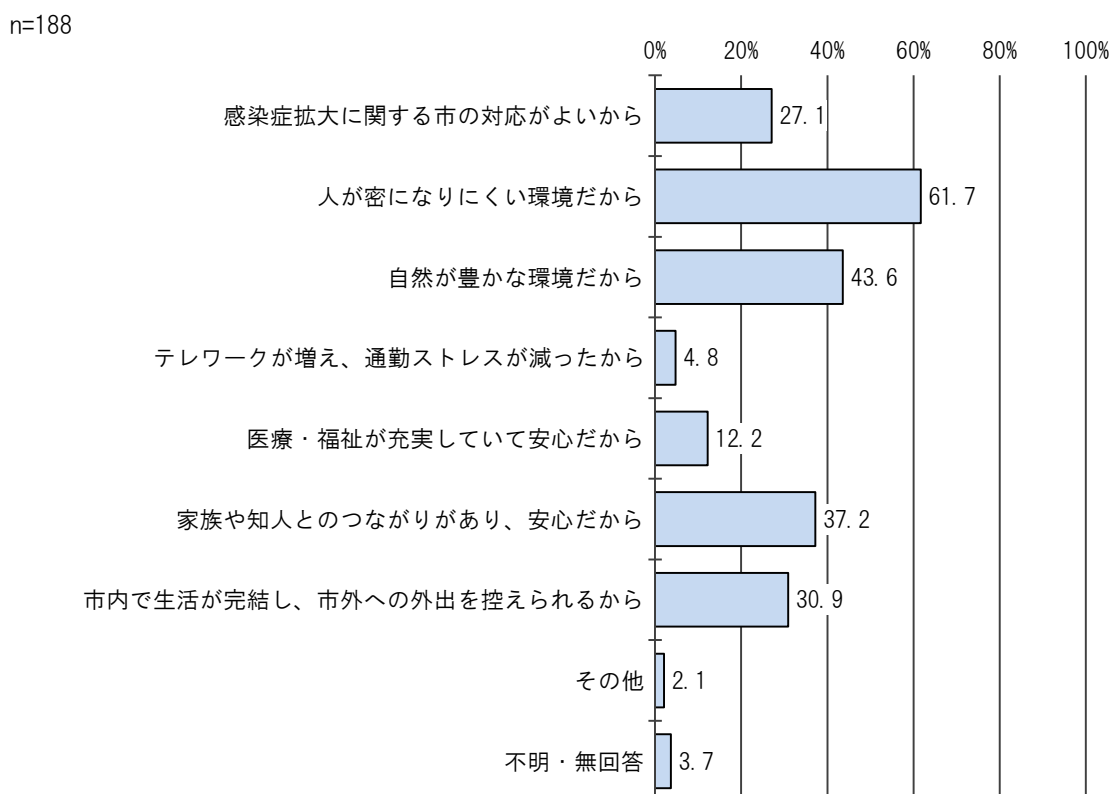
問3 本庄市に住み続けたいかどうかについて、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響・変化はありますか。(1つに○)

新型コロナウイルス感染症の拡大(以下、「コロナ禍」とする)による、本市での居住継続意向への影響について、「気持ちの変化はない」が81.1%と最も多い一方、「住み続けたい気持ちが強くなった」が12.4%と1割を超えています。



問3-1 (問3で1とお答えの方) 住み続けたい気持ちが強くなった主な理由は何ですか。(3つまでに○)

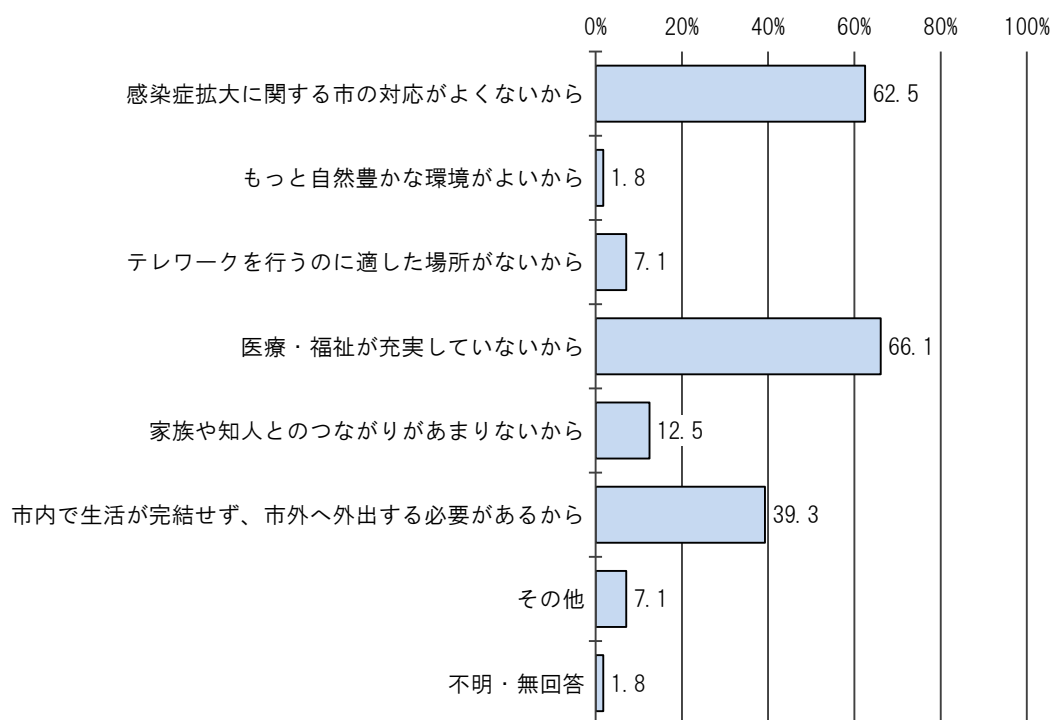
住み続けたい気持ちがコロナ禍で強くなった方188人について、その主な理由としては、「人が密になりにくい環境だから」が61.7%と最も多く、次いで「自然が豊かな環境だから」が43.6%、「家族や知人とのつながりがあり、安心だから」が37.2%となっています。



問3-2 (問3で2とお答えの方) 住みたい気持ちが弱くなった主な理由は何ですか。(3つまでに○)

住みたい気持ちがコロナ禍で弱くなった方 56 人について、その主な理由としては、「医療・福祉が充実していないから」が 66.1%と最も多い状況です。

n=56



問4 あなたは、以下のA～Iについて、どの程度、本市の魅力であると思いますか。

A 新幹線の停車駅がある

(単数回答)

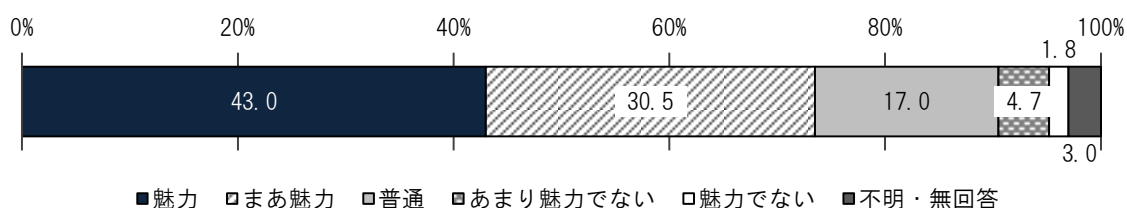
「魅力」が43.0%と最も多く、次いで多い「まあ魅力」と合わせ、およそ4人に3人が魅力だとしています。

性別でみると、「魅力」とした割合は女性が男性を7.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、「魅力」とした割合が29歳以下では5割以上である一方、30歳以上では4割前後となっています。

居住地区別でみると、「魅力」とした割合が北泉小学校区・共和小学校区では5割を超えている一方、3割台半ばにとどまる地区もみられます。

n=1,520



%		問4 A 新幹線の停車駅がある						
		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
性別	全体	1520	43.0	30.5	17.0	4.7	1.8	3.0
	男性	635	38.6	33.4	15.9	6.6	2.8	2.7
	女性	816	46.4	29.2	17.6	2.8	1.2	2.7
	無回答	33	42.4	15.2	27.3	9.1	0.0	6.1
年齢別	全体	1520	43.0	30.5	17.0	4.7	1.8	3.0
	18歳・19歳	20	50.0	35.0	15.0	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	98	54.1	23.5	16.3	2.0	3.1	1.0
	30歳～39歳	161	42.2	35.4	14.3	5.6	1.9	0.6
	40歳～49歳	209	38.3	34.0	17.7	6.2	2.9	1.0
	50歳～59歳	265	43.8	31.7	14.3	6.4	2.6	1.1
	60歳～69歳	304	43.1	29.3	18.8	4.6	1.6	2.6
	70歳～79歳	322	42.5	29.2	18.0	3.4	0.9	5.9
	80歳以上	107	41.1	29.0	20.6	1.9	0.9	6.5
居住地区別	全体	1520	43.0	30.5	17.0	4.7	1.8	3.0
	本庄東小学校区	219	42.5	28.8	19.6	4.6	0.5	4.1
	本庄西小学校区	119	36.1	36.1	16.8	5.0	3.4	2.5
	藤田小学校区	46	34.8	17.4	32.6	10.9	4.3	0.0
	仁手小学校区	17	41.2	29.4	23.5	0.0	5.9	0.0
	旭小学校区	114	38.6	37.7	12.3	4.4	3.5	3.5
	北泉小学校区	155	54.2	27.1	14.2	3.2	0.6	0.6
	本庄南小学校区	159	39.6	34.6	16.4	5.0	1.3	3.1
	中央小学校区	176	49.4	30.1	11.9	4.5	2.3	1.7
	児玉小学校区	159	35.8	36.5	19.5	3.8	2.5	1.9
	金屋小学校区	91	39.6	33.0	17.6	2.2	1.1	6.6
	秋平小学校区	52	42.3	30.8	15.4	9.6	0.0	1.9
	共和小学校区	74	52.7	23.0	14.9	5.4	1.4	2.7
	わからない	76	46.1	23.7	21.1	2.6	2.6	3.9

問4B 高速道路での移動がしやすい

(単数回答)

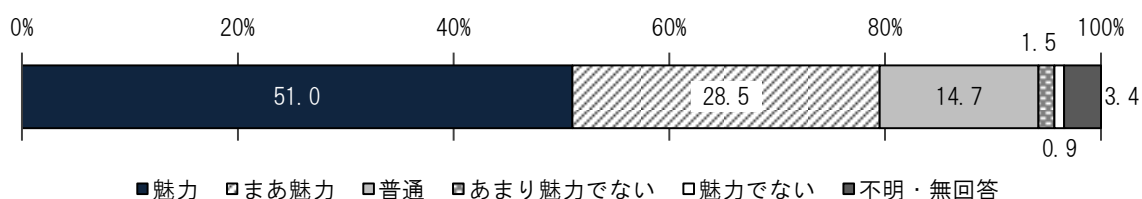
「魅力」が 51.0%と半数を超えており、次いで多い「まあ魅力」と合わせ、約8割が魅力だとしています。

性別でみると、大きな差はみられません。

年齢別でみると、「魅力」とした割合は、59歳以下の中で30歳～39歳のみが5割未満となっています。

居住地区別でみると、「魅力」とした割合は共和小学校区・中央小学校区では6割を超えている一方、一部の地区では3割台にとどまっています。

n=1,520



	%	問4B 高速道路での移動がしやすい						
		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	1520	51.0	28.5	14.7	1.5	0.9	3.4	
性別								
男性	635	49.1	30.9	15.3	1.4	0.6	2.7	
女性	816	53.1	26.8	14.0	1.5	1.0	3.7	
無回答	33	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	
年齢別								
全体	1520	51.0	28.5	14.7	1.5	0.9	3.4	
18歳・19歳	20	55.0	30.0	10.0	0.0	5.0	0.0	
20歳～29歳	98	59.2	23.5	14.3	0.0	2.0	1.0	
30歳～39歳	161	45.3	39.1	13.0	1.2	1.2	0.0	
40歳～49歳	209	56.5	28.7	12.4	0.5	1.0	1.0	
50歳～59歳	265	58.1	28.3	12.5	0.4	0.0	0.8	
60歳～69歳	304	48.0	29.3	16.8	2.0	0.3	3.6	
70歳～79歳	322	48.1	25.5	17.1	2.5	0.6	6.2	
80歳以上	107	40.2	27.1	17.8	2.8	1.9	10.3	
居住地区別								
全体	1520	51.0	28.5	14.7	1.5	0.9	3.4	
本庄東小学校区	219	49.3	28.3	15.1	1.8	0.9	4.6	
本庄西小学校区	119	47.1	32.8	15.1	0.8	0.0	4.2	
藤田小学校区	46	39.1	32.6	21.7	6.5	0.0	0.0	
仁手小学校区	17	35.3	29.4	29.4	5.9	0.0	0.0	
旭小学校区	114	48.2	36.0	11.4	0.9	0.0	3.5	
北泉小学校区	155	58.7	27.1	10.3	2.6	0.0	1.3	
本庄南小学校区	159	56.6	23.9	15.7	0.0	0.0	3.8	
中央小学校区	176	62.5	25.6	9.1	0.6	0.6	1.7	
児玉小学校区	159	42.1	32.7	19.5	1.3	1.9	2.5	
金屋小学校区	91	40.7	35.2	16.5	1.1	1.1	5.5	
秋平小学校区	52	38.5	30.8	25.0	3.8	0.0	1.9	
共和小学校区	74	63.5	24.3	6.8	1.4	1.4	2.7	
わからない	76	47.4	23.7	22.4	0.0	2.6	3.9	

問4C 都心までの距離がほどよい

(単数回答)

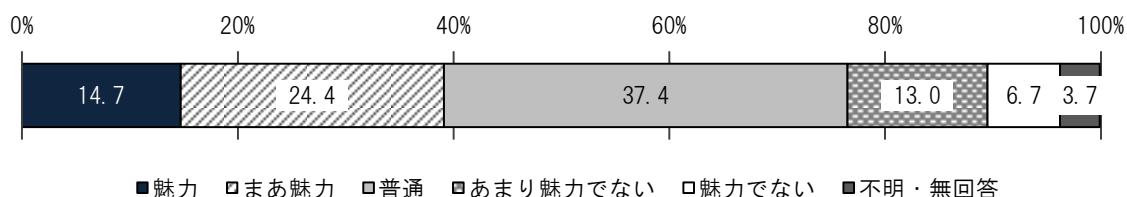
「普通」が37.4%と最も多く、「魅力」「まあ魅力」が合わせて39.1%となっています。

性別でみると、男女で大きな差はみられません。

年齢別でみると、18歳・19歳で「魅力」の割合が高かったものの、18歳・19歳の回答数は少ないため留意が必要です。

居住地区別でみると、「魅力」とした割合が最も高い金屋小学校区と、最も低い児玉小学校区では、10ポイント以上の差となっています。

n=1,520



	問4C 都心までの距離がほどよい						
	合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	1520	14.7	24.4	37.4	13.0	6.7	3.7
性別							
男性	635	13.4	23.9	38.0	13.9	7.4	3.5
女性	816	15.9	25.4	37.1	11.9	6.0	3.7
無回答	33	15.2	15.2	33.3	30.3	3.0	3.0
年齢別							
全体	1520	14.7	24.4	37.4	13.0	6.7	3.7
18歳・19歳	20	25.0	30.0	30.0	10.0	5.0	0.0
20歳～29歳	98	19.4	21.4	25.5	22.4	10.2	1.0
30歳～39歳	161	17.4	24.8	34.8	13.7	9.3	0.0
40歳～49歳	209	12.9	23.9	40.7	12.9	8.6	1.0
50歳～59歳	265	13.6	24.2	40.0	13.6	6.8	1.9
60歳～69歳	304	10.5	29.3	37.2	12.8	5.9	4.3
70歳～79歳	322	16.1	23.0	37.9	12.7	3.7	6.5
80歳以上	107	19.6	18.7	40.2	6.5	4.7	10.3
居住地区別							
全体	1520	14.7	24.4	37.4	13.0	6.7	3.7
本庄東小学校区	219	13.2	31.1	36.5	10.0	4.6	4.6
本庄西小学校区	119	12.6	21.0	40.3	16.0	7.6	2.5
藤田小学校区	46	19.6	26.1	28.3	17.4	8.7	0.0
仁手小学校区	17	17.6	41.2	23.5	17.6	0.0	0.0
旭小学校区	114	16.7	25.4	39.5	11.4	4.4	2.6
北泉小学校区	155	14.8	25.2	38.1	14.8	4.5	2.6
本庄南小学校区	159	13.8	26.4	37.7	12.6	6.3	3.1
中央小学校区	176	16.5	23.3	33.5	14.2	8.5	4.0
児玉小学校区	159	10.1	21.4	43.4	13.2	8.2	3.8
金屋小学校区	91	20.9	18.7	33.0	8.8	11.0	7.7
秋平小学校区	52	13.5	17.3	50.0	15.4	1.9	1.9
共和小学校区	74	20.3	21.6	37.8	14.9	2.7	2.7
わからない	76	15.8	19.7	34.2	14.5	11.8	3.9

問4D 日光、草津、軽井沢など、近郊の観光地までのアクセスがよい (単数回答)

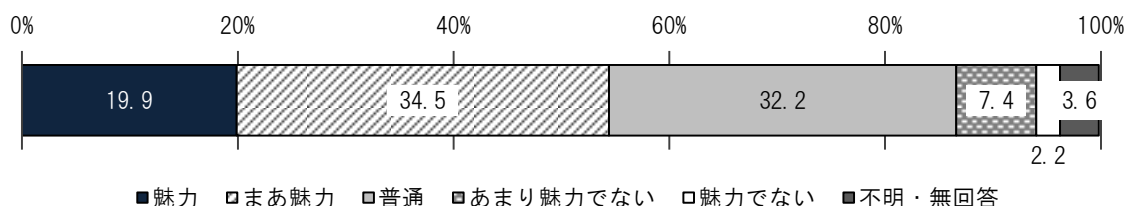
「まあ魅力」が34.5%と最も多く、次いで「普通」が32.2%、「魅力」が19.9%となっており、「魅力」「まあ魅力」が合わせて5割を超えています。

性別でみると、男女で大きな差はみられません。

年齢別でみると、「魅力」とした割合はより低い年齢層で高い傾向にあります。

居住地区別でみると、「魅力」とした割合が最も高い共和小学校区と、最も低い秋平小学校区では、14.2ポイントの差となっています。

n=1,520

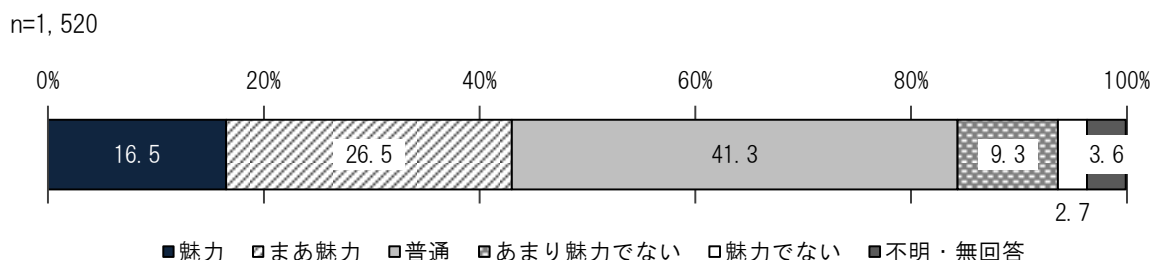


	%	問4D 日光、草津、軽井沢など、近郊の観光地までのアクセスがよい						
		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	1520	19.9	34.5	32.2	7.4	2.2	3.6	
性別	男性	635	17.8	34.0	34.5	8.0	2.7	3.0
	女性	816	21.9	35.7	30.6	6.1	2.0	3.7
	無回答	33	24.2	21.2	33.3	18.2	0.0	3.0
	全体	1520	19.9	34.5	32.2	7.4	2.2	3.6
年齢別	18歳・19歳	20	45.0	30.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	98	32.7	30.6	22.4	7.1	6.1	1.0
	30歳～39歳	161	27.3	32.9	27.3	8.7	3.7	0.0
	40歳～49歳	209	19.1	41.1	30.1	4.8	3.8	1.0
	50歳～59歳	265	19.6	40.0	31.3	6.4	1.5	1.1
	60歳～69歳	304	16.1	31.6	38.2	8.6	1.3	4.3
	70歳～79歳	322	17.1	32.9	35.4	7.8	0.6	6.2
	80歳以上	107	17.8	29.9	30.8	7.5	2.8	11.2
居住地区別	全体	1520	19.9	34.5	32.2	7.4	2.2	3.6
	本庄東小学校区	219	25.1	36.1	26.5	5.5	2.7	4.1
	本庄西小学校区	119	20.2	34.5	34.5	6.7	2.5	1.7
	藤田小学校区	46	19.6	37.0	32.6	8.7	2.2	0.0
	仁手小学校区	17	17.6	23.5	35.3	23.5	0.0	0.0
	旭小学校区	114	14.9	37.7	38.6	1.8	1.8	5.3
	北泉小学校区	155	23.9	34.2	29.0	8.4	1.9	2.6
	本庄南小学校区	159	18.2	37.7	30.2	6.9	1.9	5.0
	中央小学校区	176	19.9	34.1	35.2	6.8	1.1	2.8
	児玉小学校区	159	14.5	33.3	37.7	9.4	1.3	3.8
	金屋小学校区	91	19.8	29.7	35.2	7.7	2.2	5.5
	秋平小学校区	52	11.5	34.6	40.4	13.5	0.0	0.0
	共和小学校区	74	25.7	36.5	29.7	4.1	1.4	2.7
	わからない	76	27.6	32.9	19.7	7.9	7.9	3.9

問4E 自然が豊か

(単数回答)

「普通」が41.3%と最も多く、次いで「まあ魅力」が26.5%、「魅力」が16.5%となっています。
 性別でみると、男女で大きな差はみられません。
 年齢別では、20～29歳で「魅力」とした割合が25.5%と高くなっています。
 居住地区別にみると、「魅力」とした割合が金屋小学校区・共和小学校では3割半ばとなっている一方、一部の小学校区では1割前後にとどまっています。



		問4E 自然が豊か						
%		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
性別	全体	1520	16.5	26.5	41.3	9.3	2.7	3.6
	男性	635	14.6	27.1	41.1	11.3	3.0	2.8
	女性	816	18.3	26.8	40.7	8.0	2.2	4.0
	無回答	33	12.1	18.2	45.5	15.2	6.1	3.0
年齢別	全体	1520	16.5	26.5	41.3	9.3	2.7	3.6
	18歳・19歳	20	20.0	25.0	50.0	5.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	98	25.5	29.6	25.5	14.3	4.1	1.0
	30歳～39歳	161	18.0	19.3	49.1	7.5	5.6	0.6
	40歳～49歳	209	11.5	27.3	46.4	11.0	2.9	1.0
	50歳～59歳	265	17.7	25.7	44.5	8.3	2.3	1.5
	60歳～69歳	304	14.5	32.2	40.1	8.6	1.6	3.0
	70歳～79歳	322	16.8	25.2	40.4	9.6	1.6	6.5
	80歳以上	107	18.7	26.2	26.2	12.1	3.7	13.1
居住地区別	全体	1520	16.5	26.5	41.3	9.3	2.7	3.6
	本庄東小学校区	219	11.4	27.9	45.2	10.0	1.8	3.7
	本庄西小学校区	119	8.4	29.4	45.4	9.2	5.0	2.5
	藤田小学校区	46	13.0	21.7	54.3	10.9	0.0	0.0
	仁手小学校区	17	11.8	29.4	47.1	11.8	0.0	0.0
	旭小学校区	114	16.7	20.2	50.0	6.1	1.8	5.3
	北泉小学校区	155	18.7	29.0	36.1	11.6	1.3	3.2
	本庄南小学校区	159	9.4	20.8	47.2	13.8	5.0	3.8
	中央小学校区	176	13.6	27.8	38.6	14.2	3.4	2.3
	児玉小学校区	159	19.5	30.8	38.4	6.9	1.9	2.5
	金屋小学校区	91	35.2	29.7	26.4	1.1	1.1	6.6
	秋平小学校区	52	26.9	40.4	30.8	0.0	0.0	1.9
	共和小学校区	74	35.1	23.0	28.4	6.8	2.7	4.1
	わからない	76	15.8	19.7	43.4	11.8	3.9	5.3

問4F 商業施設が揃っており、買い物に便利

(単数回答)

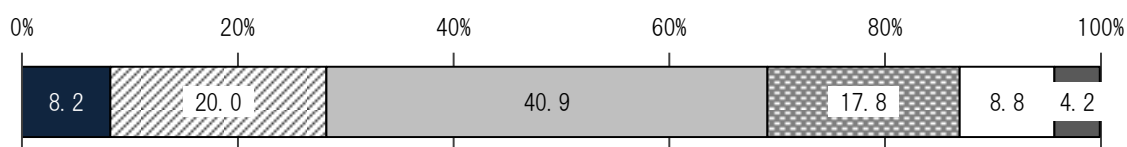
「普通」が40.9%と最も多く、「魅力」「まあ魅力」が合わせて28.2%となっています。

性別でみると、男女で大きな差はみられません。

年齢別では、「魅力」とした割合が39歳以下で比較的高くなっています。

居住地区別にみると、秋平小学校区では「あまり魅力でない」「魅力でない」が合わせて約4割となっています。

n=1,520



■魅力 □まあ魅力 □普通 □あまり魅力でない □魅力でない ■不明・無回答

%		問4F 商業施設が揃っており、買い物に便利						
		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
性別	全体	1520	8.2	20.0	40.9	17.8	8.8	4.2
	男性	635	6.5	22.0	41.7	18.1	8.2	3.5
	女性	816	9.4	19.1	40.4	17.5	9.1	4.4
	無回答	33	12.1	9.1	36.4	21.2	18.2	3.0
年齢別	全体	1520	8.2	20.0	40.9	17.8	8.8	4.2
	18歳・19歳	20	15.0	45.0	20.0	5.0	15.0	0.0
	20歳～29歳	98	13.3	19.4	37.8	15.3	13.3	1.0
	30歳～39歳	161	14.9	15.5	41.0	18.6	9.9	0.0
	40歳～49歳	209	8.6	19.6	33.0	21.1	16.7	1.0
	50歳～59歳	265	5.7	19.2	44.2	20.4	9.4	1.1
	60歳～69歳	304	5.6	20.4	43.8	18.4	7.9	3.9
	70歳～79歳	322	8.4	19.3	44.1	17.4	3.7	7.1
	80歳以上	107	5.6	28.0	37.4	8.4	3.7	16.8
居住地区別	全体	1520	8.2	20.0	40.9	17.8	8.8	4.2
	本庄東小学校区	219	7.8	25.1	37.0	16.4	8.7	5.0
	本庄西小学校区	119	5.9	23.5	44.5	17.6	5.0	3.4
	藤田小学校区	46	6.5	23.9	41.3	19.6	8.7	0.0
	仁手小学校区	17	11.8	11.8	41.2	29.4	5.9	0.0
	旭小学校区	114	7.0	19.3	40.4	24.6	3.5	5.3
	北泉小学校区	155	11.0	24.5	42.6	10.3	8.4	3.2
	本庄南小学校区	159	7.5	19.5	42.1	17.6	9.4	3.8
	中央小学校区	176	8.0	22.7	34.7	17.6	13.6	3.4
	児玉小学校区	159	3.8	11.9	51.6	18.2	10.7	3.8
	金屋小学校区	91	9.9	11.0	42.9	18.7	11.0	6.6
	秋平小学校区	52	5.8	17.3	36.5	34.6	3.8	1.9
	共和小学校区	74	8.1	23.0	43.2	16.2	6.8	2.7
	わからない	76	22.4	18.4	34.2	11.8	9.2	3.9

問4G 子育てがしやすい

(単数回答)

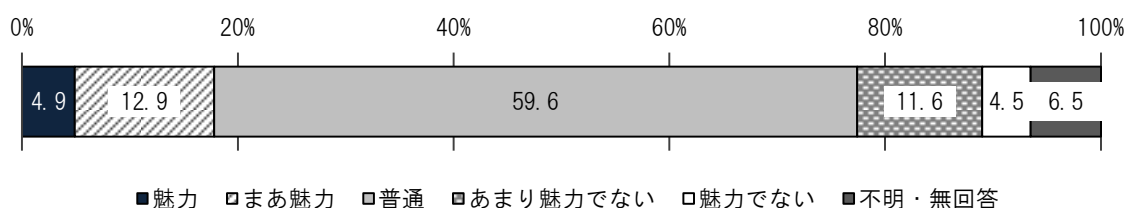
「普通」が59.6%と最も多く、次いで「まあ魅力」が12.9%、「あまり魅力でない」が11.6%となっています。

性別で見ると、男女で大きな差はみられません。

年齢別で見ると、「魅力」「まあ魅力」を合わせた割合は、30～39歳で25.5%と最も高くなっています(回答者の少ない18歳・19歳を除く)。ただし、「あまり魅力でない」「魅力でない」を合わせた割合も30～39歳で最も高くなっている点に留意が必要です。

居住地区別で見ると、「魅力」「まあ魅力」を合わせて2割を超えているのは、本庄東小学校区・旭小学校区・北泉小学校区・中央小学校区・共和小学校区となっている一方、1割程度にとどまる地区もみられます。

n=1,520



% 問4G 子育てがしやすい		合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
性別	全体	1520	4.9	12.9	59.6	11.6	4.5	6.5
	男性	635	3.6	13.4	60.3	14.0	3.1	5.5
	女性	816	6.1	13.2	58.8	9.6	5.3	7.0
	無回答	33	3.0	3.0	63.6	15.2	6.1	9.1
年齢別	全体	1520	4.9	12.9	59.6	11.6	4.5	6.5
	18歳・19歳	20	15.0	30.0	40.0	5.0	10.0	0.0
	20歳～29歳	98	7.1	11.2	61.2	13.3	5.1	2.0
	30歳～39歳	161	7.5	18.0	50.3	17.4	5.6	1.2
	40歳～49歳	209	7.2	14.8	57.9	13.4	4.3	2.4
	50歳～59歳	265	2.3	12.1	66.8	12.8	4.9	1.1
	60歳～69歳	304	3.0	11.2	65.1	8.9	5.9	5.9
	70歳～79歳	322	5.3	11.5	59.3	9.3	2.2	12.4
80歳以上	107	5.6	14.0	44.9	10.3	1.9	23.4	
居住地区別	全体	1520	4.9	12.9	59.6	11.6	4.5	6.5
	本庄東小学校区	219	5.9	16.0	55.3	13.2	3.2	6.4
	本庄西小学校区	119	4.2	10.1	59.7	13.4	5.0	7.6
	藤田小学校区	46	4.3	6.5	60.9	19.6	4.3	4.3
	仁手小学校区	17	0.0	11.8	64.7	23.5	0.0	0.0
	旭小学校区	114	9.6	11.4	62.3	7.0	2.6	7.0
	北泉小学校区	155	5.8	18.1	59.4	7.7	3.2	5.8
	本庄南小学校区	159	3.8	13.2	62.9	11.3	2.5	6.3
	中央小学校区	176	4.5	17.0	59.1	10.2	4.0	5.1
	児玉小学校区	159	5.0	10.1	60.4	13.8	7.5	3.1
	金屋小学校区	91	5.5	11.0	59.3	13.2	3.3	7.7
	秋平小学校区	52	1.9	9.6	65.4	13.5	7.7	1.9
	共和小学校区	74	8.1	16.2	55.4	9.5	5.4	5.4
	わからない	76	1.3	7.9	57.9	9.2	7.9	15.8

問4H 教育施設が整備されている

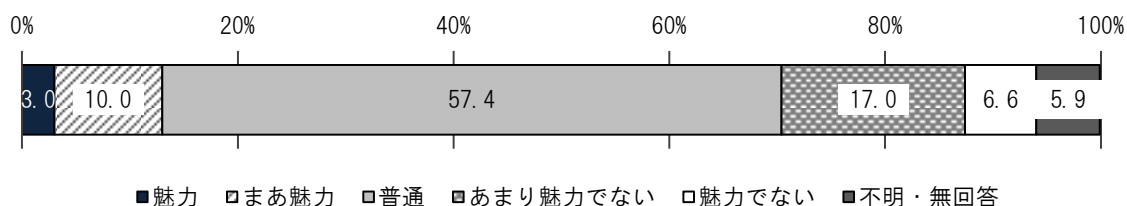
(単数回答)

「普通」が 57.4%と最も多く、「あまり魅力でない」「魅力でない」が合わせて 23.6%となっています。性別でみると、男女で大きな差はみられません。

年齢別でみると、「あまり魅力でない」「魅力でない」を合わせた割合は、30～39 歳で約3割と最も高くなっています。

居住地区別では大きな差は見られないものの、「魅力」「まあ魅力」を合わせた割合は、旭小学校区で 17.6%と最も高くなっています。

n=1,520



	問4H 教育施設が整備されている						
	合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	1520	3.0	10.0	57.4	17.0	6.6	5.9
性別							
男性	635	2.8	9.6	59.1	18.0	6.1	4.4
女性	816	3.3	10.5	56.3	16.3	6.9	6.7
無回答	33	3.0	6.1	57.6	15.2	9.1	9.1
年齢別							
全体	1520	3.0	10.0	57.4	17.0	6.6	5.9
18歳・19歳	20	20.0	25.0	40.0	5.0	10.0	0.0
20歳～29歳	98	7.1	14.3	53.1	16.3	7.1	2.0
30歳～39歳	161	6.8	6.2	57.1	22.4	6.2	1.2
40歳～49歳	209	2.9	14.4	54.5	17.7	8.6	1.9
50歳～59歳	265	2.6	6.8	63.0	17.7	8.7	1.1
60歳～69歳	304	0.7	8.6	58.6	19.4	7.6	5.3
70歳～79歳	322	1.9	9.3	59.3	14.9	2.8	11.8
80歳以上	107	2.8	16.8	47.7	7.5	5.6	19.6
居住地区別							
全体	1520	3.0	10.0	57.4	17.0	6.6	5.9
本庄東小学校区	219	4.1	11.4	55.7	16.9	5.0	6.8
本庄西小学校区	119	3.4	7.6	61.3	14.3	6.7	6.7
藤田小学校区	46	4.3	2.2	60.9	26.1	4.3	2.2
仁手小学校区	17	5.9	5.9	58.8	23.5	5.9	0.0
旭小学校区	114	4.4	13.2	57.0	15.8	3.5	6.1
北泉小学校区	155	2.6	14.8	60.0	10.3	7.1	5.2
本庄南小学校区	159	2.5	6.9	62.3	15.7	5.7	6.9
中央小学校区	176	2.3	14.8	52.3	21.6	5.7	3.4
児玉小学校区	159	1.9	10.1	54.7	22.0	8.8	2.5
金屋小学校区	91	6.6	3.3	62.6	11.0	8.8	7.7
秋平小学校区	52	0.0	11.5	59.6	19.2	7.7	1.9
共和小学校区	74	4.1	9.5	56.8	18.9	6.8	4.1
わからない	76	0.0	7.9	53.9	15.8	9.2	13.2

問4I 歴史・文化のあるまちである

(単数回答)

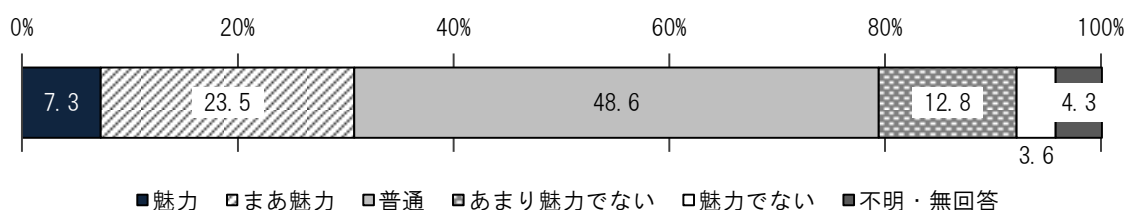
「普通」が48.6%と最も多く、次いで「まあ魅力」が23.5%、「あまり魅力でない」が12.8%となっています。

性別で見ると、男女で大きな差はみられません。

年齢別で見ると、「魅力」「まあ魅力」を合わせた割合は、18歳・19歳を除いたすべての区分で3割前後となっており、必ずしも大きな差はみられません。

居住地区別で見ると、「魅力」「まあ魅力」を合わせた割合は、最も高い秋平小学校区では4割を超えている一方、2割弱にとどまっている地区もみられます。

n=1,520



	問4I 歴史・文化のあるまちである						
	合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	1520	7.3	23.5	48.6	12.8	3.6	4.3
性別							
男性	635	5.8	25.2	48.0	13.7	4.3	3.0
女性	816	8.1	23.0	48.9	12.0	3.2	4.8
無回答	33	9.1	9.1	48.5	21.2	3.0	9.1
年齢別							
全体	1520	7.3	23.5	48.6	12.8	3.6	4.3
18歳・19歳	20	10.0	40.0	45.0	0.0	5.0	0.0
20歳～29歳	98	11.2	20.4	44.9	15.3	5.1	3.1
30歳～39歳	161	9.3	18.0	53.4	11.2	8.1	0.0
40歳～49歳	209	6.2	25.4	45.5	18.2	3.3	1.4
50歳～59歳	265	5.3	23.0	52.5	14.0	3.8	1.5
60歳～69歳	304	6.3	25.7	50.7	11.5	2.6	3.3
70歳～79歳	322	7.8	24.8	44.1	13.0	2.5	7.8
80歳以上	107	8.4	20.6	47.7	6.5	1.9	15.0
居住地区別							
全体	1520	7.3	23.5	48.6	12.8	3.6	4.3
本庄東小学校区	219	9.1	19.6	48.9	16.0	1.8	4.6
本庄西小学校区	119	5.9	29.4	48.7	10.9	1.7	3.4
藤田小学校区	46	4.3	19.6	45.7	26.1	2.2	2.2
仁手小学校区	17	0.0	17.6	58.8	17.6	5.9	0.0
旭小学校区	114	7.0	21.9	50.0	13.2	1.8	6.1
北泉小学校区	155	6.5	20.0	52.9	9.7	7.1	3.9
本庄南小学校区	159	3.8	19.5	53.5	17.0	3.1	3.1
中央小学校区	176	5.1	26.1	44.9	15.9	5.7	2.3
児玉小学校区	159	9.4	29.6	46.5	10.1	1.9	2.5
金屋小学校区	91	12.1	26.4	47.3	5.5	2.2	6.6
秋平小学校区	52	9.6	32.7	46.2	9.6	0.0	1.9
共和小学校区	74	6.8	29.7	47.3	8.1	4.1	4.1
わからない	76	9.2	17.1	44.7	10.5	9.2	9.2

問5 本庄市が進めてきたまちづくりの各項目について、①満足しているか、②重要だと思うかを、それぞれ5段階で評価してください。(①と②、それぞれ1つに○)

各項目の満足度・重要度の評価を点数化すると、満足度が最も高いのは「23 水道の整備が進んでいる」で0.77、次いで「18 ごみの収集や資源回収体制が整備されている」が0.75、「10 文化財の保護と活用が推進され、歴史や伝統が大事にされている」が0.47と続いています。一方、満足度が低いのは「13 商業の活気がある」(-0.61)、「20 まちの景観や街並みなどが美しい」(-0.48)、「16 誰もが生き生きと働き続けられる環境づくりが進んでいる」(-0.41)となっています。

重要度については、「3 病院や診療所など医療機関が充実している」が1.68と最も高く、次いで「18 ごみの収集や資源回収体制が整備されている」が1.65、「28 水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている」が1.63と続いています。一方、「34 早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる」「15 地域資源の活用による観光の振興が図られている」「26 ボランティア活動や自治会活動などの市民との協働によるまちづくりが進んでいる」などで重要度が比較的低くなっています。

No.	項目	満足度	重要度
1	保育所など子育て支援が充実している	0.28	1.47
2	住民健診や健康指導が充実している	0.56	1.46
3	病院や診療所など医療機関が充実している	-0.26	1.68
4	障害者への支援体制や誰もが地域で支え合える体制が充実している	-0.11	1.33
5	高齢者が生きがいをもって暮らせる体制が充実している	-0.14	1.30
6	学力を育む教育が充実している	-0.01	1.33
7	人権を尊重する教育が進んでいる	0.03	1.19
8	小・中学校の施設・設備が充実している	0.22	1.34
9	子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	-0.01	1.02
10	文化財の保護と活用が推進され、歴史や伝統が大事にされている	0.47	0.95
11	スポーツ・レクリエーション施設が整っている	-0.02	0.94
12	農林業の活気がある	-0.08	0.95
13	商業の活気がある	-0.61	1.27
14	工業の活気がある	-0.31	1.09
15	地域資源の活用による観光の振興が図られている	-0.34	0.81
16	誰もが生き生きと働き続けられる環境づくりが進んでいる	-0.41	1.30
17	環境に配慮した活動が進んでいる	-0.09	1.17
18	ごみの収集や資源回収体制が整備されている	0.75	1.65
19	計画的なまちづくりが進んでいる	-0.24	1.28
20	まちの景観や街並みなどが美しい	-0.48	1.06
21	道路や河川が整備されている	-0.29	1.45
22	公共交通等の交通サービスが利用しやすい	-0.31	1.35
23	水道の整備が進んでいる	0.77	1.57
24	下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	0.41	1.53
25	身近なところに公園や遊び場などがある	0.20	1.24
26	ボランティア活動や自治会活動などの市民との協働によるまちづくりが進んでいる	0.08	0.83
27	人権を尊重する社会が実現されている	0.03	1.08
28	水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	0.12	1.63
29	街路灯など防犯の面で安心である	-0.37	1.61
30	交通安全対策が充実している	-0.17	1.52
31	市の窓口サービスが向上している	0.23	1.26
32	市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	0.06	0.89
33	効率的・効果的な行政経営が進んでいる	-0.15	1.07
34	早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	0.07	0.55
35	インターネットを利用した行政サービスが充実している	-0.03	0.92
36	財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	0.04	1.06

また、重要度と満足度の差(「重要だとされる度合いに対する満足度の低さ」)を項目別にみると、「29 街路灯など防犯の面で安心である」で 1.98 と最も大きく、次いで「3 病院や診療所など医療機関が充実している」が 1.94、「13 商業の活気がある」が 1.87 と続いており、差を縮める取組が必要と考えられます。

No.	項目	重要度と満足度の差
29	街路灯など防犯の面で安心である	1.98
3	病院や診療所など医療機関が充実している	1.94
13	商業の活気がある	1.87
21	道路や河川が整備されている	1.74
16	誰もが生き生きと働き続けられる環境づくりが進んでいる	1.71
30	交通安全対策が充実している	1.69
22	公共交通等の交通サービスが利用しやすい	1.66
20	まちの景観や街並みなどが美しい	1.55
19	計画的なまちづくりが進んでいる	1.52
28	水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	1.50
5	高齢者が生きがいをもって暮らせる体制が充実している	1.45
4	障害者への支援体制や誰もが地域で支え合える体制が充実している	1.44
14	工業の活気がある	1.40
6	学力を育む教育が充実している	1.34
17	環境に配慮した活動が進んでいる	1.26
33	効率的・効果的な行政経営が進んでいる	1.22
1	保育所など子育て支援が充実している	1.19
7	人権を尊重する教育が進んでいる	1.16
15	地域資源の活用による観光の振興が図られている	1.15
8	小・中学校の施設・設備が充実している	1.12
24	下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	1.12
27	人権を尊重する社会が実現されている	1.05
25	身近なところに公園や遊び場などがある	1.04
36	財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	1.03
9	子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	1.03
12	農林業の活気がある	1.03
31	市の窓口サービスが向上している	1.02
11	スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.95
35	インターネットを利用した行政サービスが充実している	0.95
18	ごみの収集や資源回収体制が整備されている	0.90
2	住民健診や健康指導が充実している	0.90
32	市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	0.83
23	水道の整備が進んでいる	0.80
26	ボランティア活動や自治会活動などの市民との協働によるまちづくりが進んでいる	0.75
34	早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	0.48
10	文化財の保護と活用が推進され、歴史や伝統が大事にされている	0.48

※上表は、重要度と満足度の差でみた降順に項目を並べています

満足度・重要度の算出方法

満足度:各項目の回答について、「満足している」を2点、「多少満足している」を1点、「多少不満である」を-1点、「不満である」を-2点、「わからない」を0点として合計し、その項目の回答者数(無回答を除く)で除しています。

重要度:各項目の回答について、「重要である」を2点、「やや重要である」を1点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点、「わからない」を0点として合計し、その項目の回答者数(無回答を除く)で除しています。

前回との比較(満足度)

No.	項目	前回満足度	満足度	変化
1	保育所など子育て支援が充実している	0.18	0.28	0.10
2	住民健診や健康指導が充実している	0.22	0.56	0.34
3	病院や診療所など医療機関が充実している	-0.61	-0.26	0.35
4	障害者への支援体制や誰もが地域で支え合える体制が充実している	-0.17	-0.11	0.06
5	高齢者が生きがいをもって暮らせる体制が充実している	-0.16	-0.14	0.02
6	学力を育む教育が充実している	-0.15	-0.01	0.14
7	人権を尊重する教育が進んでいる	0.02	0.03	0.01
8	小・中学校の施設・設備が充実している	0.09	0.22	0.13
9	子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	-0.09	-0.01	0.08
10	文化財の保護と活用が推進され、歴史や伝統が大事にされている	0.48	0.47	-0.01
11	スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.02	-0.02	-0.04
12	農林業の活気がある	-0.22	-0.08	0.14
13	商業の活気がある	-0.90	-0.61	0.29
14	工業の活気がある	-0.52	-0.31	0.21
15	地域資源の活用による観光の振興が図られている	-0.57	-0.34	0.23
16	誰もが生き生きと働き続けられる環境づくりが進んでいる	-1.02	-0.41	0.61
17	環境に配慮した活動が進んでいる	-0.24	-0.09	0.15
18	ごみの収集や資源回収体制が整備されている	0.55	0.75	0.20
19	計画的なまちづくりが進んでいる	-0.56	-0.24	0.32
20	まちの景観や街並みなどが美しい	-0.42	-0.48	-0.06
21	道路や河川が整備されている	-0.41	-0.29	0.12
22	公共交通等の交通サービスが利用しやすい	-0.61	-0.31	0.30
23	水道の整備が進んでいる	0.55	0.77	0.22
24	下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	0.15	0.41	0.26
25	身近なところに公園や遊び場などがある	-0.16	0.20	0.36
26	ボランティア活動や自治会活動などの市民との協働によるまちづくりが進んでいる	0.03	0.08	0.05
27	人権を尊重する社会が実現されている	-0.03	0.03	0.06
28	水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	-0.13	0.12	0.25
29	街路灯など防犯の面で安心である	-0.68	-0.37	0.31
30	交通安全対策が充実している	-0.34	-0.17	0.17
31	市の窓口サービスが向上している	0.05	0.23	0.18
32	市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	-0.12	0.06	0.18
33	効率的・効果的な行政経営が進んでいる	-0.30	-0.15	0.15
34	早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	-0.07	0.07	0.14
35	インターネットを利用した行政サービスが充実している	-0.07	-0.03	0.04
36	財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	-0.12	0.04	0.16

前回との比較(重要度)

No.	項目	前回重要度	重要度	変化
1	保育所など子育て支援が充実している	1.43	1.47	0.04
2	住民健診や健康指導が充実している	1.47	1.46	-0.01
3	病院や診療所など医療機関が充実している	1.67	1.68	0.01
4	障害者への支援体制や誰もが地域で支え合える体制が充実している	1.24	1.33	0.09
5	高齢者が生きがいをもって暮らせる体制が充実している	1.23	1.30	0.07
6	学力を育む教育が充実している	1.27	1.33	0.06
7	人権を尊重する教育が進んでいる	1.11	1.19	0.08
8	小・中学校の施設・設備が充実している	1.20	1.34	0.14
9	子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	1.01	1.02	0.01
10	文化財の保護と活用が推進され、歴史や伝統が大事にされている	0.88	0.95	0.07
11	スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.86	0.94	0.08
12	農林業の活気がある	0.93	0.95	0.02
13	商業の活気がある	1.26	1.27	0.01
14	工業の活気がある	1.10	1.09	-0.01
15	地域資源の活用による観光の振興が図られている	0.78	0.81	0.03
16	誰もが生き生きと働き続けられる環境づくりが進んでいる	1.51	1.30	-0.21
17	環境に配慮した活動が進んでいる	1.11	1.17	0.06
18	ごみの収集や資源回収体制が整備されている	1.43	1.65	0.22
19	計画的なまちづくりが進んでいる	1.10	1.28	0.18
20	まちの景観や街並みなどが美しい	0.99	1.06	0.07
21	道路や河川が整備されている	1.29	1.45	0.16
22	公共交通等の交通サービスが利用しやすい	1.29	1.35	0.06
23	水道の整備が進んでいる	1.29	1.57	0.28
24	下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	1.31	1.53	0.22
25	身近なところに公園や遊び場などがある	1.08	1.24	0.16
26	ボランティア活動や自治会活動などの市民との協働によるまちづくりが進んでいる	0.78	0.83	0.05
27	人権を尊重する社会が実現されている	1.05	1.08	0.03
28	水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	1.61	1.63	0.02
29	街路灯など防犯の面で安心である	1.55	1.61	0.06
30	交通安全対策が充実している	1.45	1.52	0.07
31	市の窓口サービスが向上している	1.16	1.26	0.10
32	市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	0.82	0.89	0.07
33	効率的・効果的な行政経営が進んでいる	1.10	1.07	-0.03
34	早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	0.64	0.55	-0.09
35	インターネットを利用した行政サービスが充実している	0.71	0.92	0.21
36	財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	1.11	1.06	-0.05

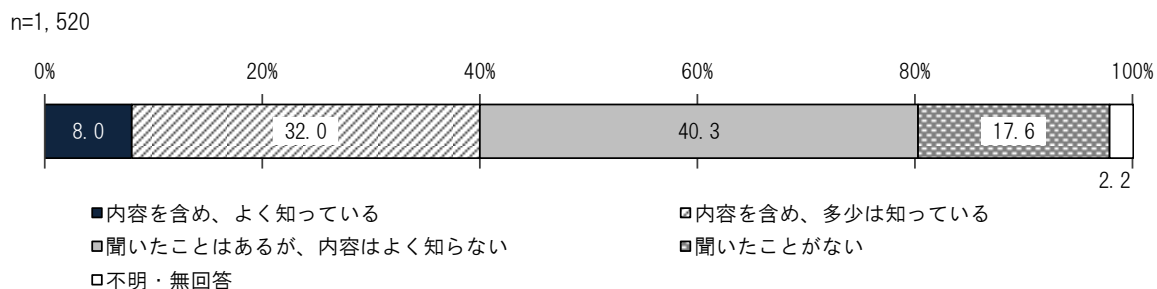
前回との比較について

満足度、重要度ともに、前回調査と同一の方法で点数化を行っていますが、調査票における各項目の表現や順序については一部変更を行っています。

問6 あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。(1つに○) (単数回答)

SDGs をどの程度知っているかについてみると、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が40.3%と最も多く、「内容を含め、よく知っている」「内容を含め、多少は知っている」は合わせて4割にとどまっています。

年齢別にみると、「聞いたことがない」「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合わせた割合は、より高齢の層で高い傾向にあり、50歳以上の各層では5割を超えています。



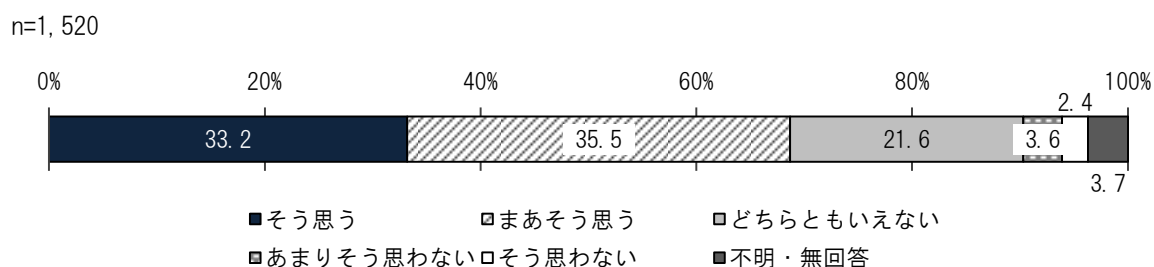
%	問6 あなたは、SDGsについてどの程度ご存知ですか。(1つに○)					
	合計	内容を含め、よく知っている	内容を含め、多少は知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	聞いたことがない	不明・無回答
全体	1520	8.0	32.0	40.3	17.6	2.2
18歳・19歳	20	25.0	40.0	15.0	20.0	0.0
20歳～29歳	98	12.2	40.8	29.6	17.3	0.0
30歳～39歳	161	11.8	38.5	33.5	15.5	0.6
40歳～49歳	209	12.4	39.2	30.6	15.8	1.9
50歳～59歳	265	11.3	32.8	40.4	14.3	1.1
60歳～69歳	304	5.9	34.5	39.8	17.8	2.0
70歳～79歳	322	2.5	21.4	51.9	19.6	4.7
80歳以上	107	0.9	18.7	50.5	26.2	3.7

問7 以下のア～ウのような考えについて、どのように思いますか。(それぞれについて、1〈そう思う〉～5〈そう思わない〉の1つに○)

※SDGsの実現に向けた身近な取組例：ごみや食品ロスの削減、自転車や公共交通の利用 など

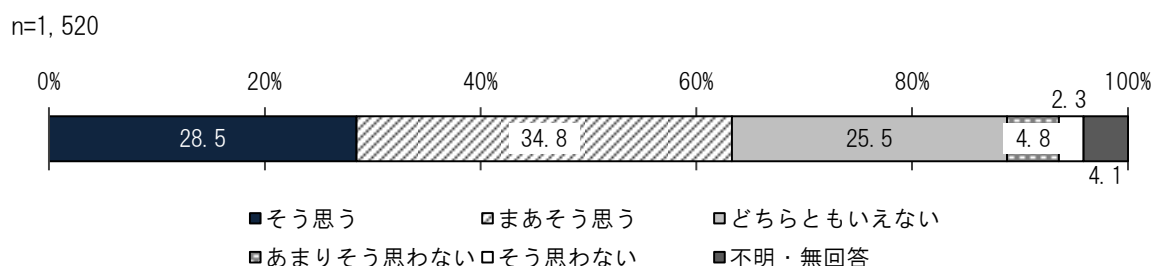
ア SDGsの実現に向けて、私個人にもできることがある

SDGs の実現に向けて自身にできることがあるかについて、「まあそう思う」が 35.5%と最も多く、「そう思う」と合わせて約7割となっています。



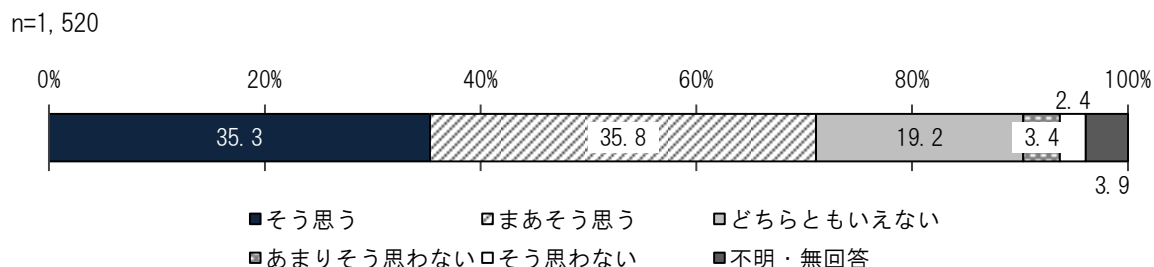
問7イ SDGsが実現されることは、私にとってよい影響がある (単数回答)

SDGs の実現は自身によい影響があるかについて、「まあそう思う」が 34.8%と最も多い一方、「どちらともいえない」が 25.5%となっています。



問7ウ SDGsの実現に向けた市の取組は、市の魅力向上にもつながる (単数回答)

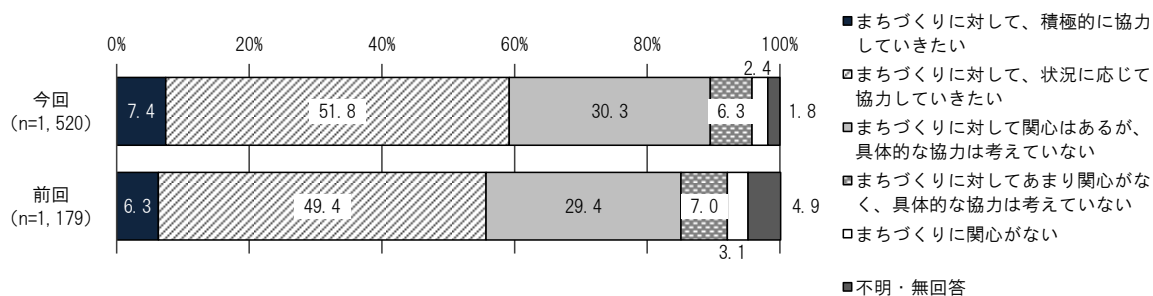
SDGs の実現に向けた市の取組が市の魅力向上にもつながるかについて、「まあそう思う」が 35.8%と最も多く、「そう思う」と合わせて7割を超えています。



問8 あなたはまちづくりにどのように関わっていきたいですか。(1つに○)
 ※まちづくりの例：地域の清掃活動、行事の運営手伝い、登下校の見守り など

まちづくりへの関与の意向について、「まちづくりに対して、状況に応じて協力していきたい」が51.8%と最も多く、「まちづくりに対して、積極的に協力していきたい」と合わせて約6割に意向がある状況です。一方、「まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない」が30.3%となっています。前回と比較すると、ほとんど差はみられません。

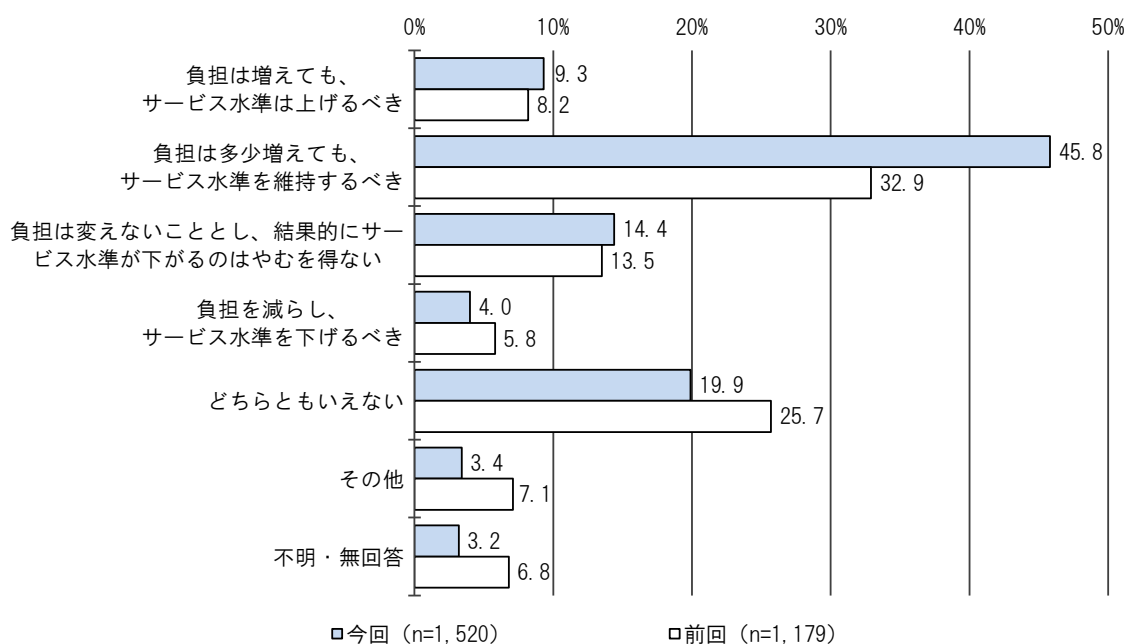
属性別にみると、居住地区を「わからない」とした層では、「まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない」が最も多く、4割を超えています。



%		問8 あなたはまちづくりにどのように関わっていきたいですか。(1つに○)						
		合計	積極的に協力していき	状況に応じて協力して	関心はあるが、具体的な協力は考えていない	あまり関心がなく、具体的な協力は考えていない	関心がない	不明・無回答
性別	全体	1520	7.4	51.8	30.3	6.3	2.4	1.8
	男性	635	9.1	50.9	30.4	5.5	2.0	2.0
	女性	816	6.1	53.8	29.8	6.5	2.1	1.7
	無回答	33	0.0	30.3	33.3	15.2	18.2	3.0
	年齢別	全体	1520	7.4	51.8	30.3	6.3	2.4
	18歳・19歳	20	15.0	30.0	50.0	0.0	5.0	0.0
	20歳～29歳	98	8.2	42.9	30.6	14.3	4.1	0.0
	30歳～39歳	161	9.3	42.2	32.9	9.9	5.0	0.6
	40歳～49歳	209	7.2	56.9	25.8	6.2	2.4	1.4
	50歳～59歳	265	7.2	53.6	30.6	6.0	1.9	0.8
	60歳～69歳	304	5.3	61.5	26.3	3.9	2.3	0.7
	70歳～79歳	322	7.8	49.7	31.7	5.3	0.9	4.7
	80歳以上	107	6.5	46.7	34.6	4.7	2.8	4.7
居住地区別	全体	1520	7.4	51.8	30.3	6.3	2.4	1.8
	本庄東小学校区	219	5.9	54.8	27.9	7.3	3.7	0.5
	本庄西小学校区	119	10.1	46.2	34.5	4.2	2.5	2.5
	藤田小学校区	46	8.7	56.5	21.7	6.5	4.3	2.2
	仁手小学校区	17	0.0	41.2	29.4	17.6	11.8	0.0
	旭小学校区	114	7.9	55.3	33.3	2.6	0.9	0.0
	北泉小学校区	155	12.3	51.6	29.0	3.9	1.3	1.9
	本庄南小学校区	159	6.9	48.4	30.2	6.9	2.5	5.0
	中央小学校区	176	6.3	53.4	30.1	7.4	1.1	1.7
	児玉小学校区	159	7.5	57.2	27.0	5.0	1.9	1.3
	金屋小学校区	91	5.5	49.5	31.9	8.8	1.1	3.3
	秋平小学校区	52	1.9	53.8	34.6	7.7	0.0	1.9
	共和小学校区	74	9.5	63.5	20.3	4.1	1.4	1.4
	わからない	76	2.6	39.5	40.8	11.8	3.9	1.3

問9 少子高齢化の進展、それに伴う福祉関係費の増大などにより、市が提供する行政サービスの水準を維持することが困難になることも予想されます。このような場合に、行政サービスと市民の負担とのバランスについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

行政サービスと市民負担とのバランスについて、「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」が45.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.9%、「負担は変えないこととし、結果的にサービス水準が下がるのはやむを得ない」が14.4%となっています。



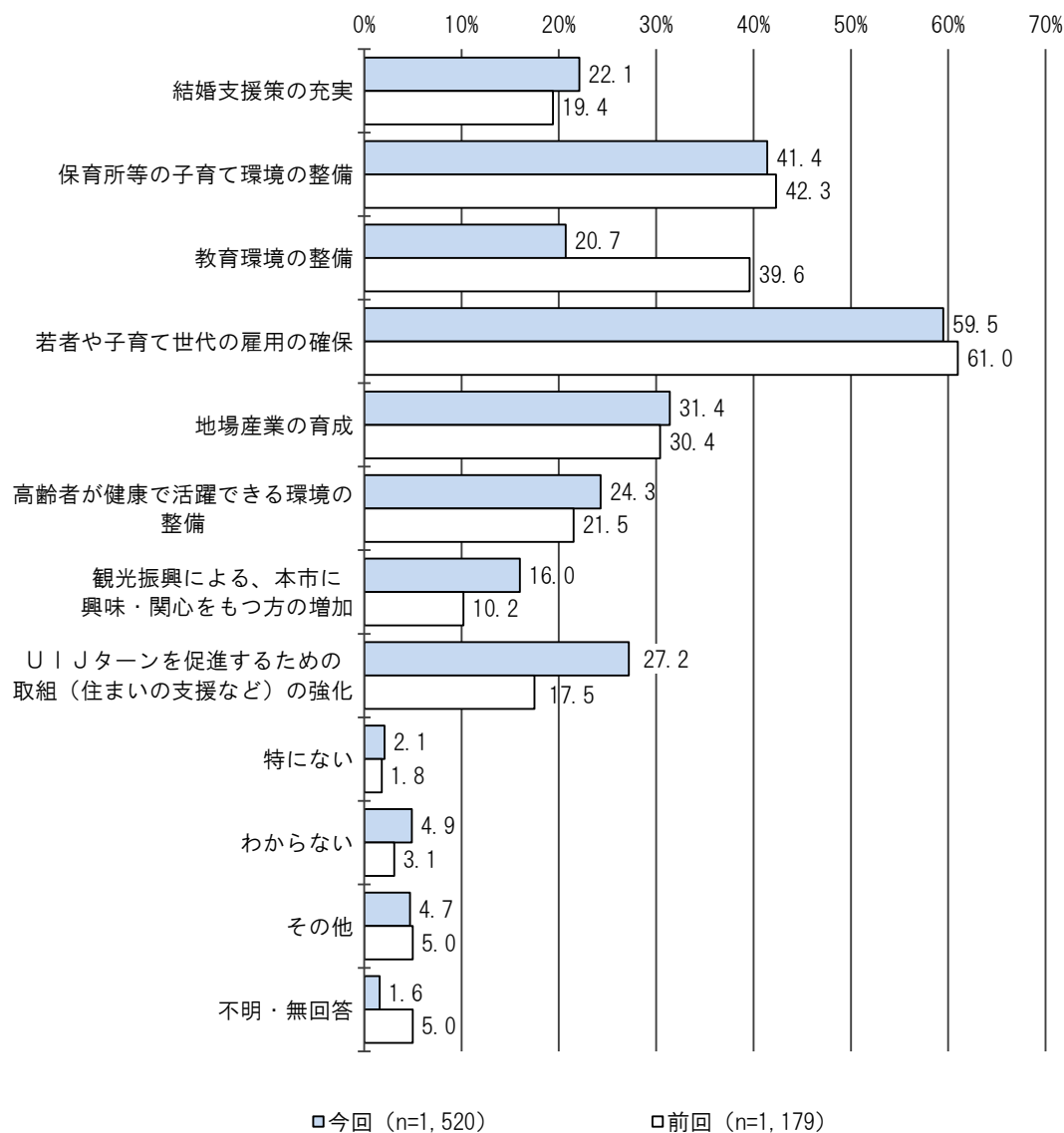
※本設問は、設問文の表現が前回調査から変更されています。

属性別では、回答数が少なかった一部の層を除き、ほぼ全ての区分で、「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」が最も多くなっています。

		問9 行政サービスと市民の負担とのバランスについて、どのようにお考えですか。(1つに○)							
%		負担は増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき	負担は変えないことと結果的にサービス水準を下げざるを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	その他	不明・無回答	
合計		1520	9.3	45.8	14.4	4.0	19.9	3.4	3.2
性別	全体	1520	9.3	45.8	14.4	4.0	19.9	3.4	3.2
	男性	635	12.1	44.3	13.5	5.2	17.6	3.8	3.5
	女性	816	7.5	47.5	14.8	3.1	20.8	2.9	3.3
	無回答	33	6.1	36.4	3.0	6.1	45.5	3.0	0.0
年齢別	全体	1520	9.3	45.8	14.4	4.0	19.9	3.4	3.2
	18歳・19歳	20	20.0	50.0	5.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	98	10.2	49.0	13.3	4.1	21.4	2.0	0.0
	30歳～39歳	161	12.4	42.9	11.8	8.1	18.0	3.7	3.1
	40歳～49歳	209	9.1	41.6	13.4	5.3	21.1	6.2	3.3
	50歳～59歳	265	11.7	41.9	16.2	2.6	21.9	4.5	1.1
	60歳～69歳	304	8.9	47.7	15.8	3.6	17.4	3.6	3.0
	70歳～79歳	322	6.8	47.8	14.6	2.8	20.2	1.6	6.2
	80歳以上	107	6.5	53.3	10.3	4.7	20.6	0.0	4.7
居住地区別	全体	1520	9.3	45.8	14.4	4.0	19.9	3.4	3.2
	本庄東小学校区	219	11.0	50.2	14.6	4.6	16.0	1.8	1.8
	本庄西小学校区	119	8.4	48.7	10.9	3.4	19.3	5.9	3.4
	藤田小学校区	46	4.3	43.5	15.2	13.0	21.7	0.0	2.2
	仁手小学校区	17	11.8	17.6	23.5	5.9	23.5	5.9	11.8
	旭小学校区	114	13.2	40.4	14.0	3.5	23.7	4.4	0.9
	北泉小学校区	155	13.5	43.9	12.3	4.5	18.7	3.2	3.9
	本庄南小学校区	159	9.4	38.4	13.2	1.9	28.3	2.5	6.3
	中央小学校区	176	10.2	44.3	14.2	4.5	18.2	5.7	2.8
	児玉小学校区	159	6.3	52.8	15.7	3.8	17.0	1.9	2.5
	金屋小学校区	91	9.9	49.5	13.2	3.3	17.6	2.2	4.4
	秋平小学校区	52	1.9	46.2	17.3	5.8	23.1	1.9	3.8
	共和小学校区	74	9.5	54.1	16.2	2.7	12.2	2.7	2.7
	わからない	76	2.6	40.8	18.4	2.6	26.3	6.6	2.6

問 10 本庄市では、今後の人口減少が予想されています。人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまでに○）

人口減少への歯止めに必要なと思うものは、「若者や子育て世代の雇用の確保」が 59.5%と最も多く、次いで「保育所等の子育て環境の整備」が 41.4%、「地場産業の育成」が 31.4%となっています。



※本設問は、設問文や選択肢の表現が前回調査から変更されています

「その他」の内訳として多かったものをみると、企業等の誘致・雇用拡大(17 件)や、病院整備・医療の充実(17 件)といった内容が上位となっています。

内容	件数(全体に占める構成比)
企業等の誘致・雇用拡大	17件(1.1%)
病院整備・医療の充実	17件(1.1%)
子育て環境の整備・充実	10件(0.7%)
まちの魅力向上やPR	10件(0.7%)

属性別にみると、いずれの層でも「若者や子育て世代の雇用の確保」が最も多くなっています。

%		問10 人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに○)											
合計		実結婚支援策の充	て保環境の整備	整教育環境の	代若者や子育ての確保	育地場産業の	の活整躍できる健康環境で	高年齢者が健康で	方味関本興よつ	観光振によ	強取組のす	促進するた	U-Jのメン
性別	全体	1520	22.1	41.4	20.7	59.5	31.4	24.3	16.0	27.2			
	男性	635	22.7	40.0	19.8	57.6	37.2	19.2	16.2	26.6			
	女性	816	21.6	43.0	21.4	61.3	27.7	27.7	16.4	28.3			
	無回答	33	9.1	45.5	24.2	51.5	21.2	33.3	9.1	18.2			
年齢別	全体	1520	22.1	41.4	20.7	59.5	31.4	24.3	16.0	27.2			
	18歳・19歳	20	20.0	35.0	25.0	50.0	10.0	20.0	25.0	20.0			
	20歳～29歳	98	30.6	50.0	23.5	62.2	18.4	12.2	26.5	27.6			
	30歳～39歳	161	22.4	59.0	34.2	66.5	19.9	10.6	21.7	21.7			
	40歳～49歳	209	18.7	43.1	34.0	50.7	30.1	19.6	18.7	28.7			
	50歳～59歳	265	17.4	37.7	22.6	58.1	34.0	26.8	12.8	33.2			
	60歳～69歳	304	19.1	43.1	15.5	64.8	36.5	29.3	14.1	32.2			
	70歳～79歳	322	24.8	38.2	10.2	60.9	35.7	28.3	13.0	23.3			
	80歳以上	107	29.0	23.4	14.0	48.6	35.5	32.7	15.0	18.7			
居住地区別	全体	1520	22.1	41.4	20.7	59.5	31.4	24.3	16.0	27.2			
	本庄東小学校区	219	21.5	43.8	22.4	56.2	30.6	23.3	18.7	29.7			
	本庄西小学校区	119	19.3	42.0	16.0	59.7	37.8	23.5	16.8	33.6			
	藤田小学校区	46	30.4	32.6	10.9	63.0	39.1	21.7	13.0	34.8			
	仁手小学校区	17	17.6	29.4	17.6	47.1	35.3	23.5	17.6	35.3			
	旭小学校区	114	21.1	43.0	24.6	64.0	38.6	24.6	20.2	24.6			
	北泉小学校区	155	21.3	49.0	25.2	60.6	27.1	28.4	16.1	20.0			
	本庄南小学校区	159	22.0	39.0	20.8	56.6	30.8	21.4	13.2	21.4			
	中央小学校区	176	20.5	38.1	25.0	60.8	35.8	22.7	15.3	23.3			
	児玉小学校区	159	20.8	45.3	18.2	61.0	30.8	23.9	15.7	32.7			
	金屋小学校区	91	24.2	49.5	20.9	61.5	23.1	22.0	9.9	27.5			
	秋平小学校区	52	19.2	25.0	11.5	57.7	28.8	19.2	9.6	34.6			
	共和小学校区	74	28.4	37.8	21.6	62.2	29.7	28.4	17.6	31.1			
	わからない	76	23.7	39.5	22.4	53.9	28.9	27.6	25.0	27.6			

		合計	い特にな	なわいから	その他	無不明答・
性別	全体	1520	2.1	4.9	4.7	1.6
	男性	635	2.2	3.8	6.1	1.7
	女性	816	2.2	5.4	3.3	1.7
	無回答	33	0.0	12.1	9.1	0.0
年齢別	全体	1520	2.1	4.9	4.7	1.6
	18歳・19歳	20	0.0	10.0	5.0	0.0
	20歳～29歳	98	1.0	4.1	9.2	0.0
	30歳～39歳	161	0.0	1.9	6.2	0.6
	40歳～49歳	209	1.0	3.3	10.5	1.4
	50歳～59歳	265	2.3	6.0	3.8	0.8
	60歳～69歳	304	1.6	4.9	3.3	0.7
	70歳～79歳	322	4.3	3.4	2.2	4.3
	80歳以上	107	3.7	13.1	0.0	2.8
居住地区別	全体	1520	2.1	4.9	4.7	1.6
	本庄東小学校区	219	1.8	5.0	1.8	0.5
	本庄西小学校区	119	1.7	4.2	6.7	1.7
	藤田小学校区	46	6.5	0.0	2.2	2.2
	仁手小学校区	17	5.9	5.9	5.9	0.0
	旭小学校区	114	0.0	6.1	3.5	0.0
	北泉小学校区	155	0.6	5.2	5.2	1.3
	本庄南小学校区	159	3.8	4.4	5.7	4.4
	中央小学校区	176	2.8	4.0	6.3	1.1
	児玉小学校区	159	1.9	3.8	5.7	1.9
	金屋小学校区	91	3.3	3.3	2.2	3.3
	秋平小学校区	52	1.9	13.5	3.8	1.9
	共和小学校区	74	2.7	2.7	2.7	1.4
	わからない	76	0.0	6.6	9.2	1.3

問 11 あなたが考える本庄市に不足しているところや改善してほしいところを自由に記入してください。(自分や友人等の居住地との比較など)

回答内容を、現行の総合振興計画の施策体系に沿って分類すると、健康福祉分野が 143 件、教育文化分野 37 件、経済環境分野 160、都市基盤分野 206 件、市民生活分野 82 件、行財政経営分野 108 件、その他 35 件の意見が寄せられました*。

それぞれの分野の中で数が多かった項目について、回答をいくつか抜粋して示します。

※延べ数であり、いくつかの項目にまたがる回答は重複して計上している。

健康福祉分野

【医療体制の充実(48件)】

- ・大病院が遠い(交通の便が悪い)(市内にない)。
- ・大学病院の誘致もそろそろ良いのではないのでしょうか。皆、伊勢崎や藤岡の病院に行っていますし、県北に大学病院を設置して頂きたいです。
- ・専門性を有する公的総合病院(長年の市民の願い)。

【子ども・子育て支援(42件)】

- ・子育てしやすい町作り。
- ・本庄市に住んでいて子育てはしづらいです。コロナの時でもありますが、人と接することも少なく、情報が少ない。子育て世代の人達への情報などを共有できる場(アプリ)が欲しい。
- ・保育所や子ども園などは充実していますが、学童が少なすぎます。また定員オーバーでやむをえず入所できない子もいます。働く母親は子どもが保育園児の時は働きやすいですが、小学校入学と共に働き方を変えざるを得ない女性もいます。「小一の壁」がある限り、子どもは増えないと思います。
- ・子育ての環境が悪い。小児科病院が少なく、急に体調が悪くなくても病院で何時間も待たされ、救急病院に行きたくても、1時間程かかってしまう、子供が遊べる室内施設が少ない。はにぼんを推した施設つくってほしい。ふっかちゃんの家みたいな、せっかくゆるキャラグランプリで有名になったのに、勿体ない。はにぼんプラザはしょぼい。

教育文化分野

【生涯学習の活発化(11件)】

- ・公共施設、図書館にある本の数、本を読んだり勉強したりする場所の充実。
- ・親子で学べる講座などがあると良いのではないのでしょうか。例えば古事記などを学ぶなど。
- ・音楽活動を盛んに。※気軽に定期的にいろいろなジャンルを聞ける街。楽しい街が夢デス！
- ・市民講座を積極的に活用している方も多数いらっしゃいますが、活用していない方もいる(又は、知らない)ので、第2の人生を向かえる60代の方、市の取り組みなどをまとめたリーフレットを配布するのは如何かなと思います(おまけにチケットでお試し券など)。

経済環境分野

【商業の振興(64件)】

- ・町の商店に活気が欲しい。(同様の意見多数)
- ・ショッピングは必ず群馬へ流れてしまうので、本庄市にも大型商業施設が欲しい。本庄早稲田駅周辺がきれいなので、そのあたりに出来たら若者が増えると思う。私は神奈川から引っ越して、本庄市を見て少しテンション下がりましたが、本庄早稲田駅付近が少しだけおしゃれだったので救われました。さ

らに大型商業施設が出来れば、自然と都会がミックスされて、とても魅力的な若い世代にも人気な市になると思います。ぜひお願いしたいです。ららぽーとやIKEAなど。

【観光の振興(25件)】

- ・本庄の独自の名産品を開発すること。
- ・児玉地区の特に山間地の観光地化(例えば児玉33霊場めぐりのルート順路・特徴・歴史的価値の明示案内・その他のハイキングコースetc)名所発掘・名所造り等に力を入れれば相当な可能性がある。
- ・商業、地場産業の振興や本庄市の歴史的な文化や地域の観光スポットのアピールに力を入れ、外部の人々だけでなく、在住する市民も魅力を感じられるような活動が進んでほしいと思います。

※ほか、現行の総合振興計画の施策体系には沿わないが、「雇用の場の確保」についての意見も多く寄せられた。

都市基盤分野

【計画的なまちづくり(68件)】

- ・本庄早稲田駅の周辺などは商業や環境が整っているが、市の外れ等は人口(特に子供)も増えず高齢者がいつまでも自治会などをやめられない。使われていない農地等に家やアパートを建てられれば、もう少し若い世代が戻って来るかもしれないと思う。
- ・駅南は発達していると思いますが、北側は国道までで全く発展性はないと思っています。本庄へ来て50年になりますが、周囲との変化は感じられません。
- ・児玉駅周辺をもっと開拓して欲しい。駅東側。
- ・道が狭いので電柱を地下にして欲しいです。

【居住環境の整備(36件)】

- ・空き家対策を早急をお願いしたい。(雑草、外壁、屋根の落下危険等)大変困っています。(空き家対策に関する回答多数)
- ・子どもや高齢者が安心して歩いたり、自転車で通ることのできる道路整備を願います。例えば、駅北口から17号線までの間(中山道～17号まで)歩道が整備され、本当に良かったです。通りやすくなりありがとうございました。
- ・住んで居る地域に依り不便な所が有る。街路樹の緑は良いと思うが大きくなった根が張りだしデコボコが多い。大きな街路樹も良いが転ぶようなデコボコは何とかありませんか。秋になると道は落葉で汚らしい。足の不自由な人などにも配慮して頂きたい。

市民生活分野

【交通安全対策の推進(18件)】

- ・街路灯をもっと増やして欲しい。(同様の意見多数)
- ・交通安全対策に少々不安があります。スクールゾーンへの車両禁止の時間帯が守られていない。(四季の里在住ですが)団地内にカーブミラー等の増設を検討して頂きたい。
- ・千葉で下校中の子供が亡くなってしまった事故があったにも関わらず、危険な通学路にはずっと信号すらつかずずっと危険なまま。スクールガード、保護者が旗振りしていますが、そもそもその人たちだっという事故にまきこまれるかわかりません。歩道があっても車は止まらず歩行者が止まっているし。

せめて歩行者信号とかつけてくれないのかなと。そういう所が2カ所以上放置されている現状はよくないです！しっかり把握して下さい！

行財政経営分野

【市政情報の提供の充実と市政に対する市民参加の推進(40件)】

- ・市長は色々なツールで発信してくれているので、SNSがわかる年代は助かります。ただ年配の方はワクチン予約すら危うい状況でした(母88才)。
- ・当方の怠慢であるが、市の現状について把握できない事や見えてこない事象が多く回答に苦慮した。
- ・市民の生の声を聴く機会を増やす事。
- ・あ、こんなことしてるんだ…と後から知ること、もしくは知らずに過ごしていることがたくさんあるように思います。広報だけでは伝わらない事。町、市がこんな提案してますよーがなかなか伝わってこない。興味を持てる、知りたい参加したいと思えることをわかりやすくすべての人に、まずは届けることでは…。

【自主性・自立性の高い財政運営の確立(38件)】

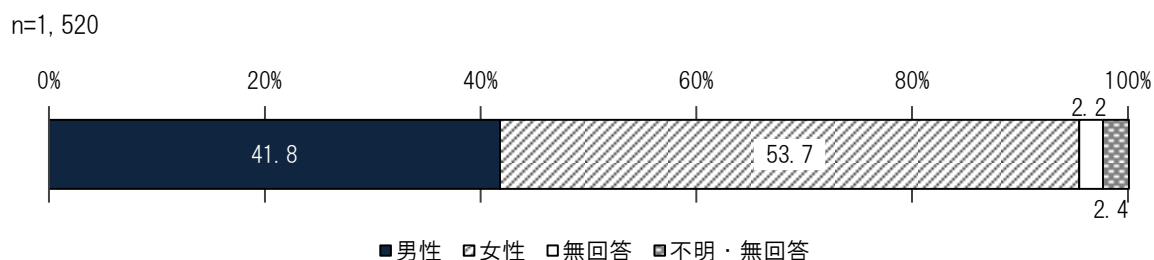
- ・税金の無駄遣いが絶対あると思います。もっと市民からの税金を大切に使ってほしいです。頼んでもいない水道工事でお金を取るとかありえないです。無駄な工事はうるさいだけで迷惑。
- ・ふるさと納税で税収が見込める魅力ある市になって欲しいです。
- ・税金の減少は目に見えています。今までのように、全方位の支援を見直し、優先順位をつけた対策を実施すべきです。税の無駄遣いにならないように、強弱を考え、対策を打って行くべきと考えます。企業は、利益減の時は必ず、予算の見直しを行い、最大の効果が上がるように実行しています。
- ・市民の為の本庄市の施設や企画はすべてが中途半端でインパクトが無い。予算や財源の関係があるが、やる時は思いっきり大胆にやるべきだと思います。町の活性化を願うがこれまで結果が出てないのは規模が小さくお金をかけていないことが原因だと思います。役所仕事ではなく、一企業の思考と行動が無いと変化は起こらないでしょう！

その他

- ・若者が住みたい街であること。(同様の意見多数)
- ・私は東京出身ですが、本庄良い所ですよね…。静かだし、物価も安いし…。のんびりしてるというか…。特にこれ！というところはなくても、良い所なんですよ。意見、という程のことじゃないですね。すみません。でも私は本庄好きですよー。頑張ってください。

問 12 あなたの性別（1つに○）

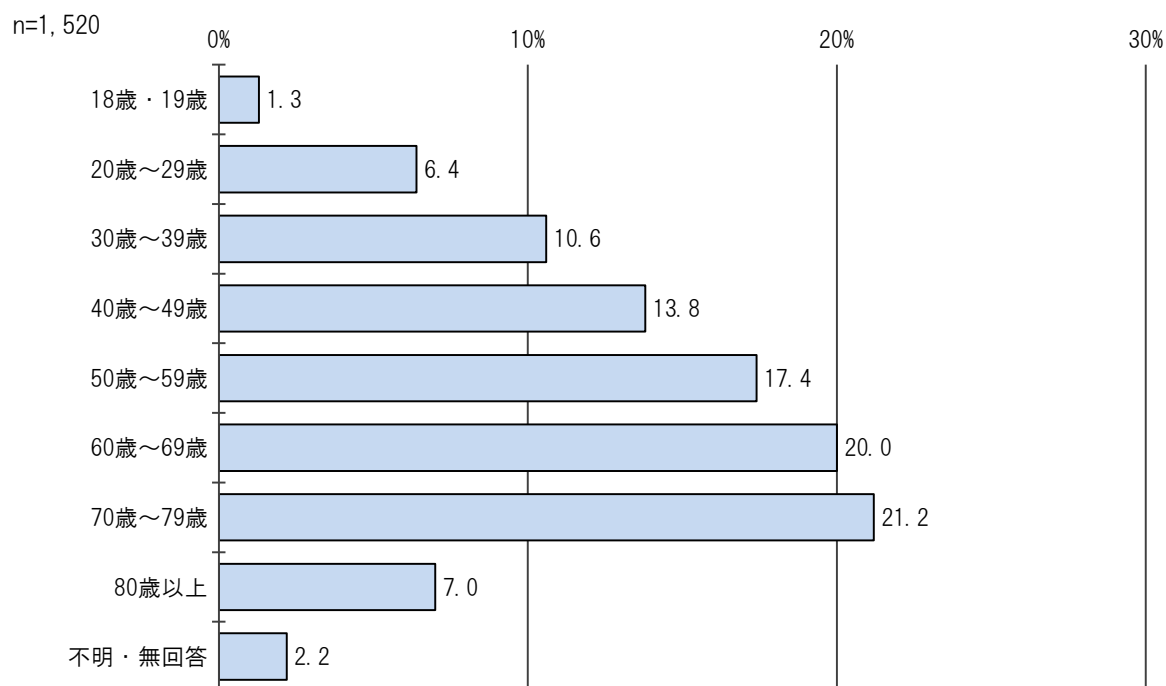
性別についてみると、「女性」が 53.7%、「男性」が 41.8%、「無回答」が 2.2%となっています。



※本問における「無回答」は選択肢として設けたものであり、「不明・無回答」とは異なります

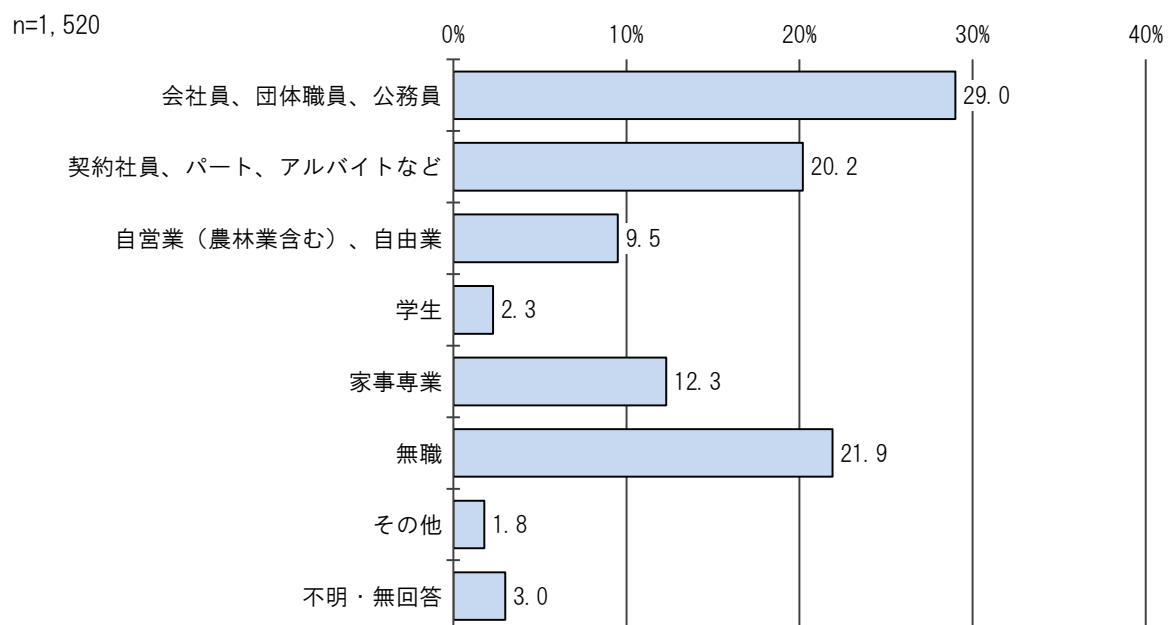
問 13 あなたの年齢（1つに○）

年齢について、「80 歳以上」を除けば高齢の層ほど多くなっており、60 歳以上が約半数を占めています。



問 14 あなたの職業（1つに○）※一時的に休業中の場合も有職としてお選びください。

職業についてみると、「会社員、団体職員、公務員」が 29.0%と最も多く、次いで「無職」が 21.9%、「契約社員、パート、アルバイトなど」が 20.2%となっています。

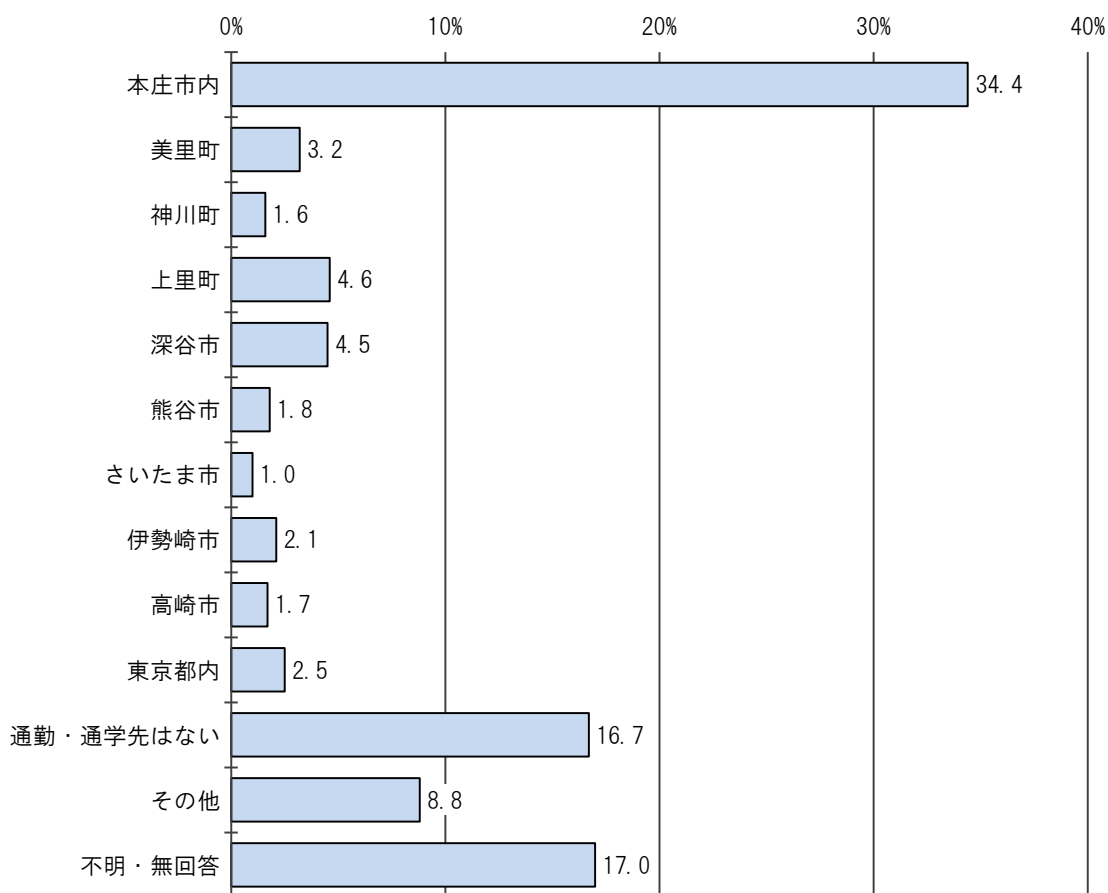


問 15 あなたの通勤・通学先（1つに○）

※複数ある場合、主なもの1つをお選びください。

通勤・通学先についてみると、「本庄市内」が 34.4%と最も多く、次いで「通勤・通学先はない」が 16.7%、「その他」が 8.8%となっています。

n=1,520



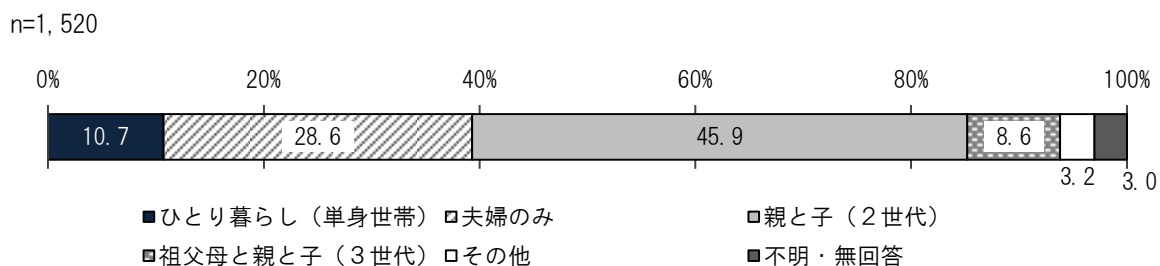
「その他」の内訳として多かったものをみると、前橋市(11件)、藤岡市(11件)、太田市(7件)といった群馬県内の市が上位となっています。

通勤・通学先	件数(全体に占める構成比)
前橋市	11件(0.7%)
藤岡市	11件(0.7%)
太田市	7件(0.5%)
寄居町	4件(0.3%)
鴻巣市	3件(0.2%)

※上表では3件以上のものを示しています

問 16 あなたの世帯構成（1つに○）

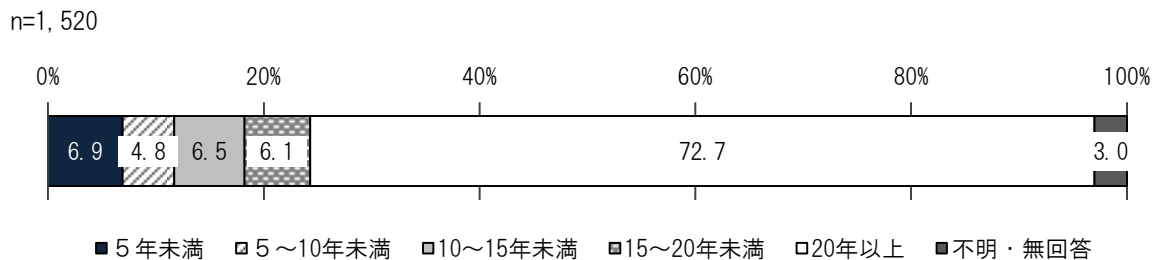
世帯構成についてみると、「親と子(2世代)」が 45.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 28.6%、「ひとり暮らし(単身世帯)」が 10.7%となっています。



問 17 あなたの本市での居住歴（1つに○）

※転出入があった場合、本市に居住していた期間の合計でお答えください。

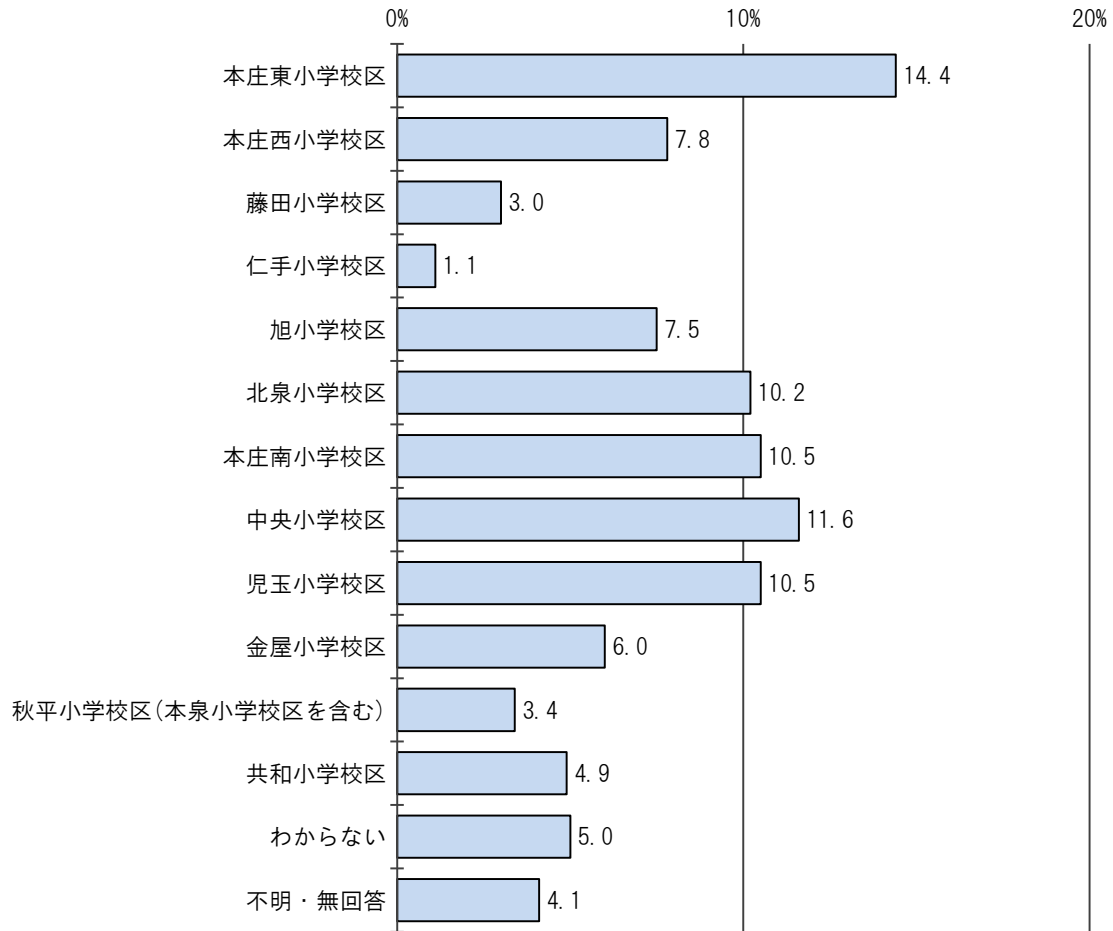
本市での居住歴についてみると、「20年以上」が7割を超えています。



問 18 あなたの居住地区（小学校区単位）（1つに○）

居住地区についてみると、「本庄東小学校区」が 14.4%と最も多く、「仁手小学校区」が 1.1%と少なくなっています。

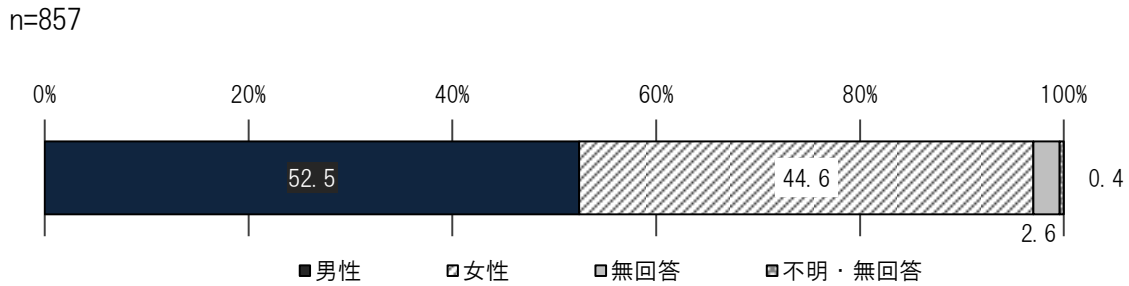
n=1,520



3 高校生調査の結果

問1 あなたの性別（1つに○）

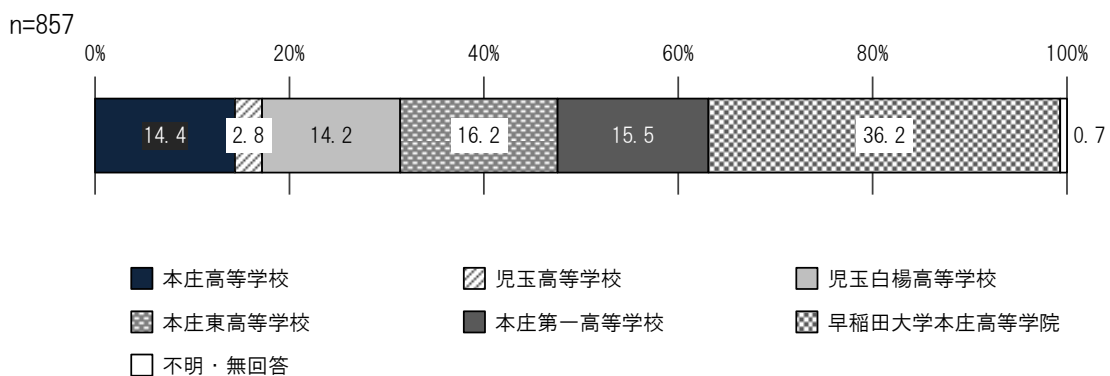
性別についてみると、「男性」が52.5%、「女性」が44.6%となっています。



※本問における「無回答」は選択肢として設けたものであり、「不明・無回答」とは異なります

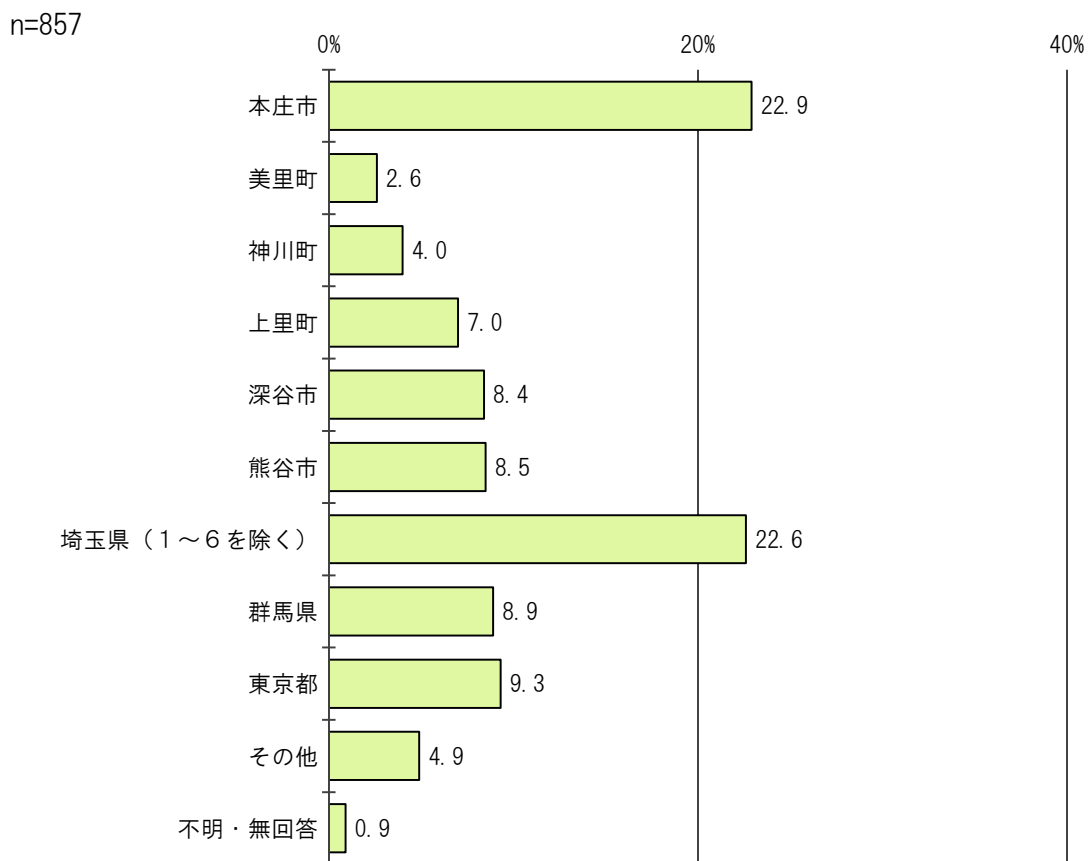
問2 あなたの学校（1つに○）

学校については、「早稲田大学本庄高等学院」が36.2%と最も多く、次いで「本庄東高等学校」が16.2%、「本庄第一高等学校」が15.5%となっています。



問3 あなたのお住まい（1つに○）

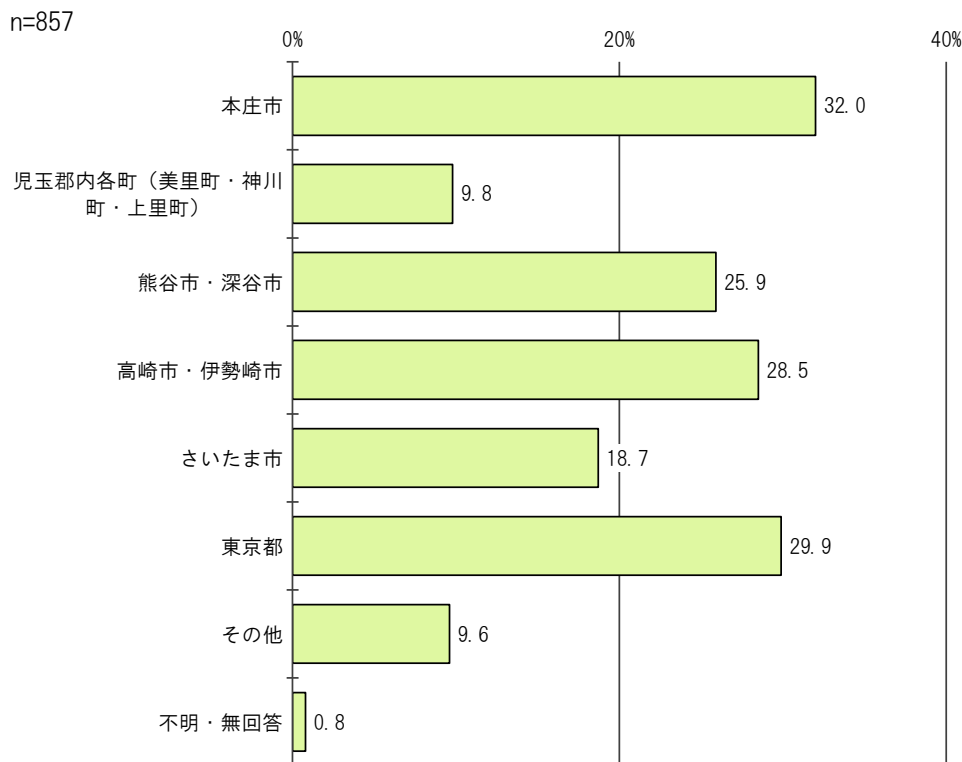
住まいについては、「本庄市」が22.9%と最も多くなっていますが、「熊谷市」(8.5%)や「深谷市」(8.4%)をはじめとした県内他市町が合わせて5割強となっているほか、群馬県や東京都もそれぞれ1割弱となっています。「その他」の中では、千葉県(1.5%)や神奈川県(1.4%)が一定程度みられます。



※上記表中の「埼玉県(1～6を除く)」は調査票における表現を原文のまま示しており、「1～6」とは上表における1番目から6番目までの項目(本庄市～熊谷市)を指します

問4 休日の主な外出先（上位2つまでに○）

休日の主な外出先についてみると、「本庄市」が32.0%と最も多く、次いで「東京都」が29.9%、「高崎市・伊勢崎市」が28.5%となっています。「その他」の内訳としては、前橋市や川越市(ともに6件)が比較的多かったものの、1%未満となっており、特定の地域への集中はみられません。



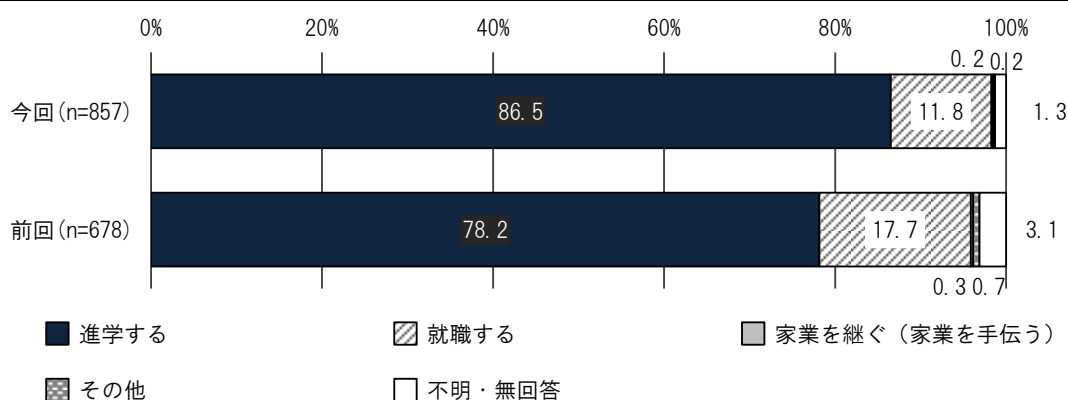
居住地別に「本庄市」の回答割合みると、本庄市・神川町・美里町では6割から7割程度となっている一方、深谷市・熊谷市・群馬県では2割前半、県内その他・東京都では1割未満となっています。また、本庄市の居住者については、「高崎市・伊勢崎市」とした割合が「本庄市」に次いで高く、約4割となっています。

	問4 休日の主な外出先（上位2つまでに○）									
	合計	本庄市	児玉郡内各町	熊谷市・深谷市	高崎市・伊勢崎市	さいたま市	東京都	その他	不明・無回答	
全体	857	32.0	9.8	25.9	28.5	18.7	29.9	9.6	0.8	
性別										
男性	450	36.2	12.7	25.3	22.2	17.3	27.1	11.1	0.2	
女性	382	27.2	6.5	27.7	35.9	20.4	33.5	7.3	0.8	
無回答	22	31.8	9.1	9.1	27.3	18.2	27.3	18.2	4.5	
居住地別										
全体	857	32.0	9.8	25.9	28.5	18.7	29.9	9.6	0.8	
本庄市	196	67.9	17.3	15.8	40.8	3.6	10.2	3.1	0.0	
美里町	22	59.1	9.1	27.3	45.5	0.0	18.2	4.5	0.0	
神川町	34	61.8	44.1	5.9	41.2	8.8	8.8	2.9	0.0	
上里町	60	38.3	40.0	8.3	58.3	5.0	6.7	0.0	0.0	
深谷市	72	22.2	0.0	70.8	29.2	16.7	22.2	5.6	0.0	
熊谷市	73	24.7	2.7	78.1	9.6	17.8	23.3	4.1	4.1	
県内その他	194	9.8	2.6	28.9	5.7	48.5	43.3	16.0	1.0	
群馬県	76	22.4	2.6	9.2	81.6	1.3	10.5	15.8	0.0	
東京都	80	6.3	0.0	3.8	2.5	23.8	95.0	6.3	0.0	
その他	42	19.0	0.0	7.1	2.4	14.3	54.8	42.9	0.0	

問5 高校卒業後の進路希望（1つに○）

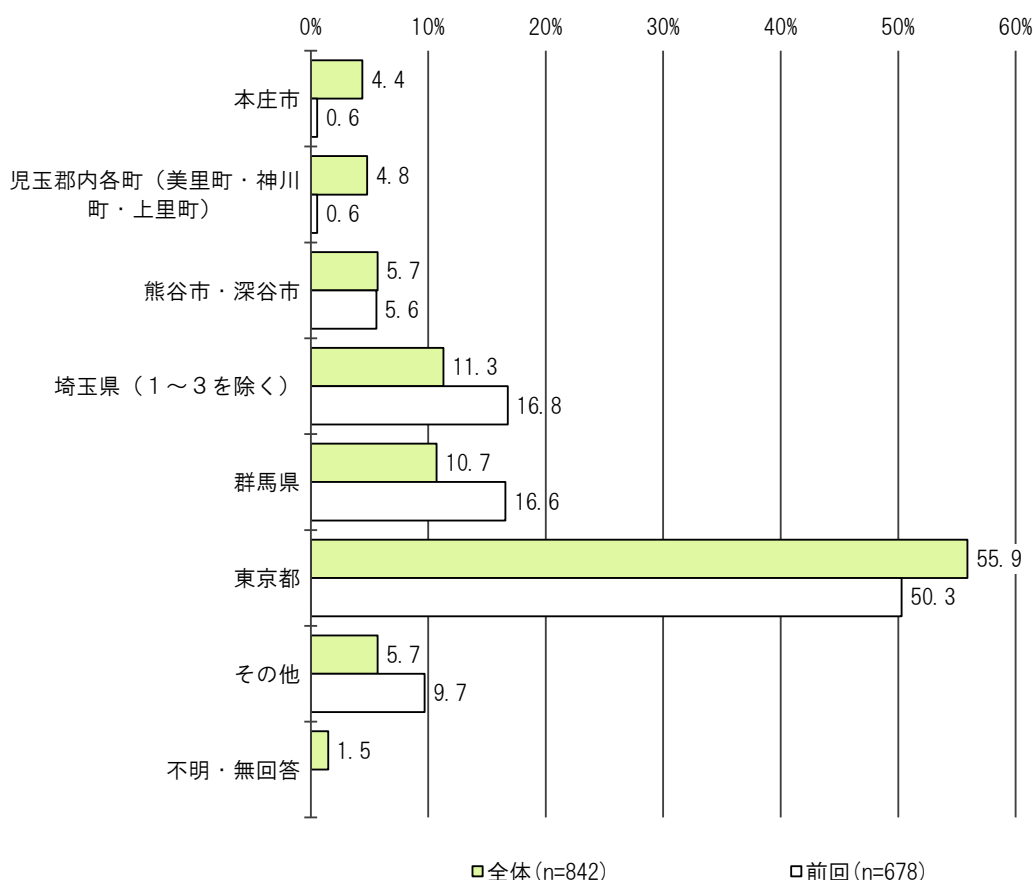
進路希望についてみると、「進学する」が86.5%と最も多く、次いで「就職する」が11.8%となっています。

前回と比較すると、「進学する」が上昇し、「就職する」が低下しています。



問5-1（問5で1または2とお答えの方） 高校卒業後に希望する進学・就職先の地域（1つに○）

希望する進学・就職先の地域についてみると、「東京都」が55.9%と最も多く、次いで「埼玉県(1～3を除く)」が11.3%、「群馬県」が10.7%となっています。



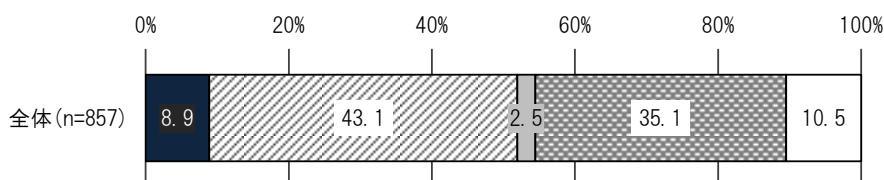
※上記表中の「埼玉県(1～3を除く)」は調査票における表現を原文のまま示しており、「1～3」とは上表における1番目から3番目までの項目(本庄市～熊谷市・深谷市)を指します
 ※前回結果は、希望する「進学先」の地域の回答結果であるため、あくまで参考として示しています
 また、不明・無回答が20.8%と多かつたため、上表では不明・無回答を除いた割合を示しています

問6 あなたは、本庄市に住みたい、住みたいですか。現在の気持ちに近いものを選んでください。(1つに○)

本庄市への居住意向についてみると、全体では「住みたい、住みたい」が43.1%と最も多く、次いで「わからない」が35.1%、「住みたい、住みたい」が8.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

居住地別にみると、本庄市を含め、いずれにおいても「住みたい、住みたい」を「住みたい、住みたい」が上回っています。

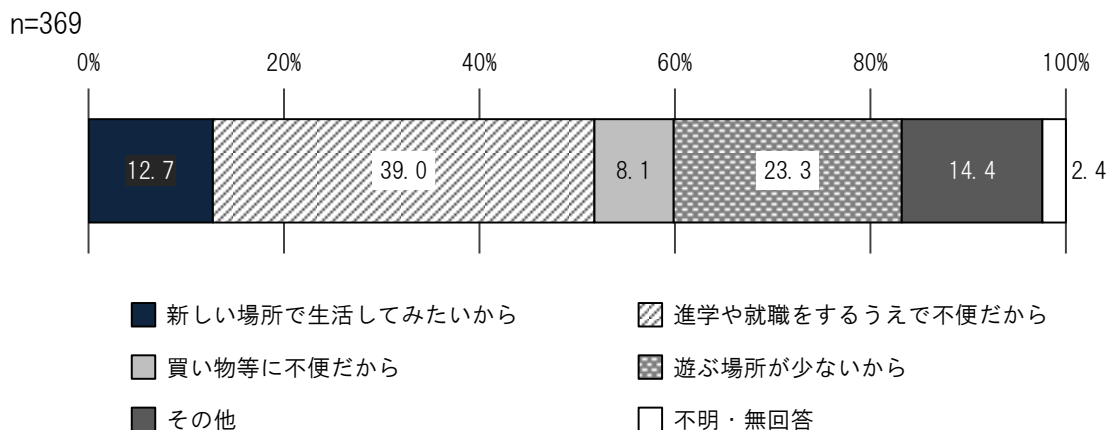


- 住みたい、住みたい
- ▨ 住みたい
- ▩ 進学や就職等で一度は離れるがいずれは戻りたい、いつかは住みたい
- ▤ わからない
- 不明・無回答

		問6 あなたは、本庄市に住みたい、住みたいですか。現在の気持ちに近いものを選んでください。(1つに○)					
%		い住	住	いた離進	わ	不明	
合計		み	み	た離学	か	・	
		たい、	たく	いれや	から	無	
		住	くない	いが就	ない	回	
		み	い	つ職		答	
		続		か等			
		け		はれで			
		た		住は一			
				み戻			
				度			
				たりは			
全体	857	8.9	43.1	2.5	35.1	10.5	
性別							
男性	450	10.0	41.8	2.7	36.7	8.9	
女性	382	7.6	44.2	2.4	34.8	11.0	
無回答	22	9.1	50.0	0.0	13.6	27.3	
居住地別							
全体	857	8.9	43.1	2.5	35.1	10.5	
本庄市	196	25.0	26.5	4.1	34.7	9.7	
美里町	22	22.7	27.3	9.1	36.4	4.5	
神川町	34	14.7	20.6	5.9	55.9	2.9	
上里町	60	3.3	13.3	6.7	63.3	13.3	
深谷市	72	2.8	37.5	1.4	51.4	6.9	
熊谷市	73	5.5	46.6	0.0	39.7	8.2	
県内その他	194	3.6	56.2	0.5	26.8	12.9	
群馬県	76	0.0	48.7	2.6	35.5	13.2	
東京都	80	1.3	70.0	1.3	17.5	10.0	
その他	42	0.0	69.0	0.0	21.4	9.5	

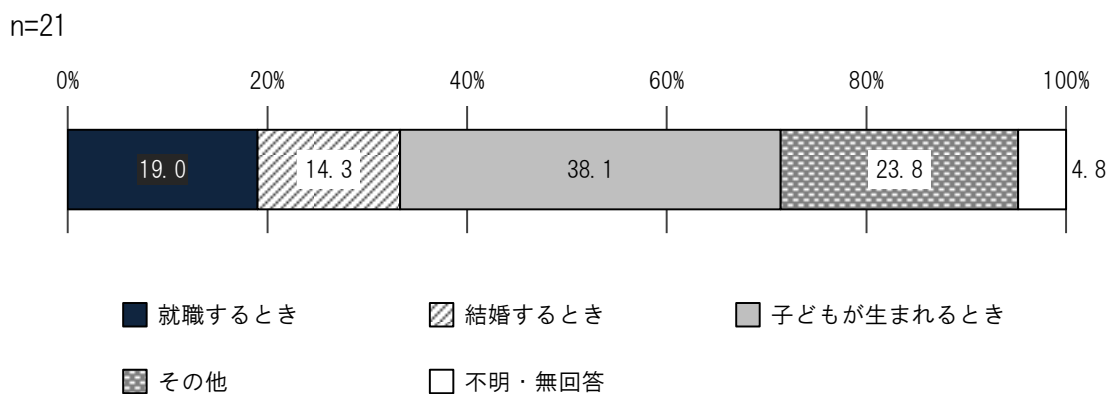
問6-1 (問6で2とお答えの方) 本庄市に住みたくない主な理由は何ですか。(1つに○)

本庄市に住みたくない理由についてみると、「進学や就職をするうえで不便だから」が39.0%と最も多く、次いで「遊ぶ場所が少ないから」が23.3%、「その他」が14.4%となっています。「その他」の内訳としては、自身の地元に住みたいといったもの(15件、4.1%)が多く、また、何もない・魅力がないといったもの(8件、2.2%)や不便さを指摘するもの(7件、1.9%)がみられました。



問6-2 (問6で3とお答えの方) どのような時期に本庄市に戻りたい、住みたいですか。現在の気持ちに近いものを選んでください。(1つに○)

本庄市に戻りたい時期についてみると、全体では「子どもが生まれるとき」が38.1%と最も多く、次いで「その他」が23.8%、「就職するとき」が19.0%となっています。

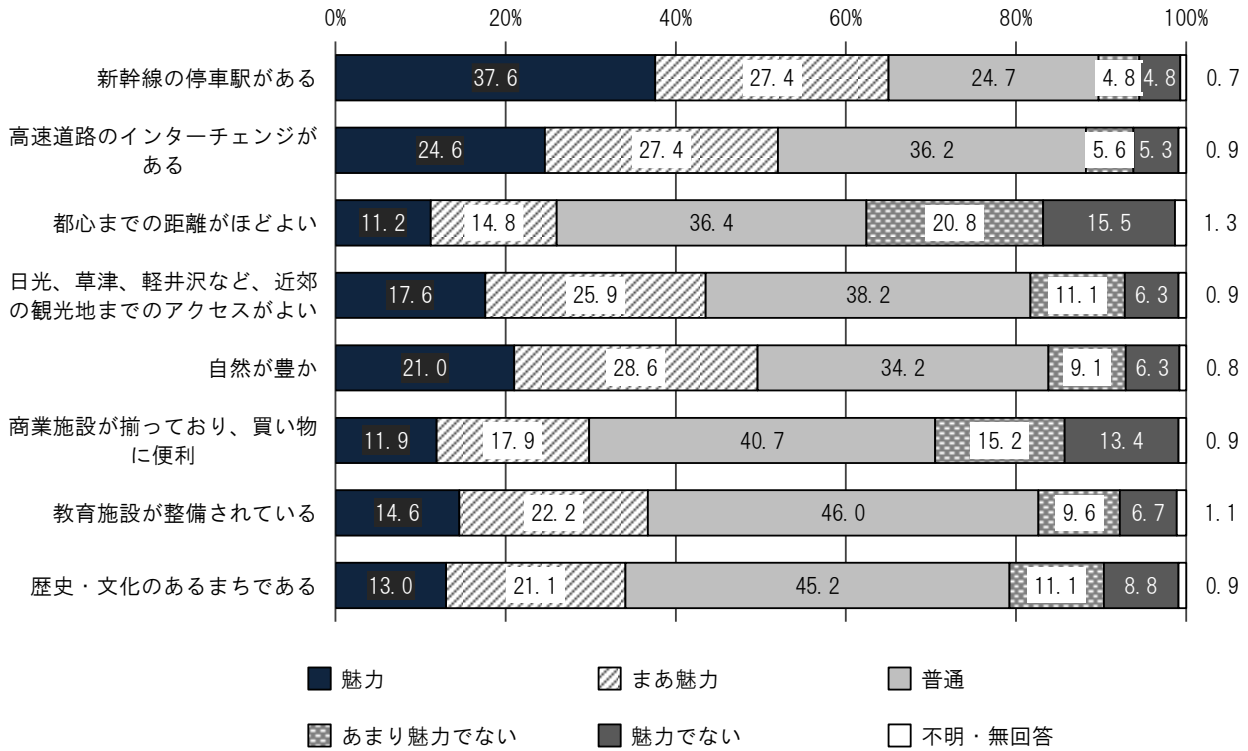


※本問の回答対象者は少ないことから参考として示しています

問7 あなたは、以下のA~Hについて、どの程度、本市の魅力であると思いますか。

「新幹線の停車駅がある」については「魅力」が37.6%と最も多かった一方、他の項目では「普通」が最も多くなっています。また、「魅力でない」「あまり魅力でない」を合わせた割合は、「都心までの距離がほどよい」で3割半ば、「商業施設が揃っており、買い物に便利」で3割弱と比較的高くなっており、本市の魅力とは必ずしも捉えられていない項目もあることがうかがえます。

n=857



魅力でないとされる傾向が強かった「都心までの距離がほどよい」について、居住地別にみると、県内その他と東京都では「魅力でない」がともに3割弱となっており、他の居住地との差がみられます。一方で、本庄市についても、「魅力でない」「あまり魅力でない」を合わせた割合は3割弱となっており、必ずしも高くは評価されていないことがうかがえます。

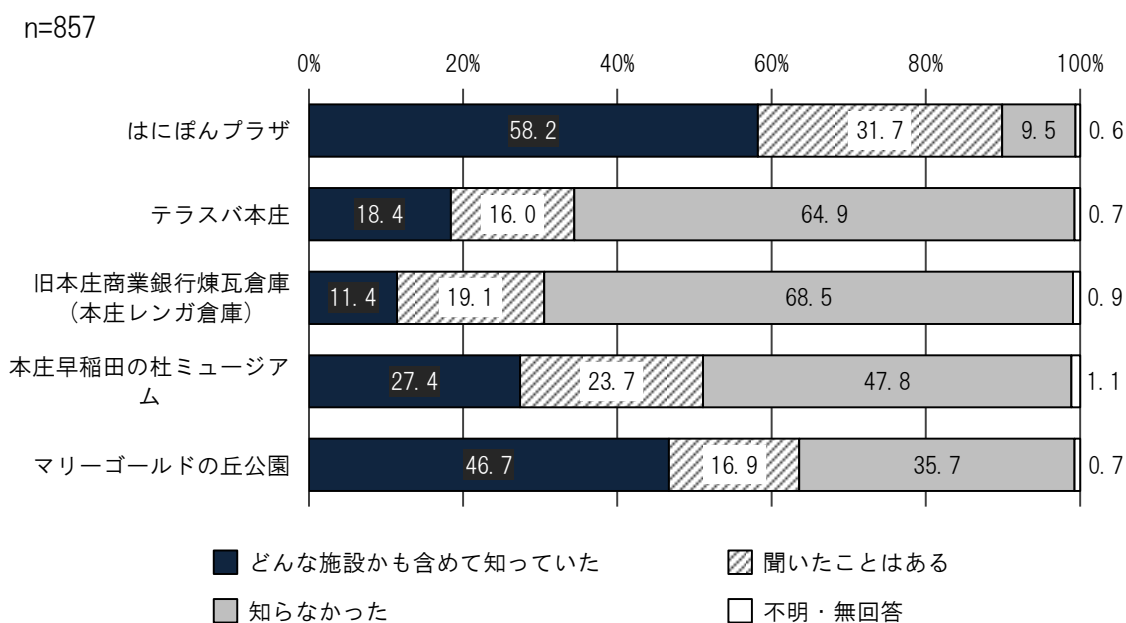
	問4C 都心までの距離がほどよい						
	合計	魅力	まあ魅力	普通	あまり魅力でない	魅力でない	不明・無回答
全体	857	11.2	14.8	36.4	20.8	15.5	1.3
本庄市	196	13.8	20.4	38.8	17.3	9.2	0.5
美里町	22	22.7	13.6	36.4	13.6	0.0	13.6
神川町	34	14.7	14.7	44.1	26.5	0.0	0.0
上里町	60	13.3	25.0	38.3	13.3	8.3	1.7
深谷市	72	5.6	13.9	48.6	20.8	9.7	1.4
熊谷市	73	15.1	16.4	41.1	15.1	12.3	0.0
県内その他	194	7.7	8.8	30.9	23.2	29.4	0.0
群馬県	76	15.8	18.4	38.2	19.7	7.9	0.0
東京都	80	6.3	11.3	20.0	35.0	26.3	1.3
その他	42	7.1	4.8	40.5	21.4	21.4	4.8

問8 以下のA～Eの市内施設について、お伺いします。(各施設①～③の間について、それぞれ1つに○)

①この施設を知っていましたか

はにぼんプラザとマリーゴールドの丘公園については、「どんな施設かも含めて知っていた」が最も多く、5割弱～6割弱程度となっている一方、テラスバ本庄と旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(本庄レンガ倉庫)については、「知らなかった」が6割台と多くなっています。

各施設について学校別にみると、「知らなかった」の割合の差は、本庄早稲田の杜ミュージアムとマリーゴールドの丘公園では60ポイント程、テラスバ本庄と旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(本庄レンガ倉庫)では30ポイント程と大きくなっています。



%		問8 A. はにぼんプラザ ①この施設を知っていましたか				
	合計	知かど つもん て含な いめ施 たて設	は聞 あい るた こと	た知 ら な かつ	答不 明 ・ 無 回	
全体	857	58.2	31.7	9.5	0.6	
学校						
本庄高等学校	123	78.9	15.4	5.7	0.0	
児玉高等学校	24	50.0	41.7	8.3	0.0	
児玉白楊高等学校	122	45.1	41.8	13.1	0.0	
本庄東高等学校	139	80.6	15.8	2.9	0.7	
本庄第一高等学校	133	59.4	34.6	4.5	1.5	
早稲田大学本庄高等学院	310	45.5	39.7	14.8	0.0	

%		問8B. テラスバ本庄 ①この施設を知っていましたか				
	合計	知かど つも んて 含な いめ 施た て設	は聞 あ いた るこ と	た知 ら な かつ	答不 明・ 無 回	
全体	857	18.4	16.0	64.9	0.7	
学校						
本庄高等学校	123	25.2	21.1	53.7	0.0	
児玉高等学校	24	8.3	20.8	70.8	0.0	
児玉白楊高等学校	122	4.9	12.3	82.8	0.0	
本庄東高等学校	139	16.5	15.8	66.9	0.7	
本庄第一高等学校	133	11.3	15.0	72.2	1.5	
早稲田大学本庄高等学院	310	26.1	15.8	57.7	0.3	

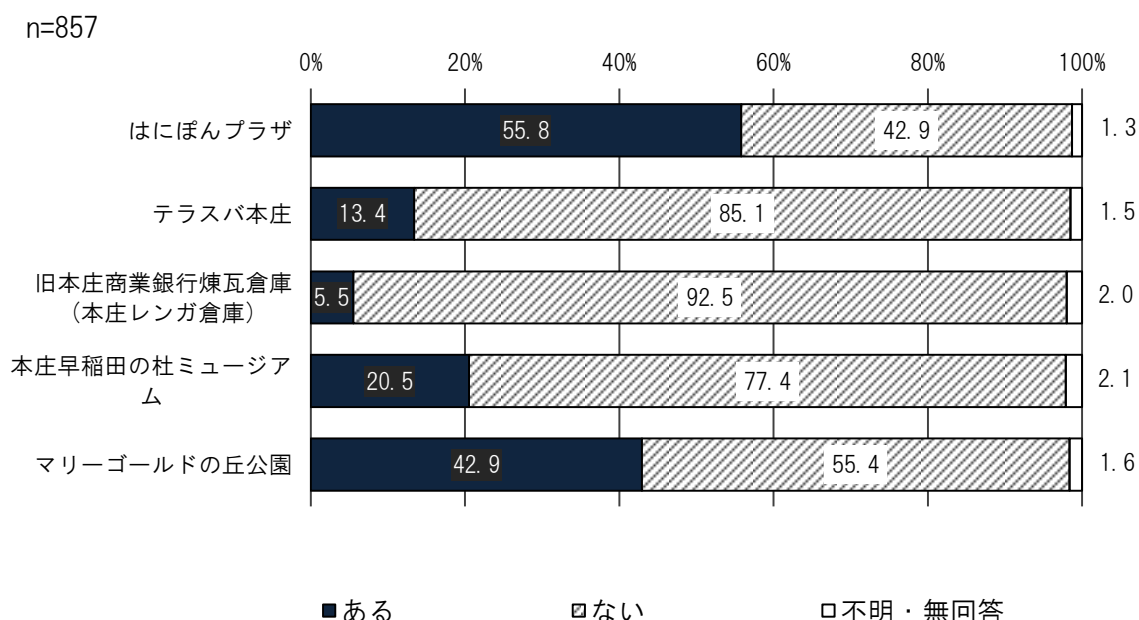
%		問8C. 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(本庄レンガ倉庫) ①この施設を知っていましたか				
	合計	知かど つも んて 含な いめ 施た て設	は聞 あ いた るこ と	た知 ら な かつ	答不 明・ 無 回	
全体	857	11.4	19.1	68.5	0.9	
学校						
本庄高等学校	123	13.0	19.5	66.7	0.8	
児玉高等学校	24	16.7	37.5	45.8	0.0	
児玉白楊高等学校	122	10.7	23.0	66.4	0.0	
本庄東高等学校	139	15.1	22.3	61.2	1.4	
本庄第一高等学校	133	9.0	15.8	73.7	1.5	
早稲田大学本庄高等学院	310	10.3	16.5	72.9	0.3	

%		問8D. 本庄早稲田の杜ミュージアム ①この施設を知っていましたか				
	合計	知かど つも んて 含な いめ 施た て設	は聞 あ いた るこ と	た知 ら な かつ	答不 明・ 無 回	
全体	857	27.4	23.7	47.8	1.1	
学校						
本庄高等学校	123	9.8	18.7	70.7	0.8	
児玉高等学校	24	4.2	25.0	66.7	4.2	
児玉白楊高等学校	122	10.7	25.4	63.9	0.0	
本庄東高等学校	139	7.2	20.1	71.2	1.4	
本庄第一高等学校	133	9.0	16.5	72.9	1.5	
早稲田大学本庄高等学院	310	60.3	29.7	9.7	0.3	

%		問8E. マリーゴールドの丘公園 ①この施設を知っていましたか				
	合計	知かど つも んて 含な いめ 施た て設	は聞 あ いた るこ と	た知 ら な かつ	答不 明・ 無 回	
全体	857	46.7	16.9	35.7	0.7	
性別						
本庄高等学校	123	59.3	14.6	26.0	0.0	
児玉高等学校	24	8.3	45.8	45.8	0.0	
児玉白楊高等学校	122	30.3	18.9	50.8	0.0	
本庄東高等学校	139	22.3	10.1	66.9	0.7	
本庄第一高等学校	133	19.5	18.8	60.2	1.5	
早稲田大学本庄高等学院	310	73.9	17.4	8.4	0.3	

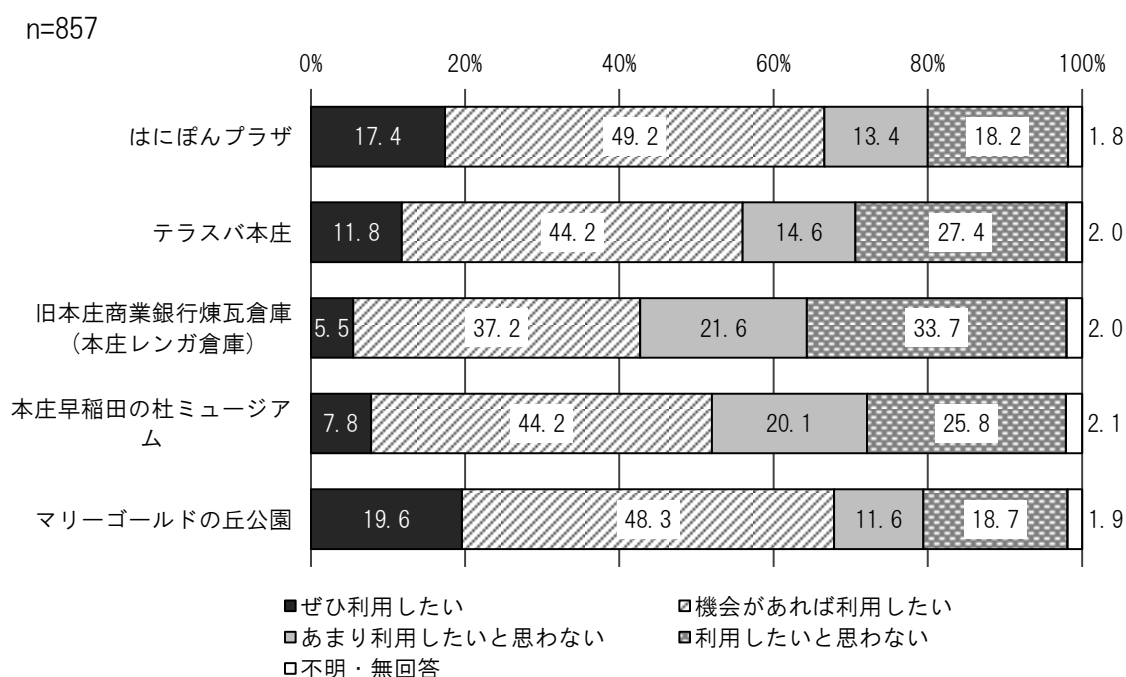
問8 ②利用したことはありますか

利用経験の有無についてみると、はにぼんプラザでは「ある」が半数を超えているほか、「マリーゴールドの丘公園」では「ある」の割合が42.9%と比較的高くなっています。一方で、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(本庄レンガ倉庫)では「ない」が92.5%、テラスバ本庄では85.1%となっており、問8①でみた認知状況と同様の差が項目間で生じています。



問8 ③今後利用したいと思いますか

今後の利用希望についてみると、「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」を合わせた割合は、マリーゴールドの丘公園とはにぼんプラザで6割台となっているほか、テラスバ本庄と本庄早稲田の杜ミュージアムでも5割台となっており、認知度や利用経験率が低いものも一定程度の利用希望があることがうかがえます。

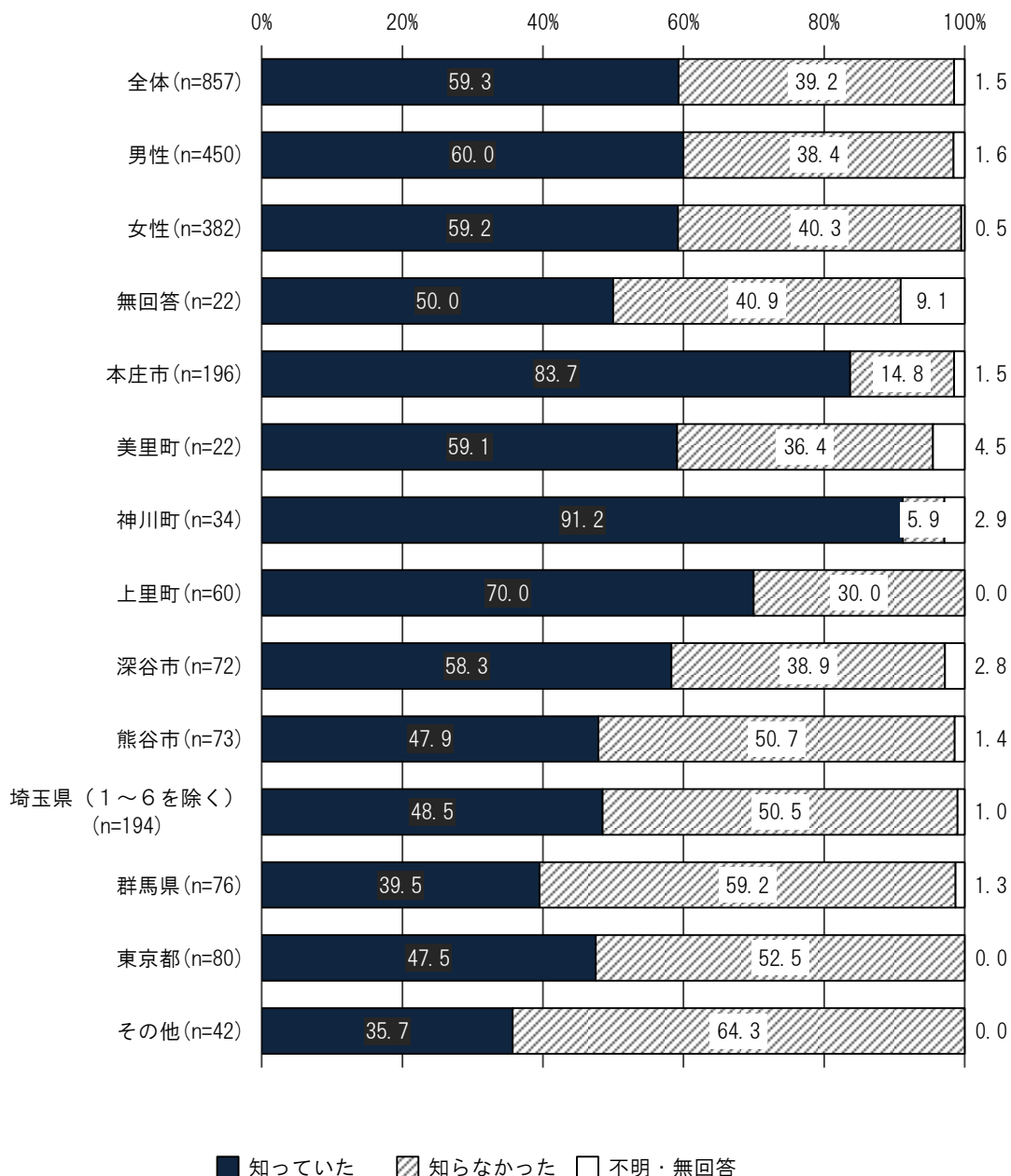


問9 本庄市について、以下の①～⑥のようなことを知っていましたか。(①～⑥それぞれについて、1つに○)

① 江戸時代、盲目の国学者として活躍した「塙保己一」は現在の本庄市出身である

全体では「知っていた」が約6割となっています。

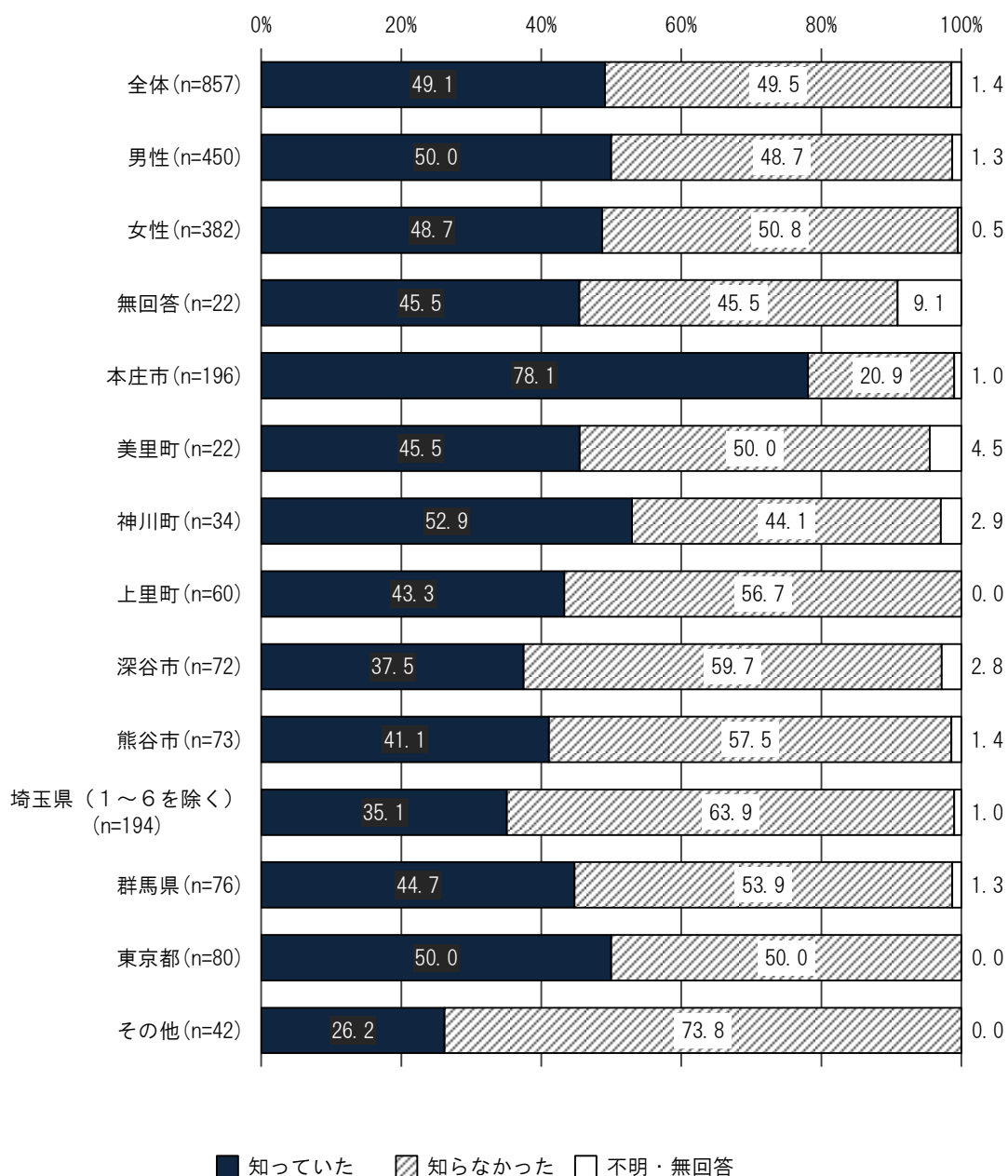
居住地別では、本庄市・神川町で「知っていた」が8割～9割程となっていますが、一部では半数を下回っています。



問9② 本庄市マスコット「はにぽん」は、市内の遺跡で発掘された「笑う盾持人物埴輪」をモチーフにしている

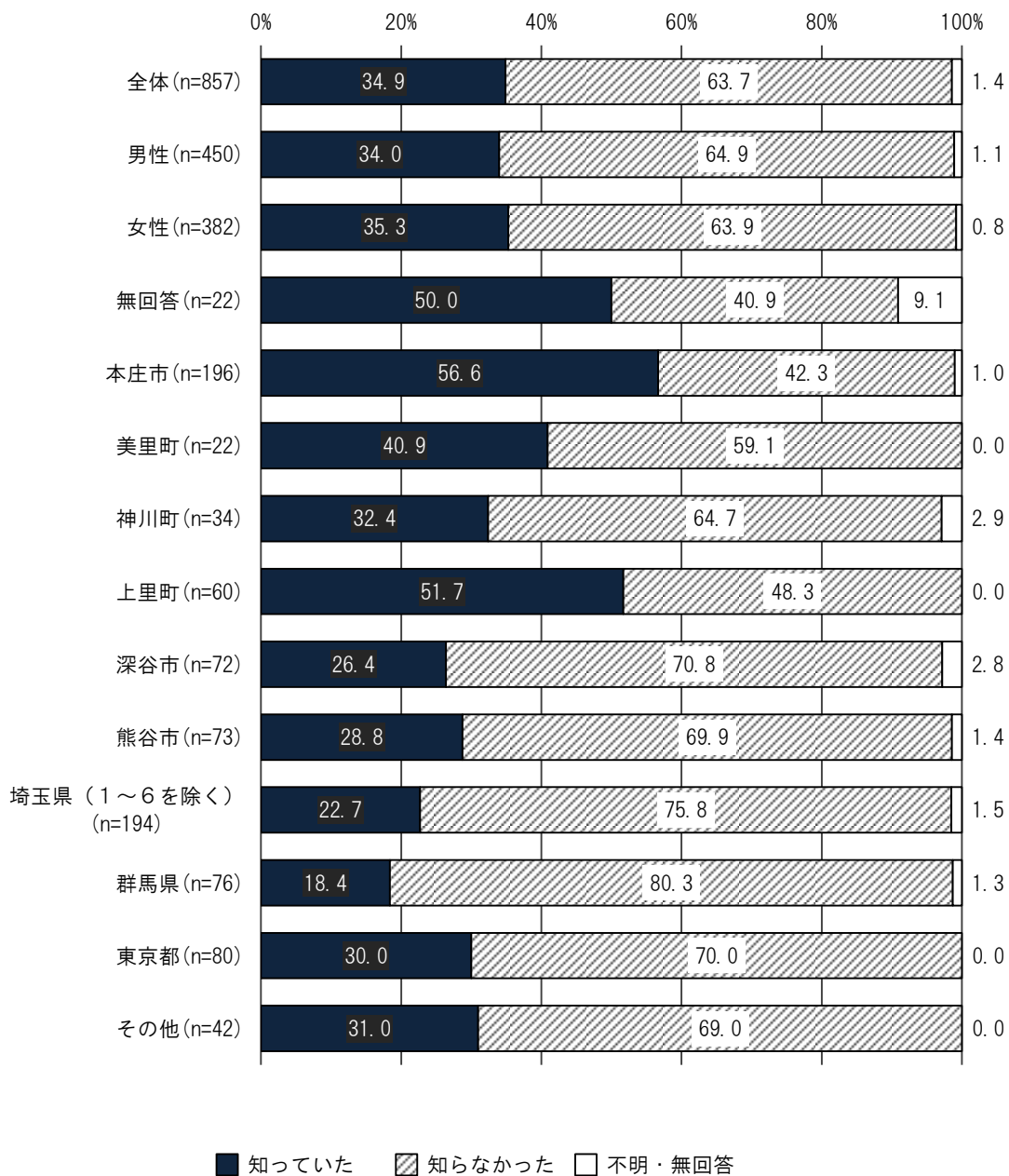
全体では「知らなかった」が49.5%となっており、「知っていた」を上回っています。

居住地別にみると、本庄市では「知っていた」が約8割と高くなっている一方、「知っていた」が「知らなかった」を上回ったのは、本庄市を含めた一部にとどまっています。



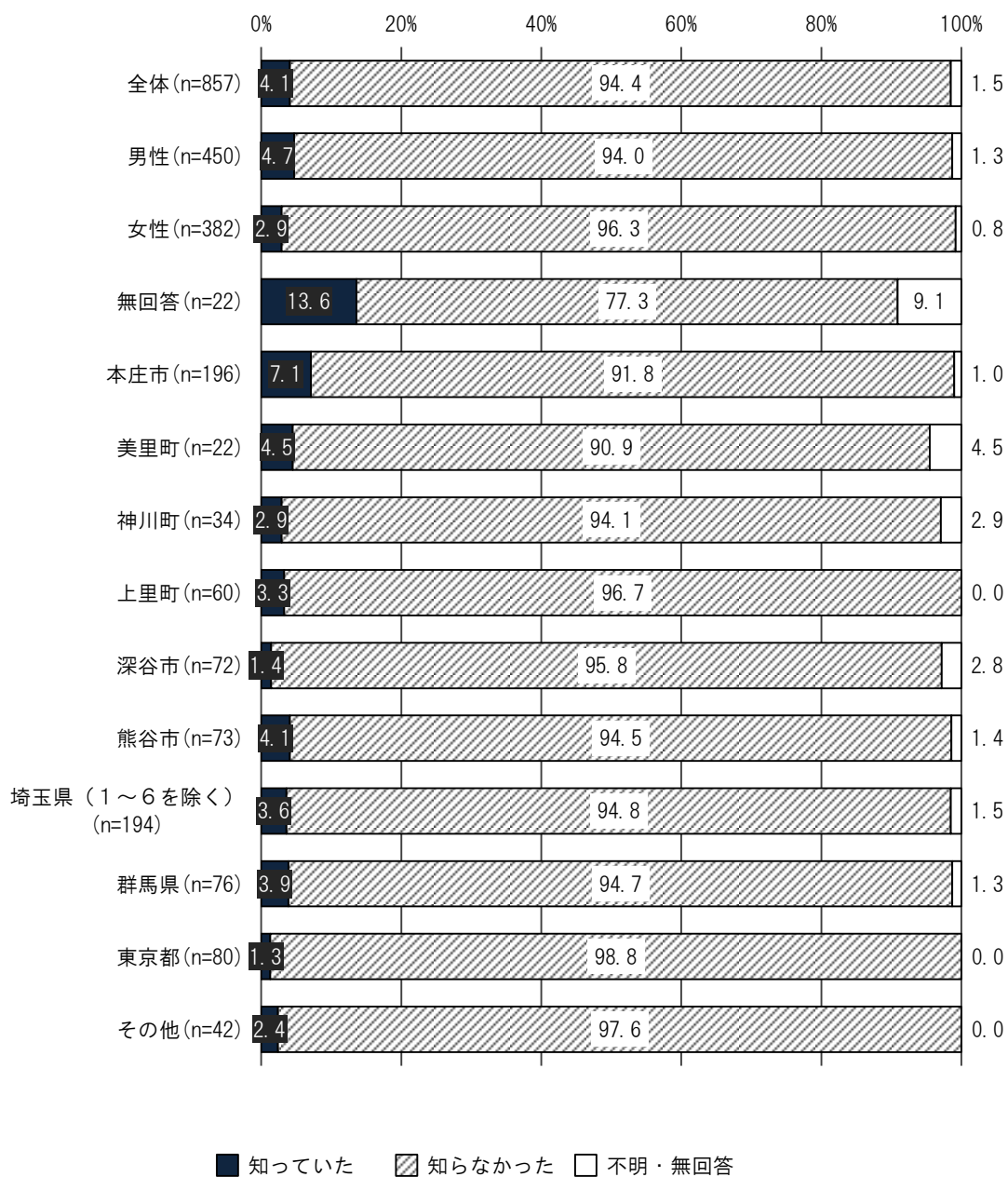
問9③ 本庄市は、キュウリ、ナス、ネギ等をはじめとして農業が盛んであり、県内でも有数の生産地である

全体では「知らなかった」が63.7%となっており、「知っていた」を30ポイント程度上回っています。居住地別にみると、群馬県では「知っていた」が18.4%と特に低くなっています。



問9④ 「本庄すまいる」というInstagramの本庄市公式アカウントがある

全体では、ほとんどが「知らなかった」と回答しています。
性別や居住地別でみても、差はほとんどみられません。

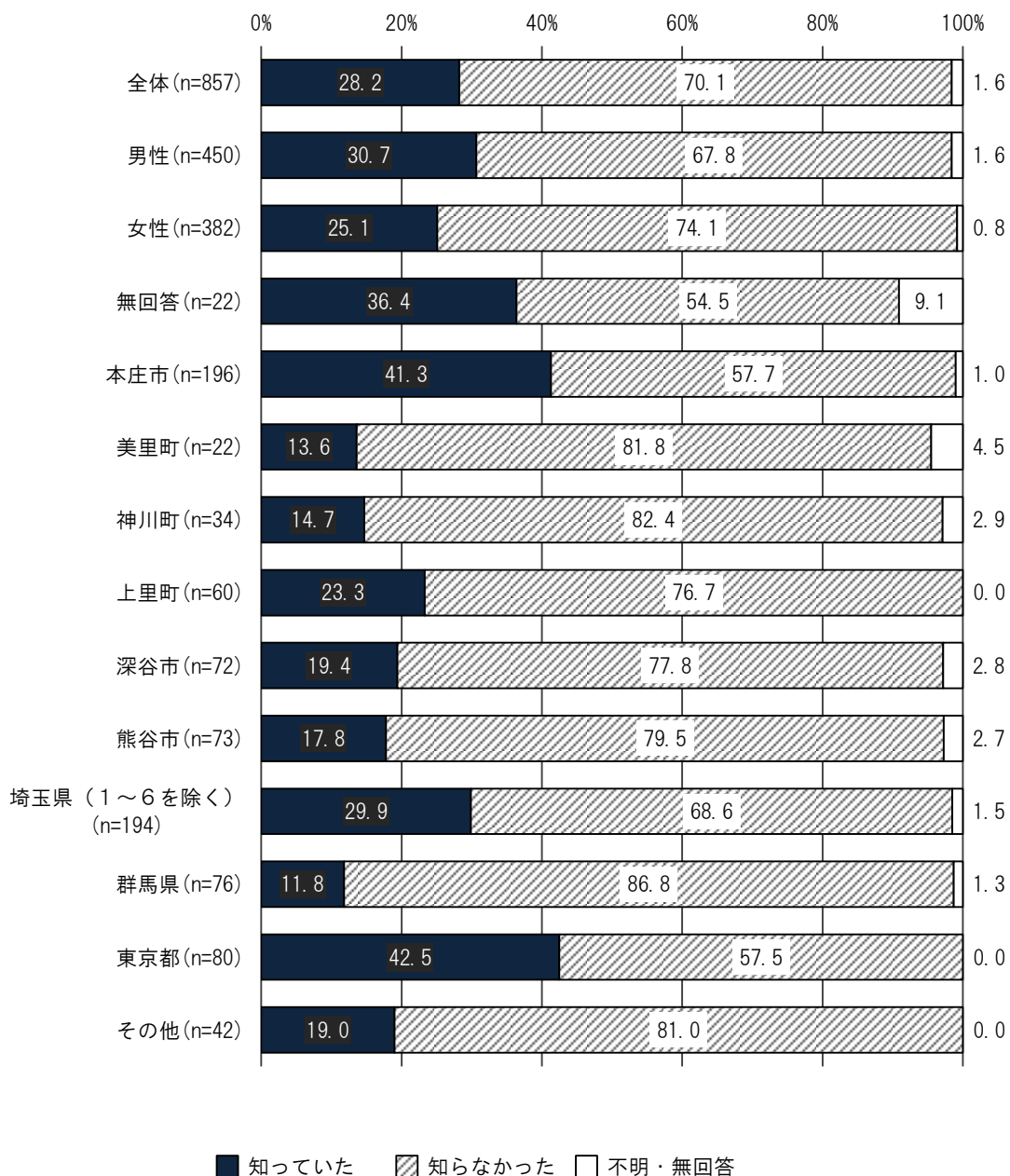


問9⑤ 江戸時代に、「本庄宿」は中山道最大規模の宿場町として栄えた

全体では「知らなかった」が7割を超えています。

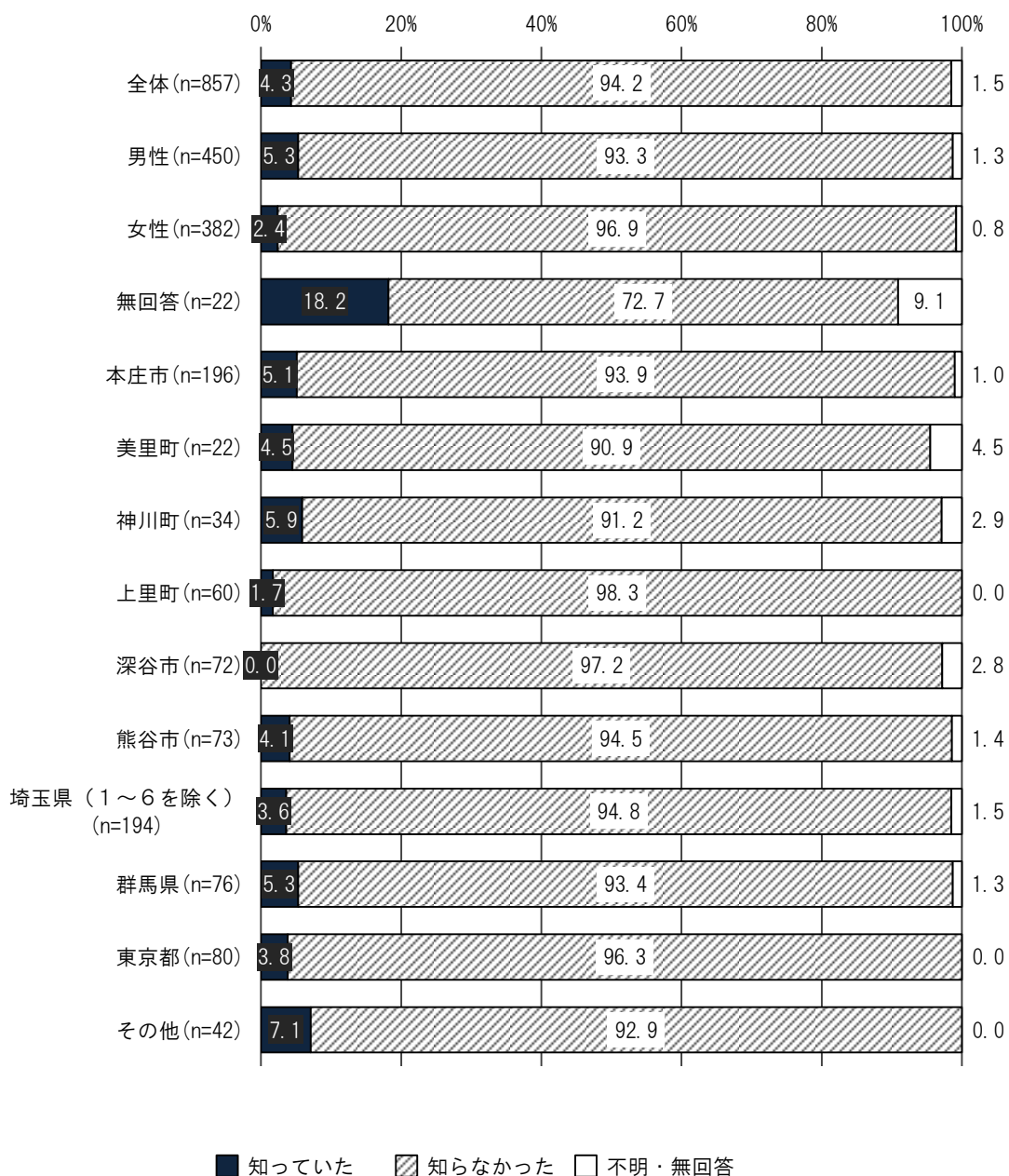
性別で見ると、「知っていた」の割合は男性が女性を5ポイント以上上回っています。

居住地別で見ると、「知っていた」の割合は東京都が42.5%と最も高く、次いで本庄市が41.3%となっている一方、全ての区分で「知らなかった」が「知っていた」を上回っています。



問9⑥ 現在、本庄市内の高校を卒業した人がUターンで本庄市に転入する場合、所定の条件を満たすと支援金を受け取れる

全体では、ほとんどが「知らなかった」と回答しています。
性別や居住地別でも、差はほとんどみられません。



問 10 あなたが知っている本庄市のよいところや好きなところを自由に記入してください。
(好きなスポット・イベント、よく遊びに行く場所、市の特徴など)

具体的なスポットとしては、はにぼんプラザ(29件)をはじめとし、様々なものが挙げられました。
市の特徴としては、自然の豊かさ(144件)が特に多く挙げられ、そのほか、公共交通や市外へのアクセスの良好さ(52件)、商業施設の充実(43件)などが幅広く挙げられました。
以下に、数が多かったものについて、回答をいくつか抜粋して示します。

市内のスポット

【はにぼんプラザ(29件)】

- ・学校の定期テスト勉強ではにぼんプラザを利用している。集中できて、居心地が良く助かっている。
- ・はにぼんプラザで部屋を借りやすいのが良いと思う。熊谷にそういった施設はなかった。
- ・はにぼんプラザで部屋を借りてボランティアなどをするのに便利で良いと思います。
- ・はにぼんプラザは、いつもきれいで行く時に良い気持ちでいられる。

【マリーゴールドの丘公園(24件)】

- ・冬になるとマリーゴールドの丘公園がイルミネーションになりとてもきれい。
- ・マリーゴールドの丘公園は良い風景できれいな写真が撮れるため、学生には人気のスポットであり、私も好きな場所である。

【早稲田の杜エリア(23件)】

- ・早稲田あたりはお店が多く、非常に便利。
- ・本庄早稲田駅周辺の店舗数が増えたから、地元からの買い物が楽。
- ・早稲田駅の方が栄えていてきれい。

市の特徴

【自然の豊かさ(144件)】

- ・自然が豊か。(同様の意見多数)
- ・空気が良い。(同様の意見多数)
- ・山が見えて自然を感じつつ、住むには困らないところ。
- ・自然が多すぎず、都会すぎず丁度よい。

【公共交通や市外へのアクセスの良好さ(52件)】

- ・インターや駅がしっかりある。
- ・東京に行くときは本庄駅から電車に乗っていく。便利。
- ・群馬にも東京にも行き易い。
- ・新幹線駅がある。

【商業施設の充実(43件)】

- ・何かと店がそろっている。基本的には生活に困ることはないと思う。
- ・商業施設が駅近くにある。
- ・ある程度の買い物が1度にすませられる。

問11 あなたが考える本庄市に不足しているところや改善してほしいところを自由に記入してください。(自分や友人等の居住地との比較など)

施設に関する意見・要望としては、遊べる場所(83件)をはじめとし、様々なものが挙げられました。また、駅や周辺の施設の充実(57件)についても多く声が集まりました。本市の高校に通う生徒にとって、駅及びその周辺の充実が様々な視点から求められていることがうかがえます。

生活環境に関する意見・要望としては、交通アクセス(84件)や道路環境(42件)が特に多く挙げられました。

以下に、数が多かったものについて、回答をいくつか抜粋して示します。

施設に関する意見・要望

【遊べる場所(83件)】

- ・遊べる場所が少ない。(ほぼ全てが同様の意見)
- ・本庄市で遊ぼうと言えるような場所がほとんどないところ。
- ・学生が多いのに、学生が集まれる場所、遊べる場所が駅前に少ない。
- ・友達と遊べない。遊ぶとしても歩きで行くには遠すぎる。

【商業施設一般(61件)】

- ・商業施設が少ない。(ほぼ全てが同様の意見)
- ・周辺の市町村から訪れる魅力的な商業施設が無い。

【駅や周辺の施設の充実(57件)】

- ・本庄駅の規模が小さい。もっと駅を拡大して、ショッピングセンターとかを作って欲しい。
- ・本庄駅周辺に、高校生が立ち寄れるお店が無いので、作って欲しい(居酒屋しかない)。
- ・本庄駅が寂れている。歩道が狭い。はにぼんをもっと可愛くしてほしい。本庄駅がダサい。景観が悪い。中途半端に栄えていない。
- ・本庄駅のトイレをきれいに保ってほしい。
- ・駅の駐輪場料金が高すぎる。

生活環境に関する意見・要望

【交通アクセス(84件)】

- ・電車の本数が少ない。(同様の意見多数)
- ・バス、はにぼんシャトルの本数が少ない。(同様の意見多数)
- ・東京まで遠い。(同様の意見多数)

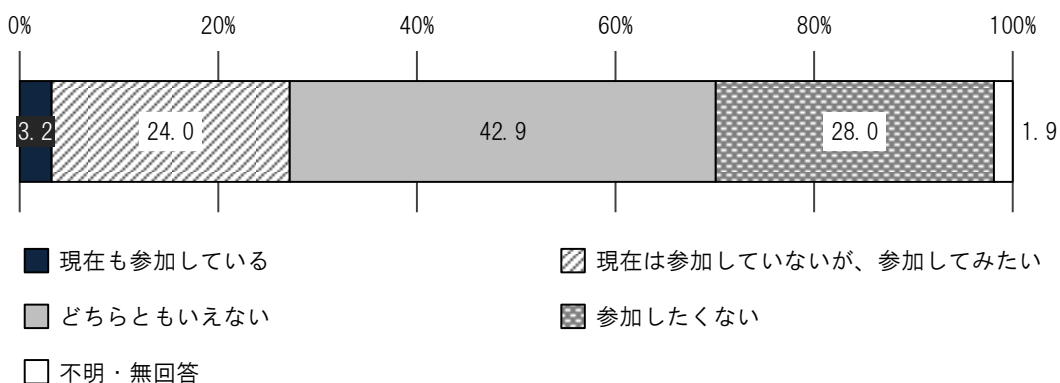
【道路環境(42件)】

- ・道路、歩道の整備。(同様の意見多数)
- ・道が狭いところがたくさんある。
- ・通学路をもう少し整備してほしい。雨の日は特にそう感じます。
- ・自転車優先レーンが少ない。

問 12 市では高校生の皆さんを含めた協働によるまちづくりを推進しています。今後、高校生の皆さんにまちづくりに参加していただく機会があったら、参加してみたいですか。
(1つに○)

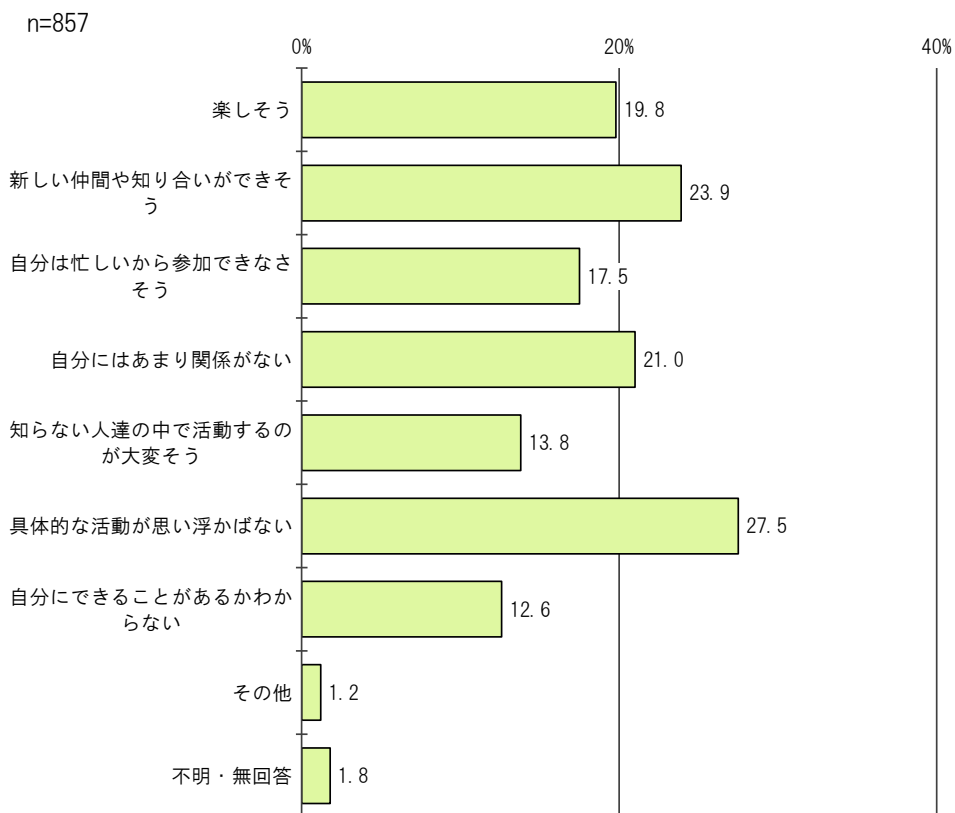
協働によるまちづくりへの参加意向についてみると、「どちらともいえない」が42.9%と最も多く、次いで「参加したくない」が28.0%となっている一方、「現在も参加している」という回答も3.2%と一定程度存在しており、「現在は参加していないが、参加してみたい」と合わせて3割程度に意向がある状況となっています。

n=857



問13 「高校生の皆さんを含めた協働によるまちづくり」と聞いて、どう感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「具体的な活動が思い浮かばない」が 27.5%と最も多く、「自分にはあまり関係がない」(21.0%)などの消極的な回答もみられる一方、「新しい仲間や知り合いができそう」「楽しそう」といった積極的な回答も、2割前後と一定程度みられます。



問 14 高校生の皆さんが活躍できる「協働によるまちづくり」にはどのようなものがあると思いますか。自由にアイデアをお聞かせください。

ボランティア等のアイデアとしては、ごみ拾い・美化活動(61件)を挙げた回答が多かったほか、未就学児・小中学生への支援(18件)についても声が集まりました。

イベント・交流のアイデアとしては、イベントの開催(26件)や地域イベントへの参加(18件)、高校間の交流(13件)が挙げられたほか、「あいさつをする」「コミュニケーション」といった回答もみられました。

そのほかのアイデアとしては、意見の提供・交換(34件)、SNS等による情報発信(19件)などが挙げられました。

以下に、数が多かったものについて、回答をいくつか抜粋して示します。

ボランティア等のアイデア

【ごみ拾い・美化活動(61件)】

- ・ごみ拾い。(ほぼ全てが同様の意見)
- ・街をキレイにする。

【未就学児・小中学生への支援(18件)】

- ・地域の小中学校との交流。
- ・学童でボランティアをしたことがあります。外で子どもたちと一緒に遊んだり、勉強を教えてあげたりするのはやはり年代の近い高校生が最も活躍できると思いました。
- ・本庄市内の中学校に訪問し、中学生に高校受験の体験談を話す。
- ・幼稚園生や小学生などへの学習サポート。

イベント・交流のアイデア

【イベントの開催(26件)】

- ・高校生が主体となってイベントがあると楽しそう。市内の6校の学校で行う球技大会とか、中規模程度のイベントがあると他校同士の交流ができて面白いと思う。
- ・予算内で若い人が楽しめる施設、イベントを考える。
- ・高校生が集まって出し物をしたり本庄市の農産物を販売したりするイベントがあったら、市のことも知れるし盛り上げられて楽しそう。
- ・定期公演等を校内のみならず公共の場でも積極的に行っていく。
- ・本庄市内のフィールドワークを小学生対象に開催する。

そのほかのアイデア

【意見の提供・交換(34件)】

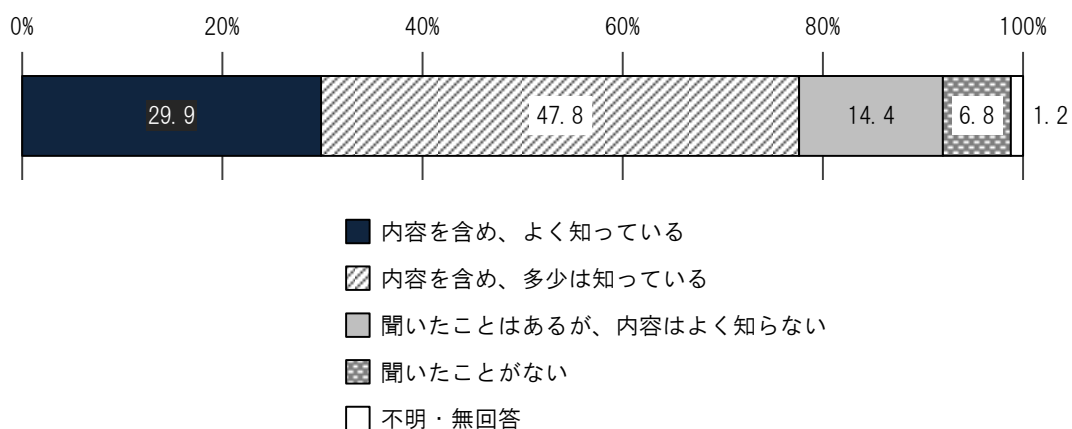
- ・高校生のアイデアを提供する。(同様の意見多数)
- ・意見箱の設置。

【SNS等による情報発信(19件)】

- ・SNSで市の魅力を発信。(ほぼ全てが同様の意見)

問15 あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。(1つに○)

SDGsをどの程度知っているかについてみると、「内容を含め、多少は知っている」が47.8%と最も多く、次いで「内容を含め、よく知っている」が29.9%となっています。



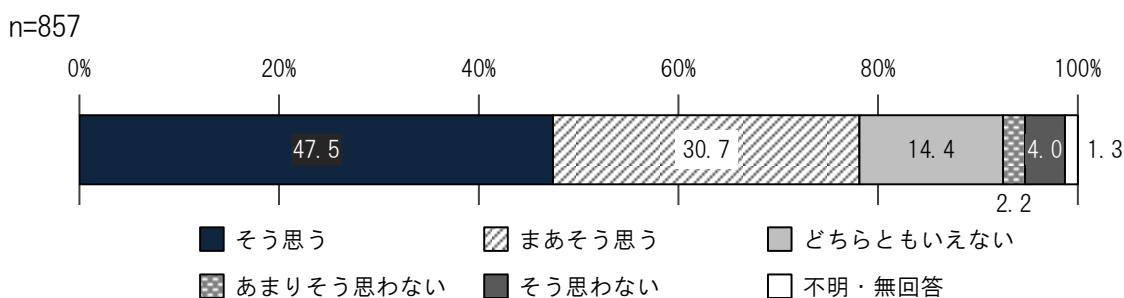
問16 以下のア～ウのような考えについて、どのように思いますか。(それぞれについて、1〈そう思う〉～5〈そう思わない〉の1つに○)

※SDGsの実現に向けた身近な取組例：ごみや食品ロスの削減、自転車や公共交通の利用など

ア SDGsの実現に向けて、私個人にもできることがある

SDGsの実現に向けて自身にもできることがあるかについて、「そう思う」が47.5%と最も多く、次いで「まあそう思う」が30.7%、「どちらともいえない」が14.4%となっています。

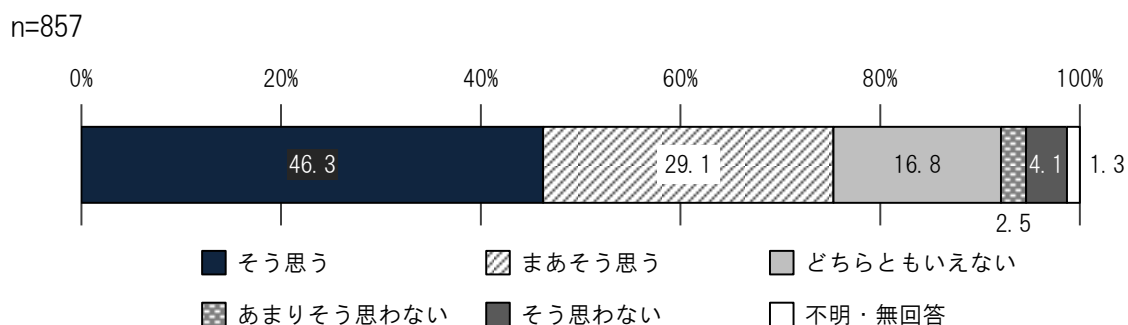
性別でみると、「そう思う」の割合は、「女性」が「男性」を10ポイント以上上回っています。



	問16 以下のア～ウのような考えについて、どのように思いますか。						
	合計	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体	857	47.5	30.7	14.4	2.2	4.0	1.3
性別							
男性	450	42.4	31.8	17.6	2.2	5.3	0.7
女性	382	54.5	29.6	10.7	1.8	2.1	1.3
無回答	22	36.4	27.3	13.6	9.1	9.1	4.5

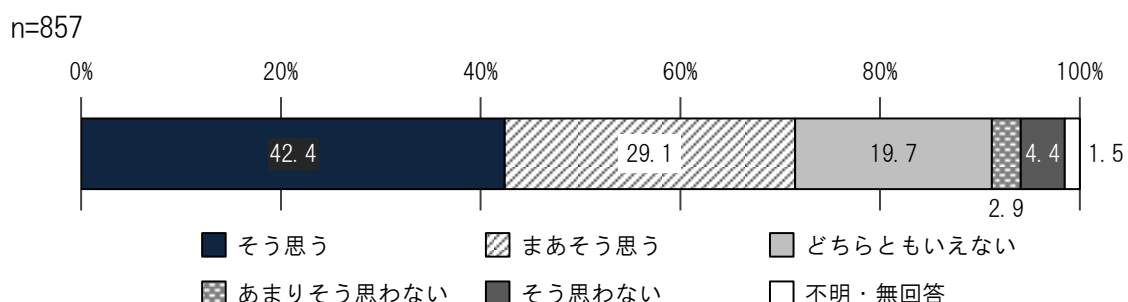
問 16 イ SDGsが実現されることは、私にとってよい影響がある

SDGs の実現は自身によい影響があるかについて、「そう思う」が 46.3%と最も多く、次いで「まあそう思う」が 29.1%、「どちらともいえない」が 16.8%となっています。



問 16 ウ SDGsの実現に向けた市の取組は、市の魅力向上にもつながる

SDGs の実現に向けた市の取組が市の魅力向上にもつながるかについて、「そう思う」が 42.4%と最も多く、次いで「まあそう思う」が 29.1%、「どちらともいえない」が 19.7%となっています。性別でみると、「そう思う」の割合は、「女性」が「男性」を 10 ポイント以上上回っています。



%		問16ウ SDGsの実現に向けた市の取組は、市の魅力向上にもつながる						
	合計	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答	
全体	857	42.4	29.1	19.7	2.9	4.4	1.5	
性別								
男性	450	37.6	30.9	21.6	3.1	6.0	0.9	
女性	382	49.5	28.0	16.8	2.6	1.6	1.6	
無回答	22	22.7	9.1	36.4	4.5	22.7	4.5	

4 市外在住者調査の結果

回答者の基礎情報

以下は、今回の調査の回答者に係る基礎情報であり、今回の調査で設計した問とは別に把握されたものです。

【性別】

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	男性	224	50.7
2	女性	218	49.3

【年齢】

数量回答（下記のカテゴリに分類して集計）		n	%
	全体	(442)	
1	20代	96	21.7
2	30代	111	25.1
3	40代	107	24.2
4	50代	82	18.6
5	60代	46	10.4

【婚姻状況】

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	未婚（離別・死別含む）	201	45.5
2	既婚	241	54.5

【職業】

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	公務員	16	3.6
2	経営者・役員	13	2.9
3	会社員（事務系）	129	29.2
4	会社員（技術系）	44	10.0
5	会社員（その他）	58	13.1
6	自営業	22	5.0
7	自由業	13	2.9
8	専業主婦（主夫）	47	10.6
9	パート・アルバイト	53	12.0
10	学生	10	2.3
11	その他	7	1.6
12	無職	30	6.8

さいたま市が東京23区に居住しており、移住意向がある方に対して、以下の調査を行いました。

SQ1 あなたがお住まいの居住地をお答えください。

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	さいたま市	221	50.0
2	埼玉県（さいたま市を除く）	0	0.0
3	東京23区	221	50.0
4	東京都（23区外）	0	0.0
5	その他	0	0.0

SQ2 他市町村への移住のご意向はありますか。

内訳としては、「いつかは移住したい」が最も多く、58.8%となっています。

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	現在、移住を検討中である	83	18.8
2	近いうちに移住したいが、現在は検討に至っていない	99	22.4
3	いつかは移住したい	260	58.8
4	現在は、移住するつもりはない	0	0.0

SQ3 あなたは、テレワークを実施していますか。

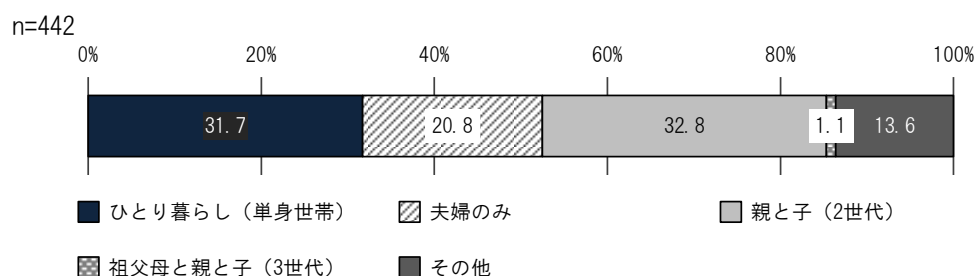
テレワークの実施有無については、「テレワークは実施していない」が 43.9%と最も多く、次いで「部分的にテレワークで対応している」が 17.9%、「ほぼテレワークで対応しており、今後も続く見込み」が 13.8%となっています。

単一回答		n	%
	全体	(442)	
1	ほぼテレワークで対応しており、今後も続く見込み	61	13.8
2	ほぼテレワークで対応しているが、いつまで続くかは不明	37	8.4
3	部分的にテレワークで対応している	79	17.9
4	テレワークは実施していない	194	43.9
5	就労していない	71	16.1

Q1 世帯（同居のご家族）の構成をお答えください。

※単身赴任など一時的な別居の場合は、同居と想定してお答えください。

世帯構成については、「親と子(2世代)」が 32.8%と最も多く、次いで「ひとり暮らし(単身世帯)」が 31.7%、「夫婦のみ」が 20.8%となっています。

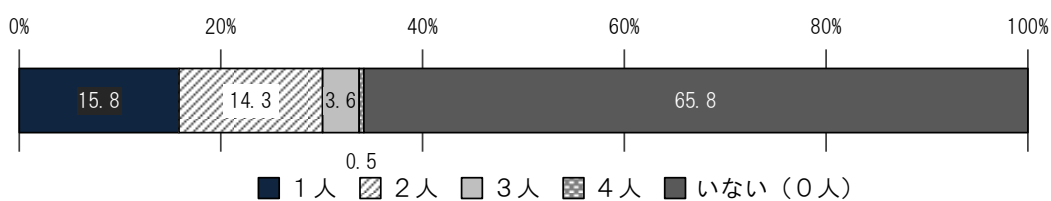


Q2 お子さんの有無及び年代を次の選択肢から選んでください。

第一子から順に得られた回答情報をまとめると、本調査対象者全体で、子の人数について「1人」が15.8%、「2人」が14.3%などとなっています。また、未就学児の有無について、「未就学児がいる」は14.9%となっています。

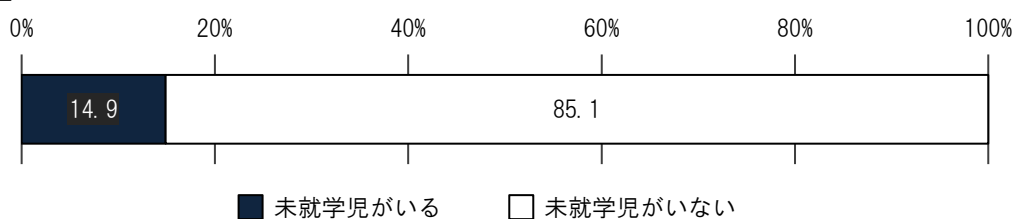
【子の人数】

n=442



【未就学児の有無】

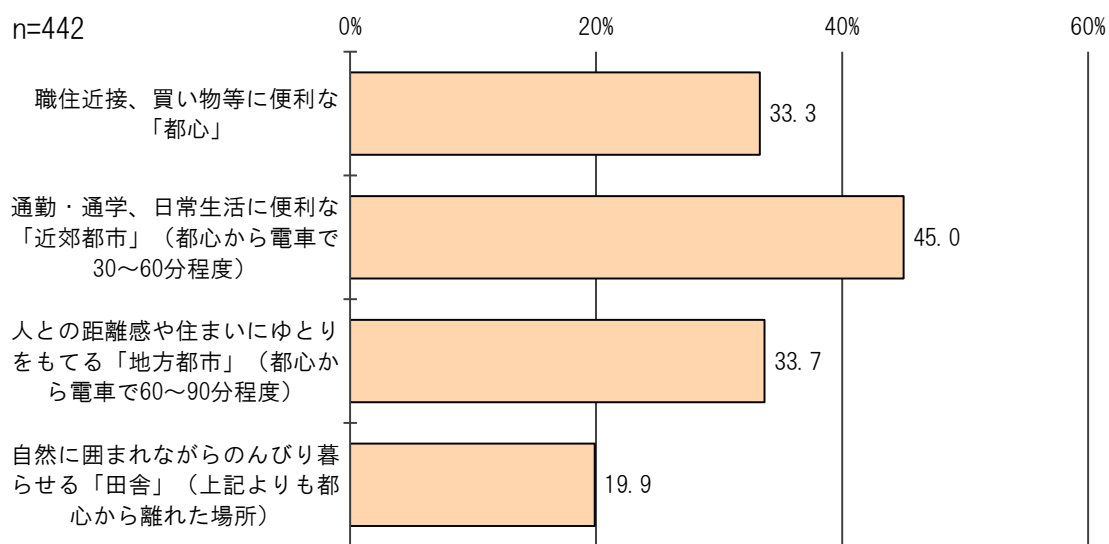
n=442



Q3 移住するとしたら、どのようなイメージのエリアですか。(あてはまるものすべて選択)
 ※「都心」について：東京都においては23区を、埼玉県においてはさいたま市を「都心」とお考え下さい。

移住先のイメージについてみると、「通勤・通学、日常生活に便利な『近郊都市』(都心から電車で30～60分程度)」が45.0%と最も多くなっています。

本市が該当すると想定される「人との距離感や住まいにゆとりをもてる『地方都市』(都心から電車で60～90分程度)」については33.7%となっています。



また、「人との距離感や住まいにゆとりをもてる『地方都市』(都心から電車で 60～90 分程度)」について、属性別に結果をみると、性別・居住地別ではほとんど差がみられません。

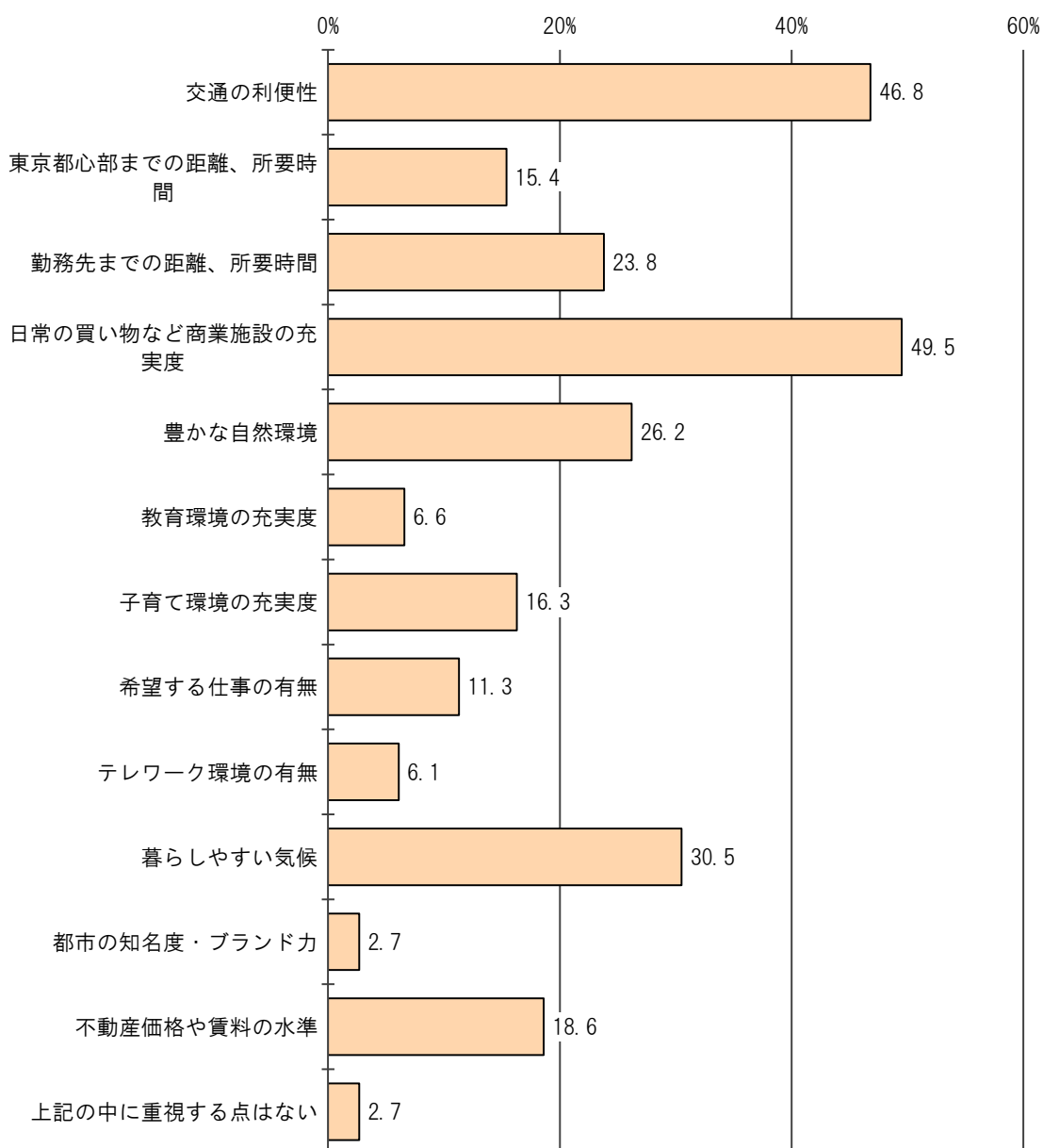
一方、年齢別では、最も高い 50 歳代では 47.6%、最も低い 20 歳代では 18.8%となっており、差が大きくなっています。また、50 歳代の次に高かったのは 30 歳代(39.6%)となっており、必ずしもより高齢の層ほど割合が高くなってはいません。

		Q3 移住するとしたら、どのようなイメージのエリアですか。							
%		職住近接、 買い物等に便利な「都心」		通勤・通学、 日常生活に便利な「近郊都市」 (都心から電車で30～60分程度)		人との距離感や住まいにゆとりをもてる「地方都市」 (都心から電車で60～90分程度)		自然に囲まれながらのんびり暮らせる「田舎」 (上記よりも都心から離れた場所)	
合計									
性別	全体	442	33.3	45.0	33.7	19.9			
	男性	224	32.6	42.0	35.7	22.3			
	女性	218	33.9	48.2	31.7	17.4			
年齢別	全体	442	33.3	45.0	33.7	19.9			
	20歳代	96	55.2	56.3	18.8	12.5			
	30歳代	111	26.1	52.3	39.6	19.8			
	40歳代	107	32.7	36.4	30.8	26.2			
	50歳代	82	22.0	37.8	47.6	14.6			
	60歳代	46	26.1	37.0	32.6	30.4			
居住地別	全体	442	33.3	45.0	33.7	19.9			
	さいたま市	221	33.9	46.6	33.9	20.4			
	東京23区	221	32.6	43.4	33.5	19.5			

Q4 移住するとしたら、新たな居住地を選ぶ際に重視することは何ですか。
(上位3つまで選択)

新たな居住地の選択時の重視事項についてみると、「日常の買い物など商業施設の充実度」が49.5%と最も多く、次いで「交通の利便性」が46.8%、「暮らしやすい気候」が30.5%となっています。

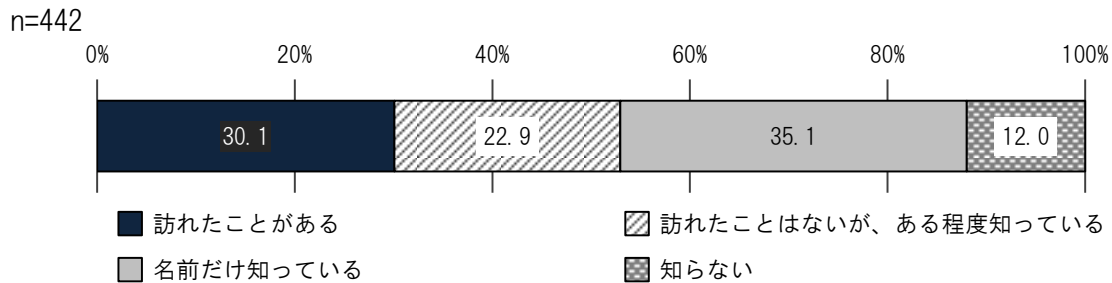
n=442



Q5 埼玉県本庄市を知っていますか。

本市の認知状況についてみると、「名前だけ知っている」が 35.1%と最も多く、次いで「訪れたことがある」が 30.1%、「訪れたことはないが、ある程度知っている」が 22.9%となっています。

また、「知らない」とした割合を属性別にみると、性別では女性、年齢別では 30 歳代、居住地別では東京 23 区で比較的高くなっています。



		Q5 埼玉県本庄市を知っていますか。					
		合計	訪れたことがある	訪れたことはないが、ある程度知っている	名前だけ知っている	知らない	
性別	全体	442	30.1	22.9	35.1	12.0	
	男性	224	39.7	25.0	27.7	7.6	
	女性	218	20.2	20.6	42.7	16.5	
年齢別	全体	442	30.1	22.9	35.1	12.0	
	20歳代	96	22.9	20.8	41.7	14.6	
	30歳代	111	30.6	16.2	37.8	15.3	
	40歳代	107	31.8	22.4	33.6	12.1	
	50歳代	82	32.9	26.8	34.1	6.1	
	60歳代	46	34.8	37.0	19.6	8.7	
居住地別	全体	442	30.1	22.9	35.1	12.0	
	さいたま市	221	38.5	30.3	26.7	4.5	
	東京23区	221	21.7	15.4	43.4	19.5	

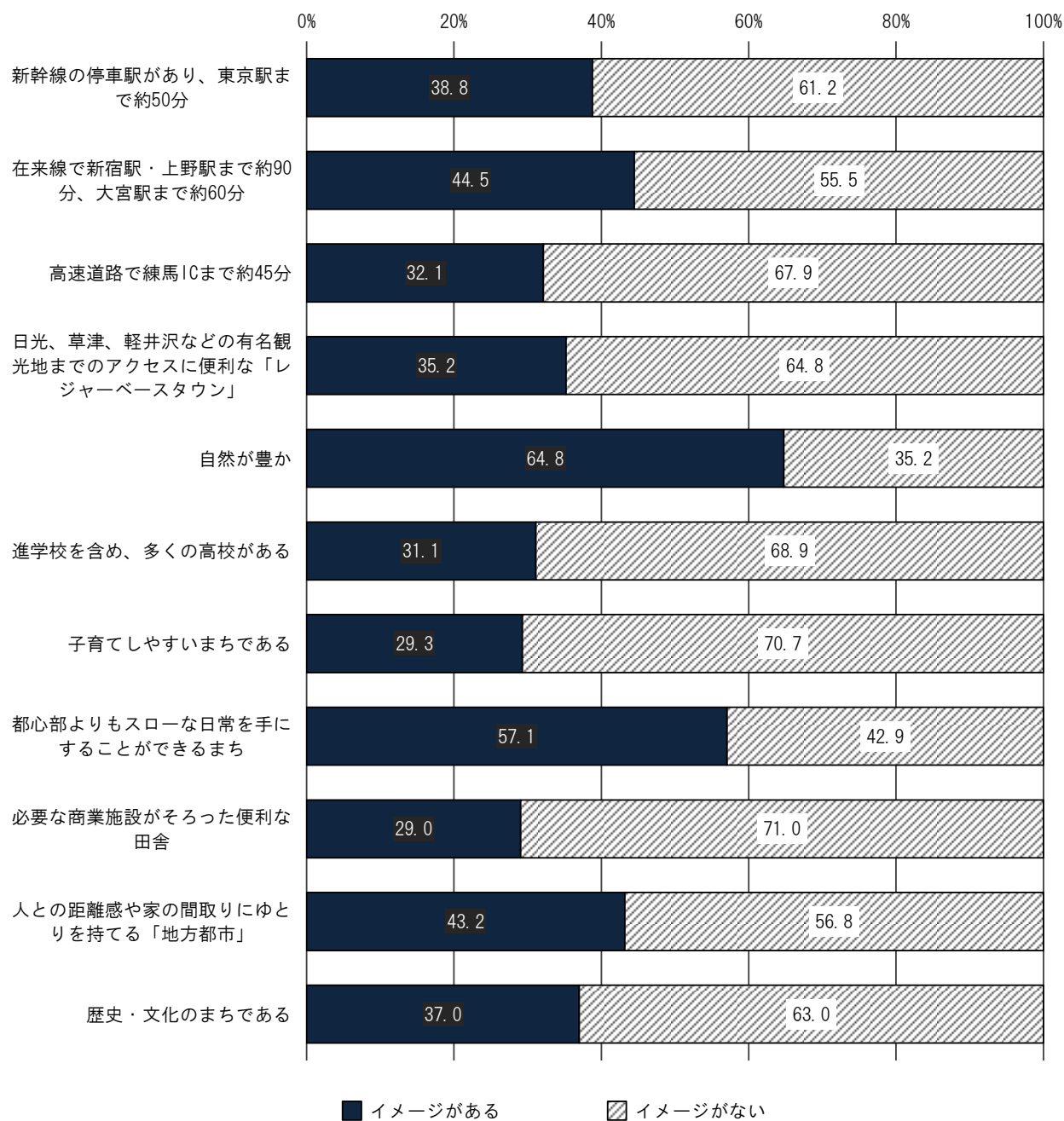
※下記のQ6は、Q5で本庄市を「知らない」と回答した方以外に回答していただきました。

Q6 本庄市について、以下のようなイメージがありますか。

「イメージがある」の割合は、「自然が豊か」で 64.8%、「都心部よりもスローな日常を手にする事ができるまち」で 57.1%と高くなっています。

一方で、「必要な商業施設がそろった便利な田舎」「子育てしやすいまちである」については、「イメージがある」が3割を下回っているほか、他の多くの項目で4割を下回っています。

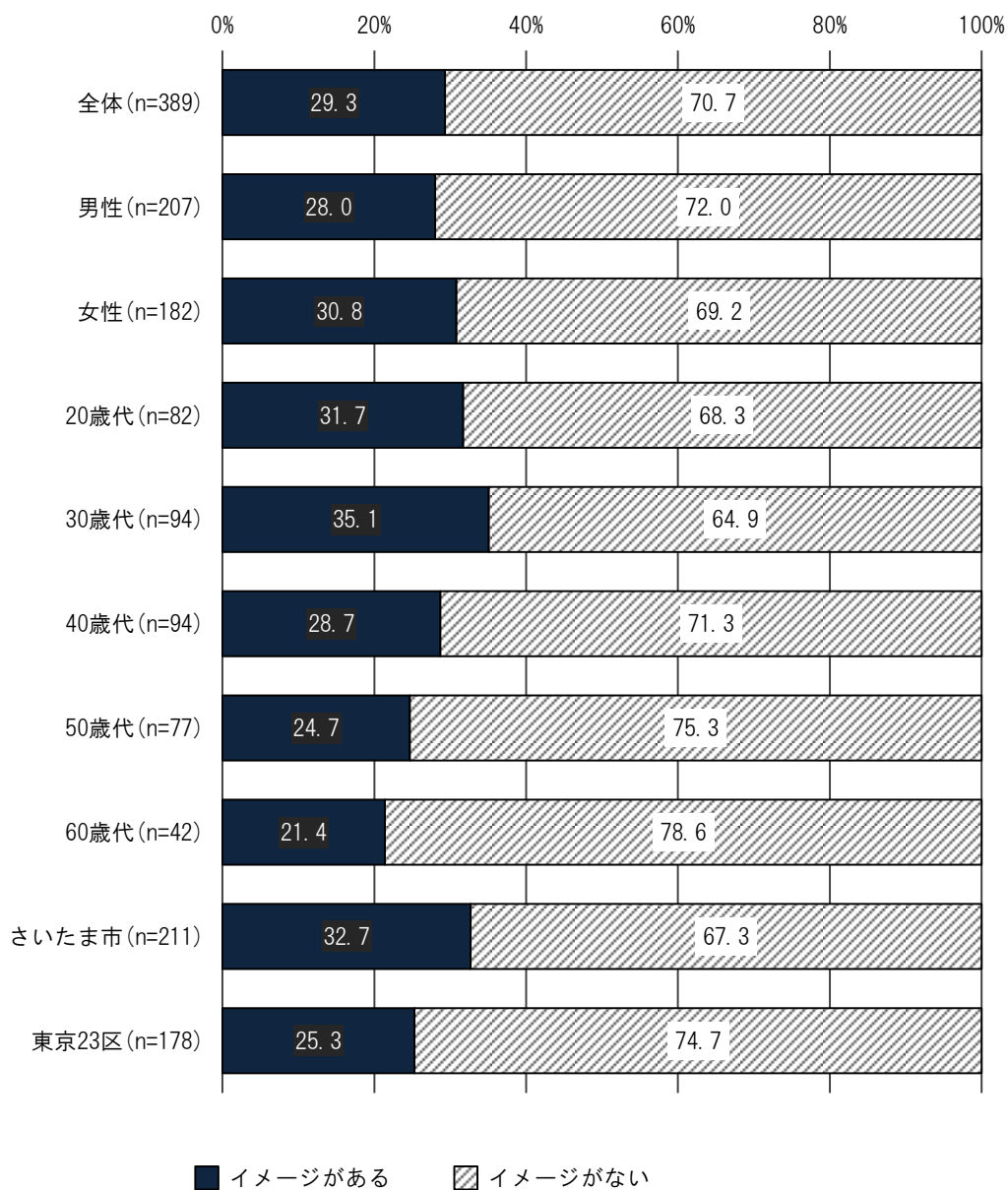
n=389



以下では、「イメージがある」の割合が特に低かった項目に注目して分析します。

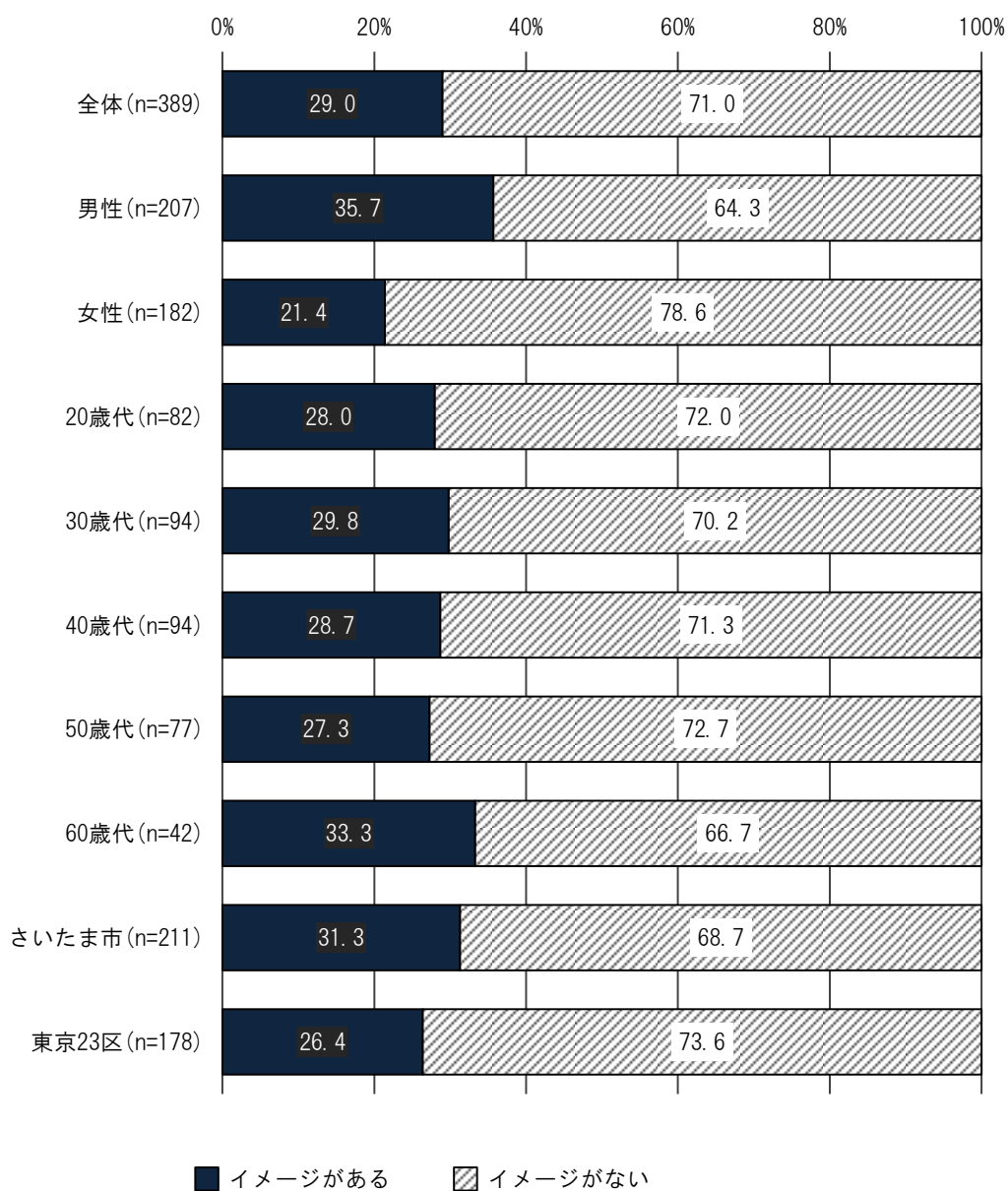
「子育てしやすいまちである」について

性別では大きな差はみられない一方、年齢別ではより高齢の層で、居住地では東京 23 区で、「イメージがある」の割合が低くなっています。



「必要な商業施設がそろった便利な田舎」について

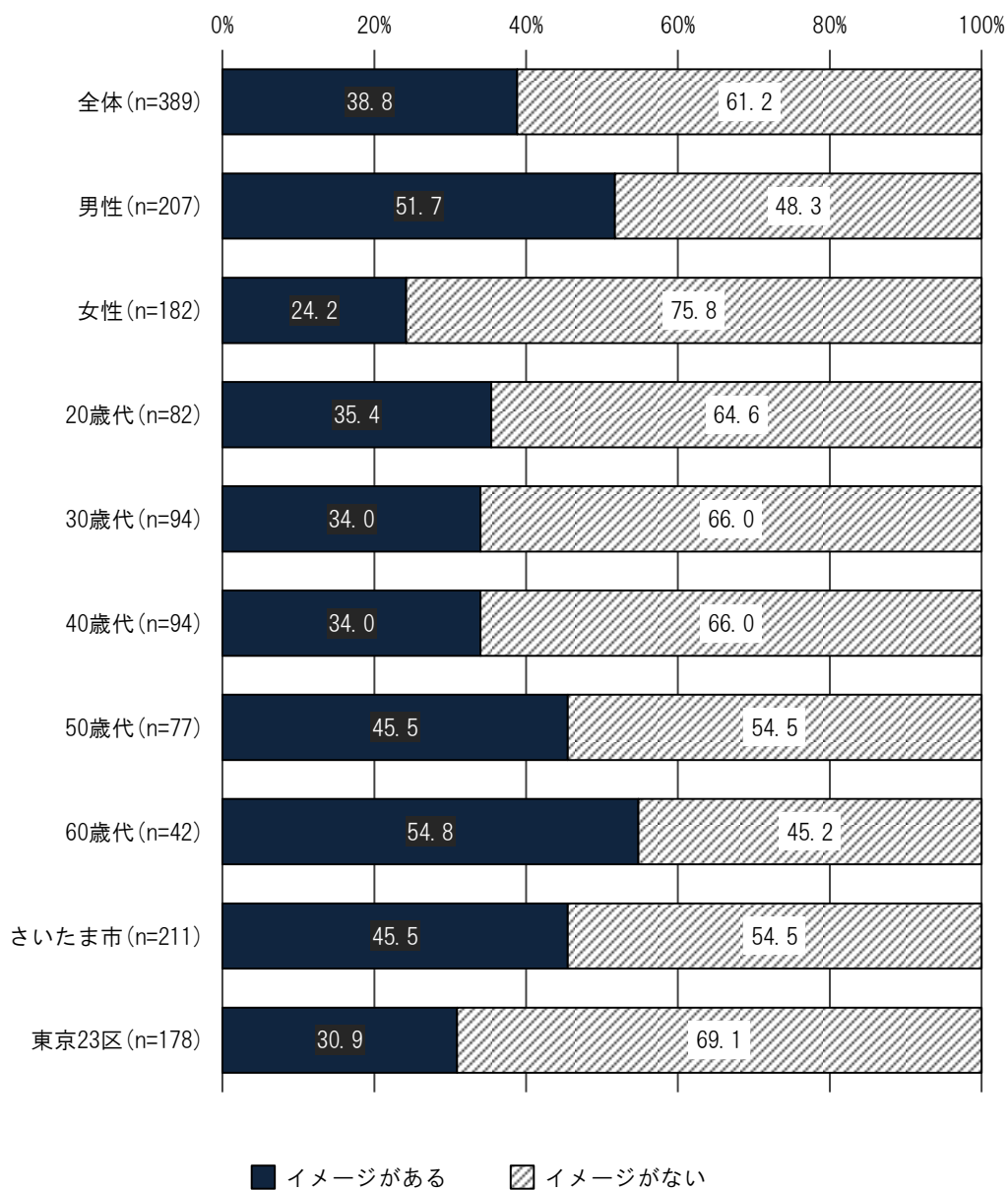
「イメージがある」の割合は、性別で見ると、女性が男性を10ポイント以上下回っている一方、年齢別・居住地別では大きな差はみられません。



以下では、交通アクセスの具体的な事実に関する項目に注目して分析します。

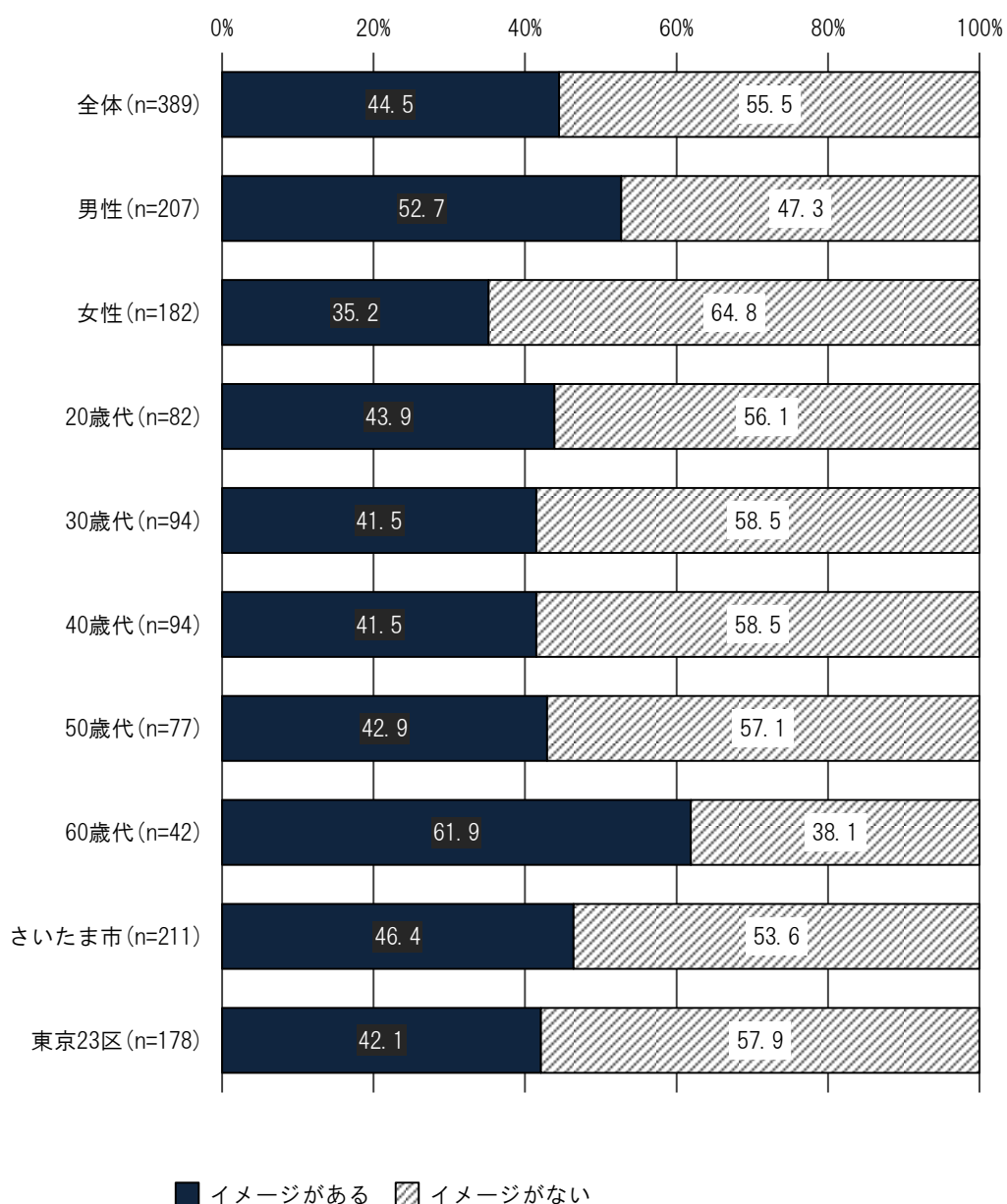
「新幹線の停車駅があり、東京駅まで約 50 分」について

性別では女性、居住地では東京 23 区で、「イメージがある」の割合が低くなっています。



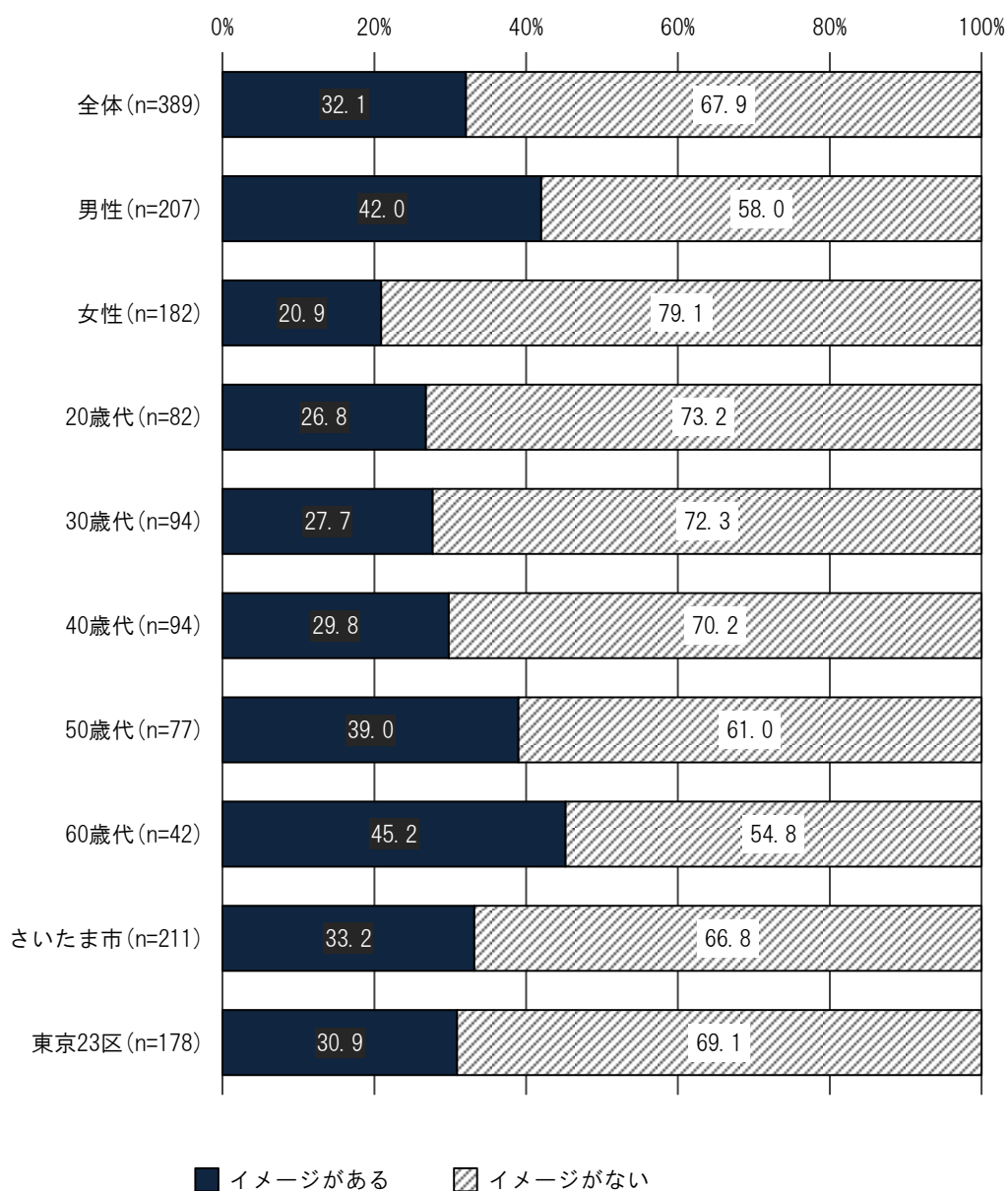
「在来線で新宿駅・上野駅まで約90分、大宮駅まで約60分」について

性別で見ると、女性で「イメージがある」の割合が低くなっています。一方、居住地による大きな差はみられません。



「高速道路で練馬ICまで約45分」について

「イメージがある」の割合は、性別では女性が低く、また、年齢別では低年齢ほど低くなっています。一方、居住地による大きな差はみられません。



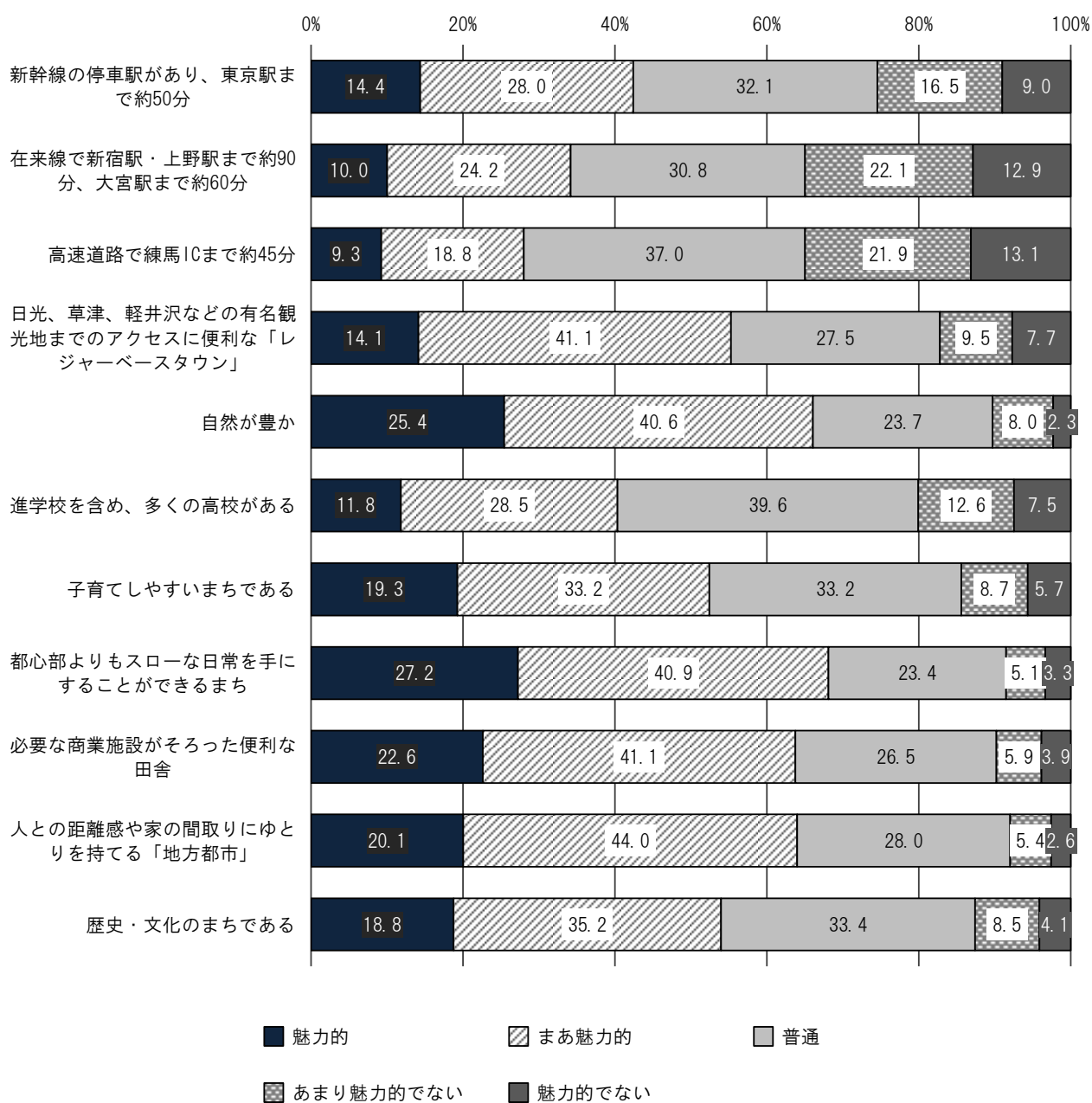
※下記のQ7は、Q5で本庄市を「知らない」と回答した方以外に回答していただきました。

Q7 また、このようなまちは、移住先として魅力的だと思いますか。

「魅力的」の割合は、「都心部よりもスローな日常を手にすることができるまち」で 27.2%、「自然が豊か」で 25.4%と比較的高くなっています。これらに加え、「人との距離感や家の間取りにゆとりを持てる『地方都市』」「必要な商業施設がそろった便利な田舎」では、「魅力的」「まあ魅力的」を合わせて6割台となっています。

一方、「在来線で新宿駅・上野駅まで約 90 分、大宮駅まで約 60 分」「高速道路で練馬 IC まで約 45 分」については、「あまり魅力的でない」「魅力的でない」を合わせて3割半ばとなっており、必ずしも魅力として訴求できるとは限らないことがうかがえます。

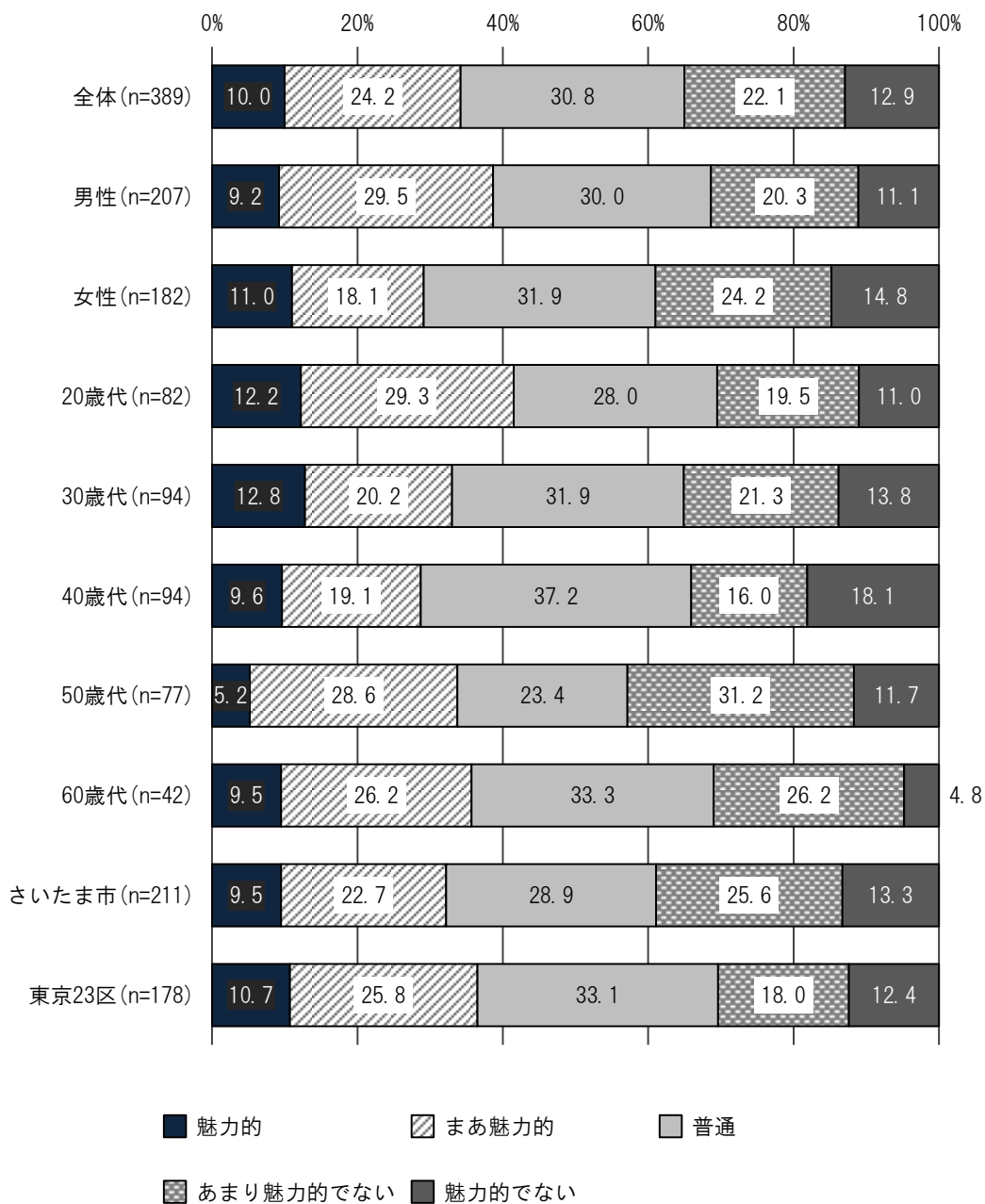
n=389



以下では、魅力的とされる割合が低かった項目に注目して分析します。

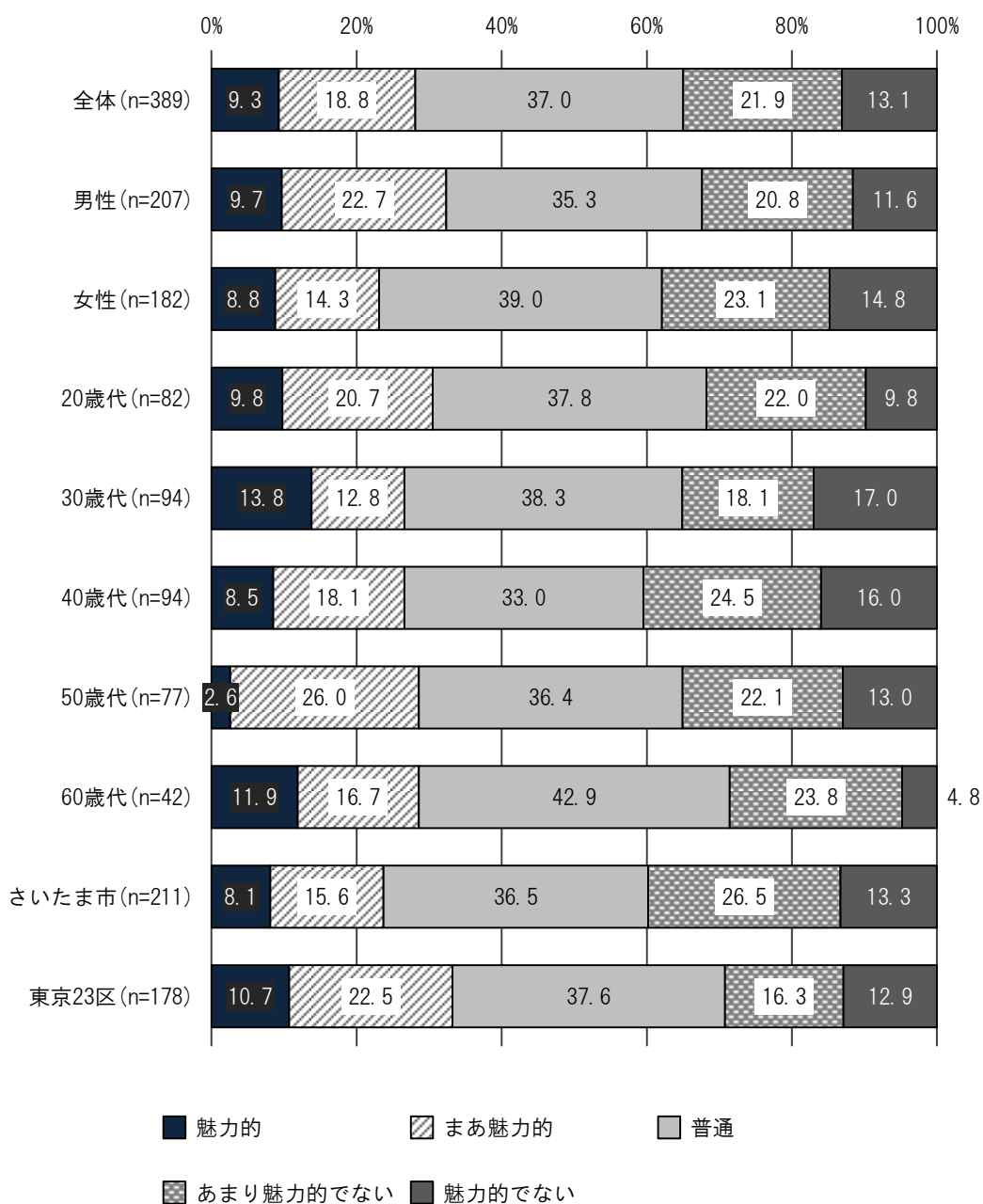
「在来線で新宿駅・上野駅まで約90分、大宮駅まで約60分」について

いずれの属性においても、「魅力的」の割合は概ね1割前後、「まあ魅力的」まで合わせた割合は概ね3割台となっており、大きな差はみられません。



「高速道路で練馬ICまで約45分」について

「魅力的」の割合は50歳代で低く、また「まあ魅力的」まで合わせた割合は女性とさいたま市で低くなっています。

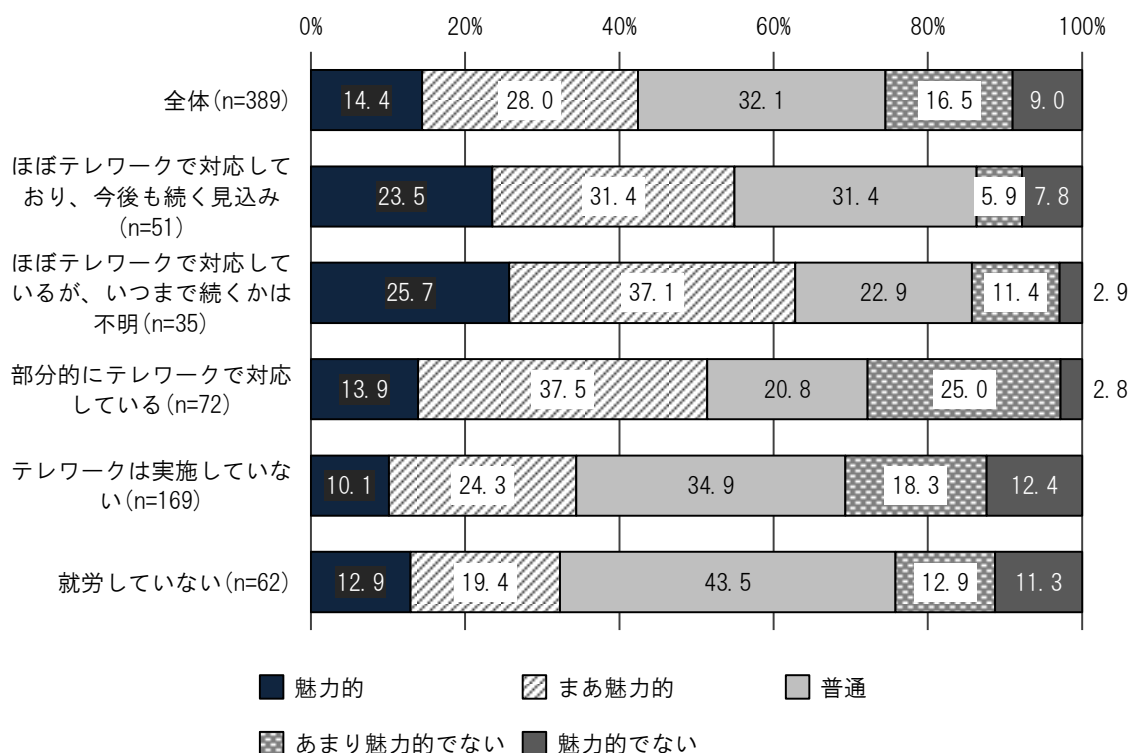


以下では、交通アクセスに関する項目について、テレワークの実施状況別に分析します。

※以下、「ほぼテレワークで対応しており、今後も続く見込み」と「ほぼテレワークで対応しているが、いつまで続くかは不明」の層を合わせて、【ほぼテレワークで対応している】と表現します。

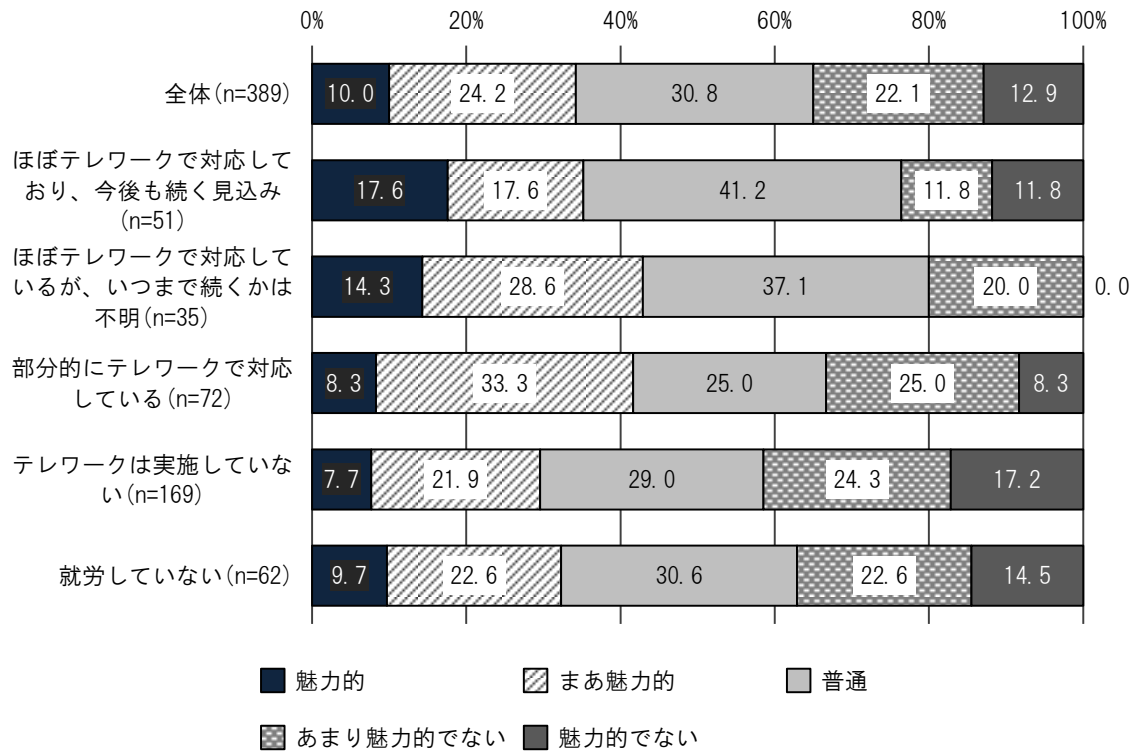
「新幹線の停車駅があり、東京駅まで約 50 分」について

「魅力的」「まあ魅力的」を合わせた割合は、「ほぼテレワークで対応しているが、いつまで続くかは不明」では6割を超え、また「ほぼテレワークで対応しており、今後も続く見込み」でも5割半ばとなっており、全体でみたときと比べて 10～20 ポイント程度高くなっています。



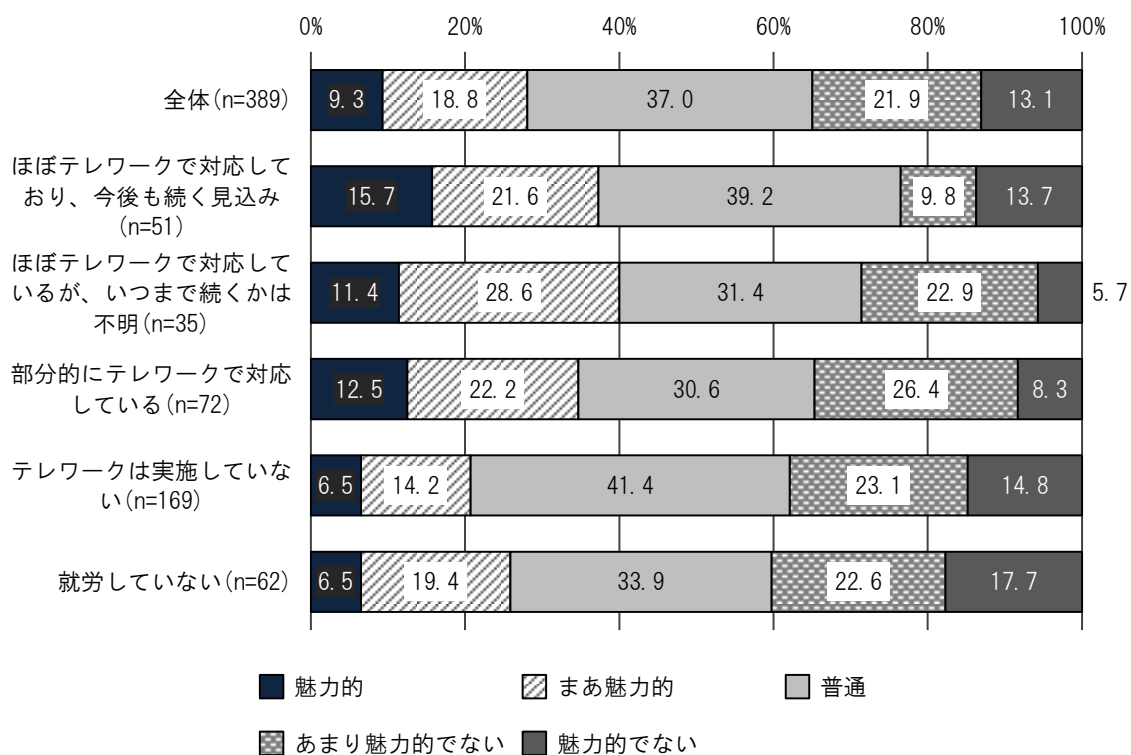
「在来線で新宿駅・上野駅まで約 90 分、大宮駅まで約 60 分」について

「魅力的でない」「あまり魅力的でない」を合わせた割合は、【ほぼテレワークで対応している】層では2割台前半と、全体でみたときに比べて 10 ポイント以上低くなっており、この層にとっては比較的マイナスポイントとなりづらい可能性が示唆されます。



「高速道路で練馬ICまで約 45 分」について

「魅力的」「まあ魅力的」を合わせた割合が、【ほぼテレワークで対応している】層では4割弱程度となっており、全体でみたときと比べて 10 ポイント程度高くなっています。

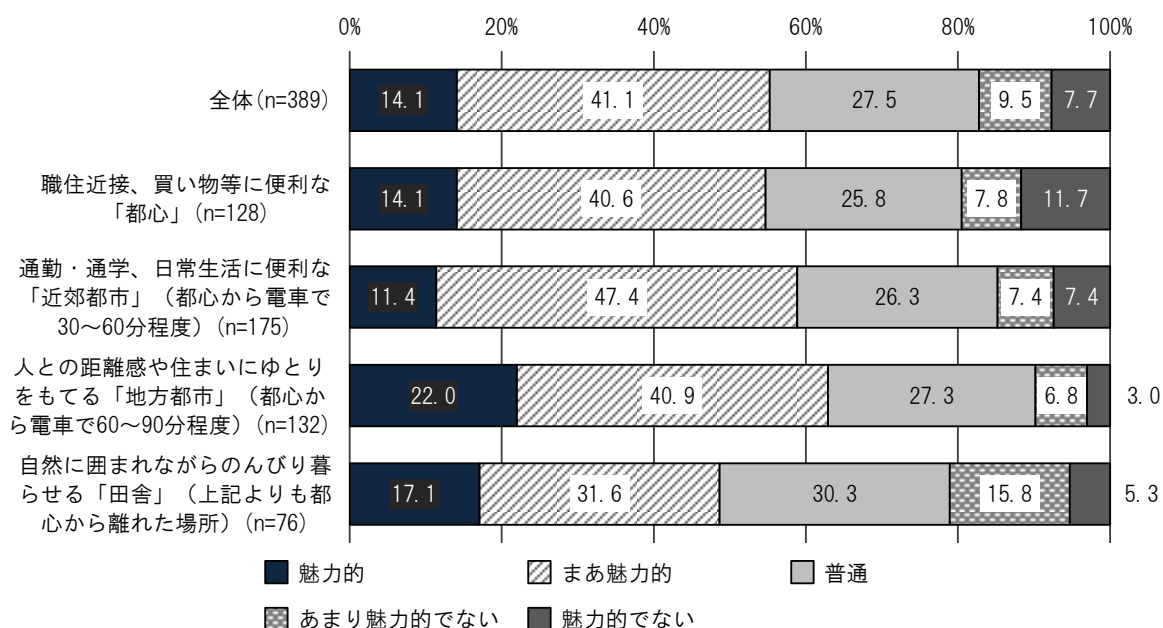


以下では、移住する際にイメージするエリアとして、本市が該当すると想定される「人との距離感や住まいにゆとりをもてる『地方都市』(都心から電車で60～90分程度)」と回答した層に注目し、分析します。

※以下、「人との距離感や住まいにゆとりをもてる『地方都市』(都心から電車で60～90分程度)」と回答した層を【地方都市】と表現します。

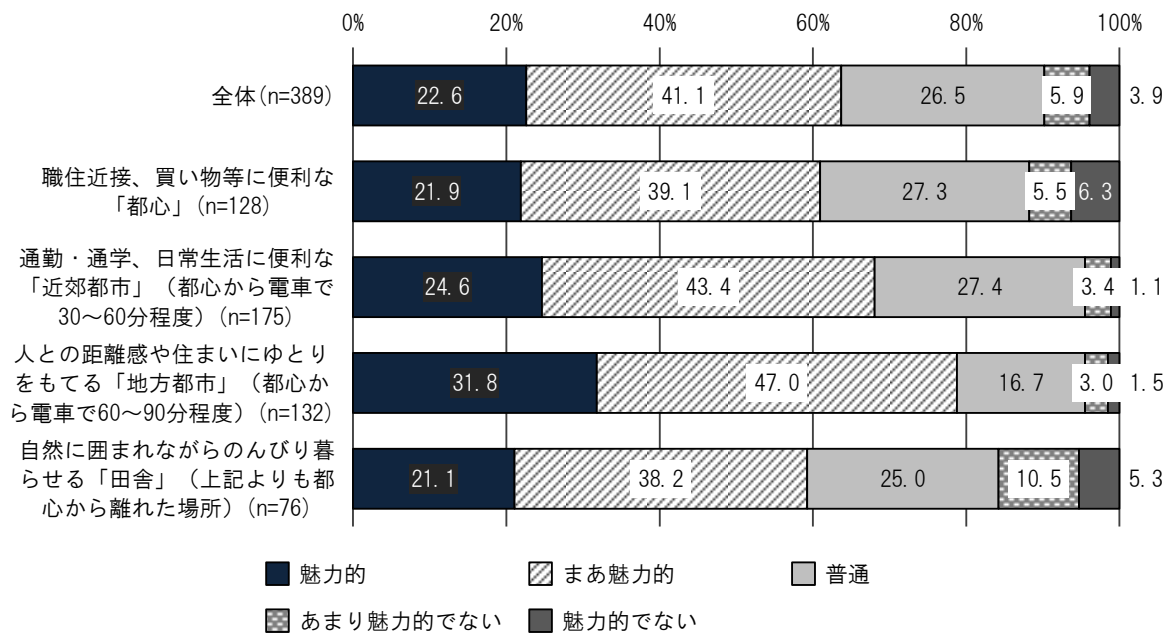
「日光、草津、軽井沢などの有名観光地までのアクセスに便利な『レジャーベースタウン』について

【地方都市】の層では、「魅力的」とした割合が、全体でみたときと比べて 7.9 ポイント高くなっています。



「必要な商業施設がそろった便利な田舎」について

【地方都市】の層では、「魅力的」とした割合が、全体でみたときと比べて 9.2 ポイント高くなっています。また、「まあ魅力的」も合わせた割合は、全体でみたときと比べて 15.1 ポイント高くなっています。



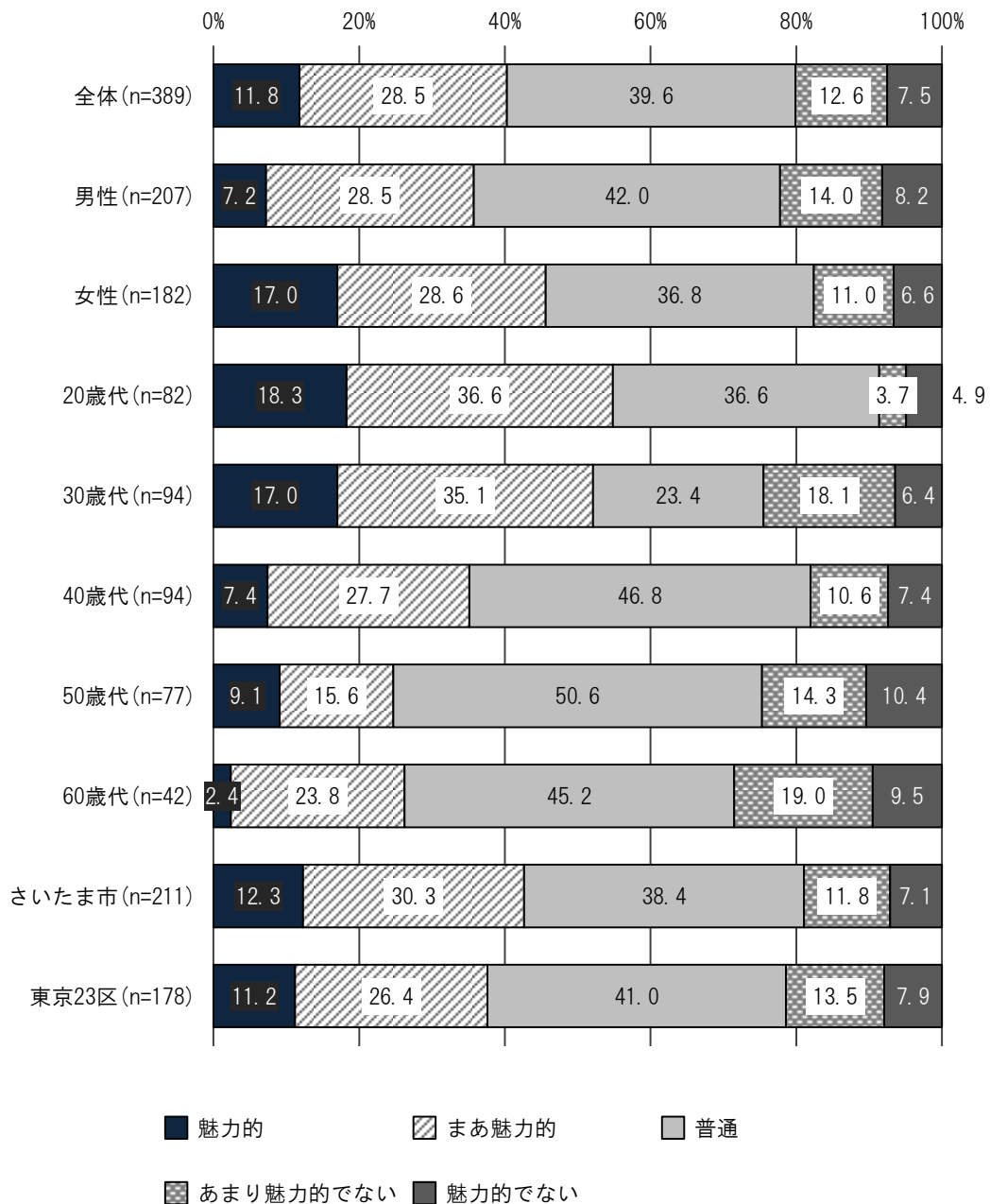
そのほか、基本属性による差がみられた項目について分析します。

「進学校を含め、多くの高校がある」について

性別で見ると、「魅力的」とした割合は女性が男性を 10 ポイント程度上回っています。

また、年齢別で見ると、低年齢の層で「魅力的」とした割合が高い傾向にあり、「魅力的」「まあ魅力的」を合わせた割合は、20 歳代と 30 歳代で5割を超えています。

居住地による大きな差はみられません。

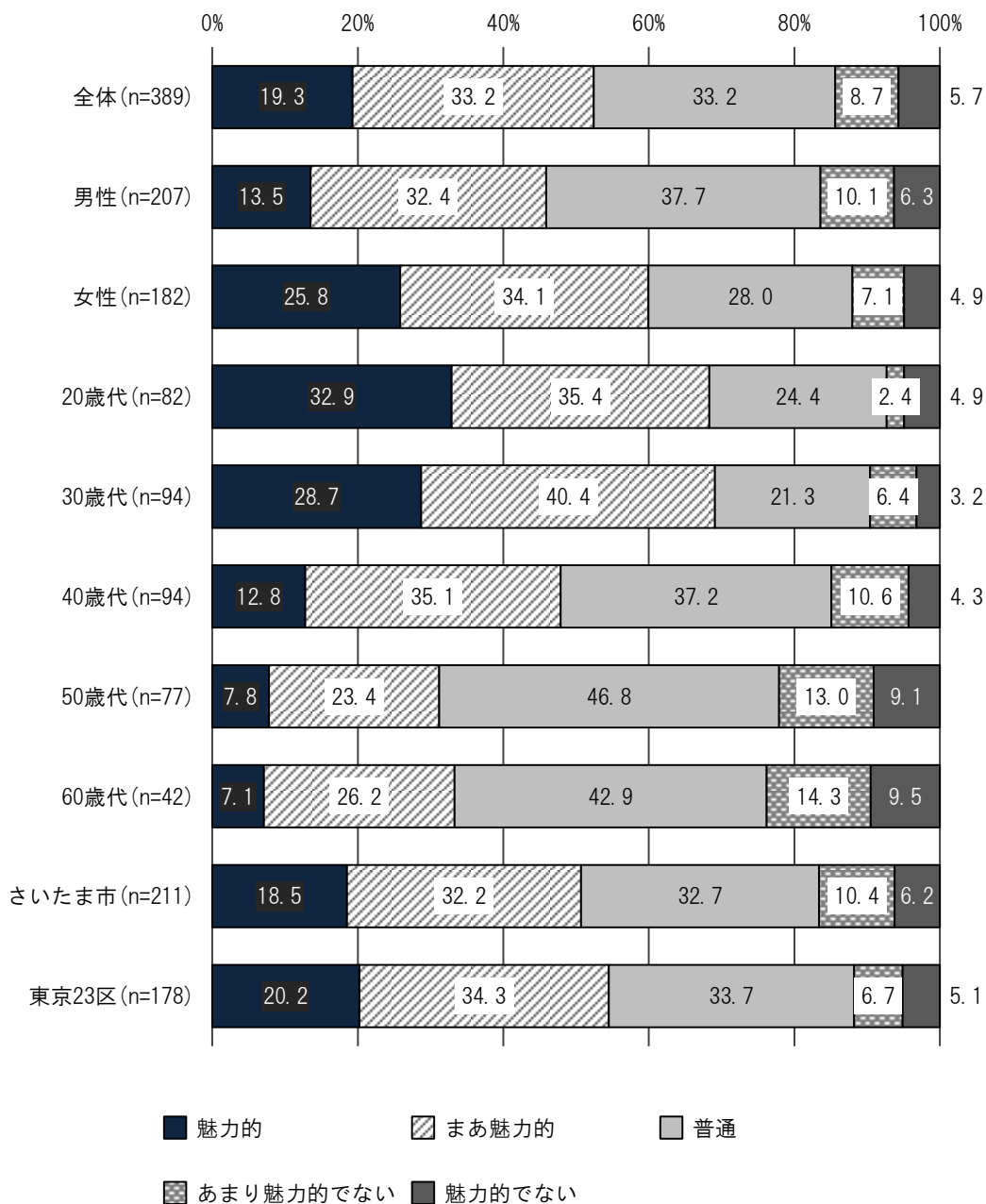


「子育てしやすいまちである」について

性別で見ると、「魅力的」とした割合は女性が男性を10ポイント以上上回っています。

また、年齢別で見ると、「魅力的」とした割合はより低年齢の層で高くなっており、「魅力的」「まあ魅力的」を合わせた割合は、20歳代と30歳代で7割弱となっています。

居住地による大きな差はみられません。

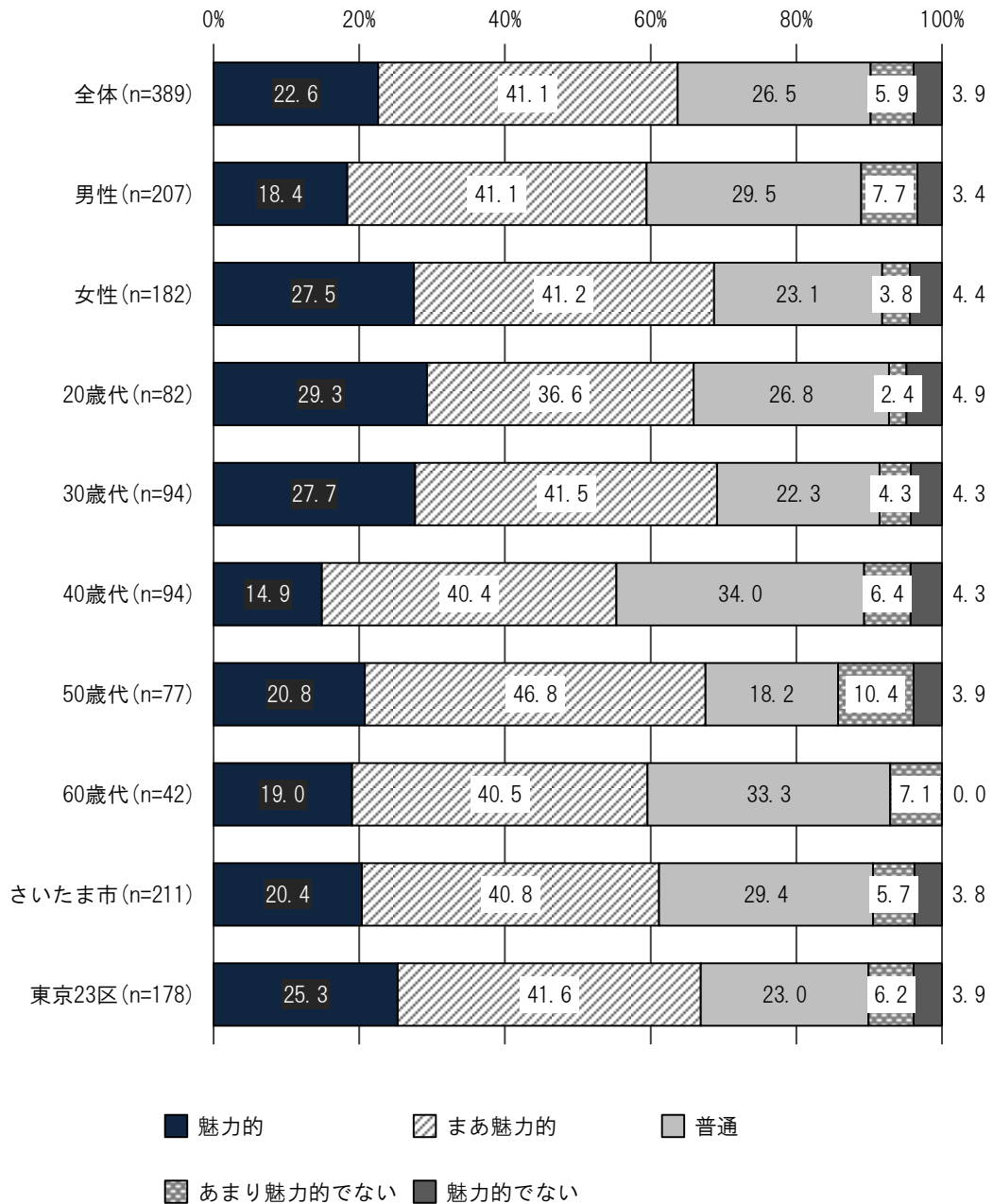


「必要な商業施設がそろった便利な田舎」について

性別で見ると、「魅力的」とした割合は女性が男性を 9.1 ポイント上回っています。

また、年齢別で見ると、「魅力的」とした割合は 20 歳代と 30 歳代で 3 割弱と比較的高く、40 歳代では 14.9% と比較的低くなっています。

居住地別で見ると、「魅力的」とした割合は東京 23 区がさいたま市を 4.9 ポイント上回っています。



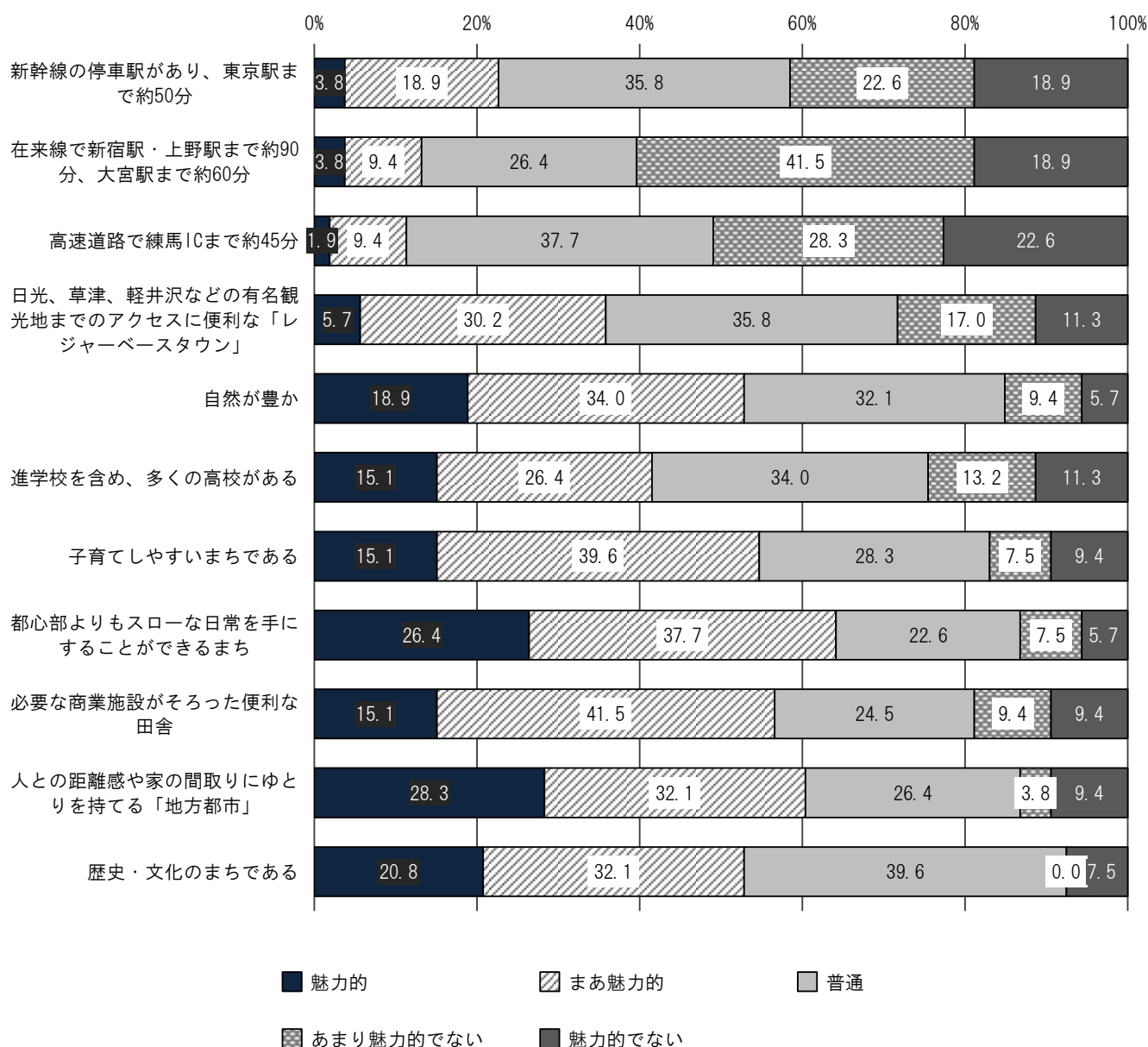
※下記のQ8は、Q5で本庄市を「知らない」と回答した方に回答していただきました。各項目の内容・表現についてはQ7と同一です。

Q8 本庄市は、以下の特徴を持つまちです。このようなまちは、移住先として魅力的だと思いますか。

「魅力的」の割合は、「人との距離感や家の間取りにゆとりを持てる『地方都市』」で 28.3%、「都心部よりもスローな日常を手にすることができるまち」で 26.4%と比較的高くなっており、これらの項目では、「魅力的」「まあ魅力的」を合わせて6割台となっています。

一方、「在来線で新宿駅・上野駅まで約 90 分、大宮駅まで約 60 分」「高速道路で練馬 IC まで約 45 分」については、「あまり魅力的でない」「魅力的でない」を合わせて5割を超えており、魅力として訴求する際には注意が必要であることがうかがえます。

n=53

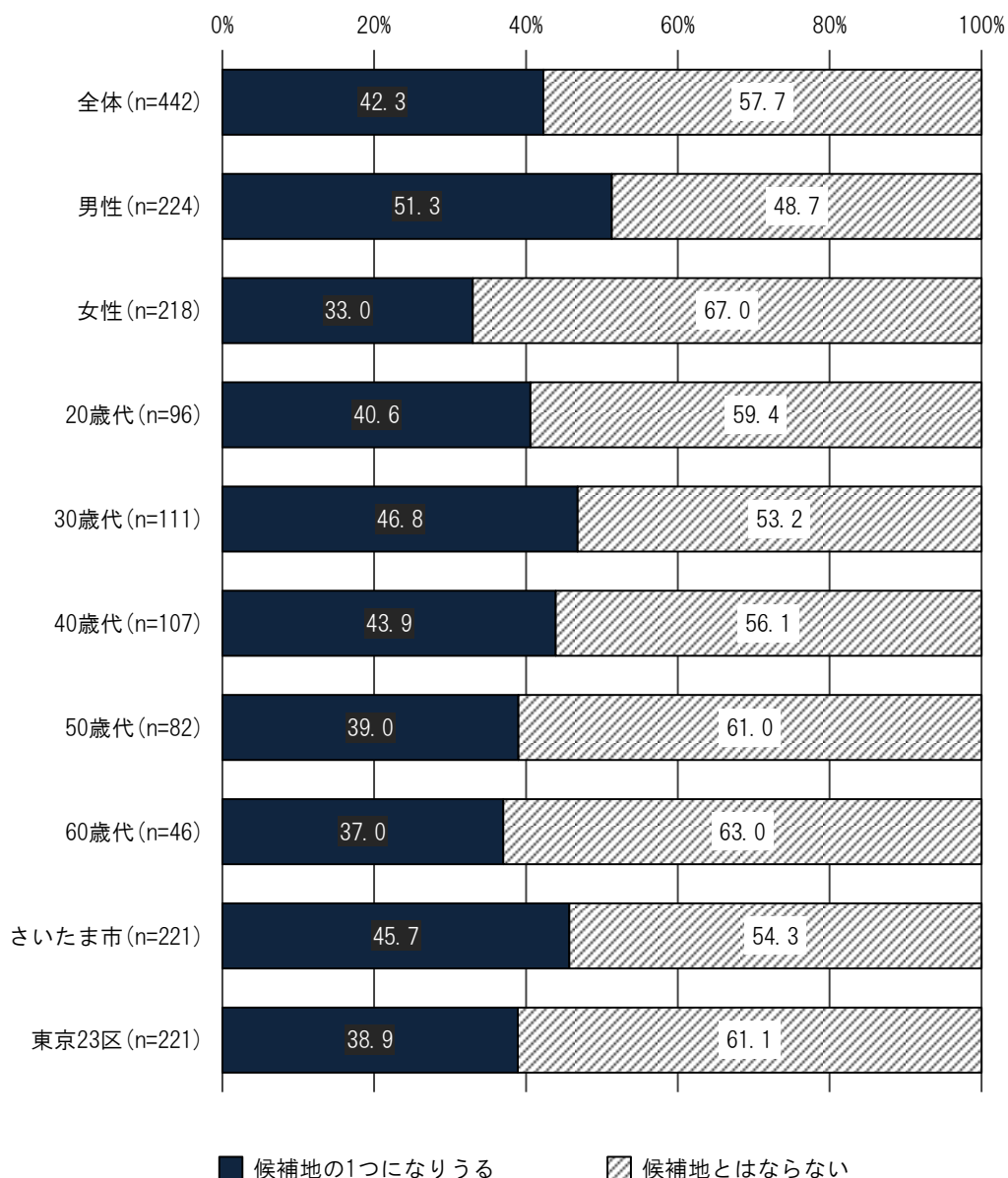


Q9 移住を検討する際に、本庄市は候補地の1つになりえますか。

「候補地の1つになりうる」は42.3%となっています。

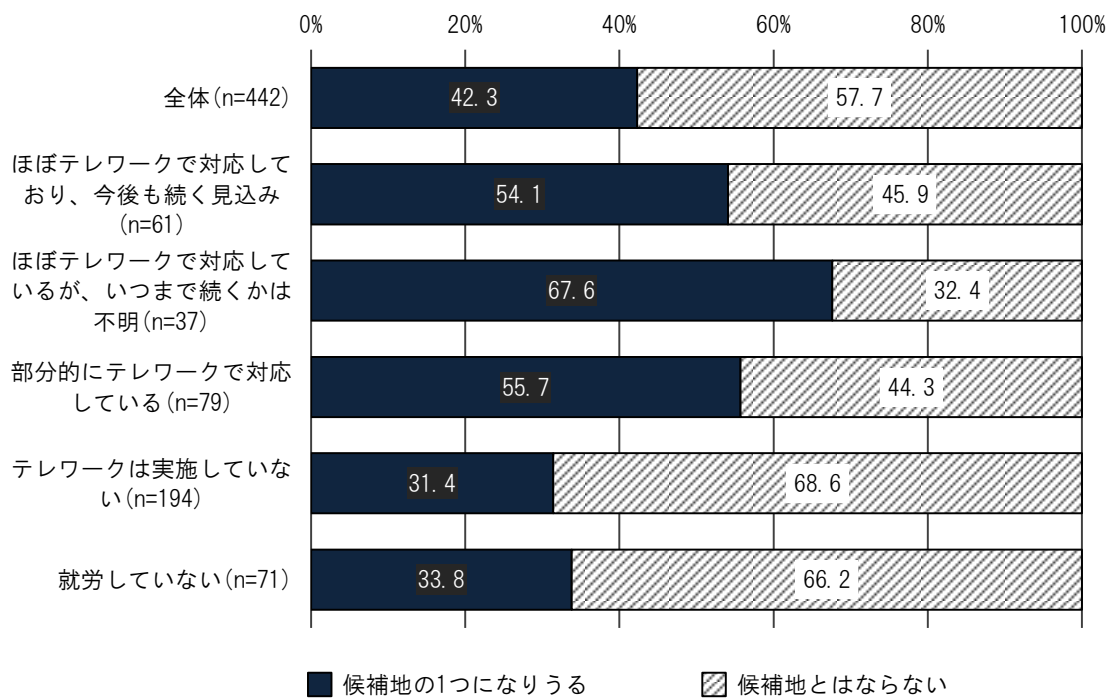
性別で見ると、「候補地の1つになりうる」とした割合は男性が女性を20ポイント弱上回っています。年齢別で見ると、「候補地の1つになりうる」とした割合は30歳代で最も高く、46.8%となっています。

居住地別で見ると、「候補地の1つになりうる」とした割合は、さいたま市が東京23区を6.8ポイント上回っています。



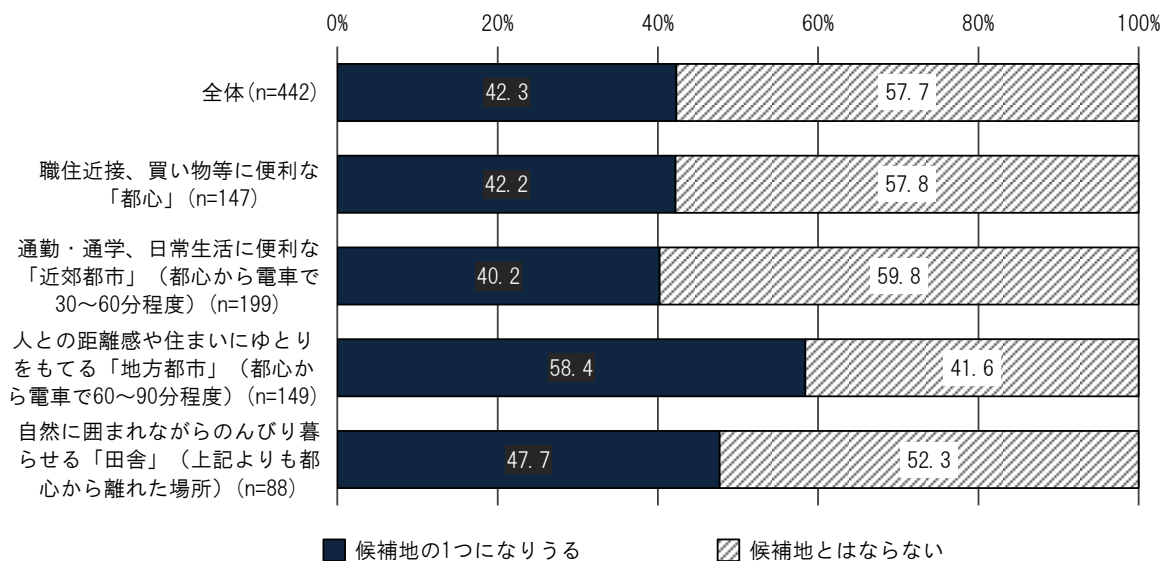
Q9 テレワークの実施状況別

テレワークを実施していない層(「テレワークは実施していない」「就労していない」以外)とそれ以外とでは、「候補地の1つになりうる」とした割合に20~30ポイント程度の大きな差がみられます。



Q9 移住する際にイメージするエリア別

本市が該当すると想定される「人との距離感や住まいにゆとりをもてる『地方都市』(都心から電車で60~90分程度)」と回答した層では、「候補地の1つになりうる」とした割合が、他の層に比べて10~20ポイント程度高くなっています。



※下記のQ10は、Q9で本庄市が移住の「候補地とならない」と回答した方に回答していただきました。

Q10 本庄市が移住の候補地とならない理由は何ですか。(あてはまるものすべて選択) ×

本庄市が移住の候補地とならない理由についてみると、「職場が遠いため」が 43.5%と最も多く、次いで「本庄市についてのイメージがあまりわからないため」が 37.6%、「他に住みたい市区町村があるため」が 35.3%となっています。なお、「その他」を選んだ方から得られた記述回答は14 件あり、田舎である・都心から遠いといった指摘(5件)、海がないといった指摘(3件)等がみられました。

